厚生労働科学研究費補助金

成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）

出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

令和２年度　総括・分担研究報告書

研究代表者　白土　なほ子

令和３（2021）年　５月

目　　次

Ⅰ．総括研究報告
出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究　------　1

１．研究概要の説明

(資料1-1)　「出生前検査に関する一般市民の意識調査」のアンケート調査用紙令和2年12月　--------　10

(資料1-2)　「出生前検査に関する一般市民の意識調査」のアンケート調査用紙令和3年 2月　--------　26

II．分担研究報告
１．　「出生前検査に関する一般市民の意識調査」に関する研究　--------　51

(資料2)　「出生前検査に関する一般市民の意識調査」のアンケート調査
令和2年12月　一般男女　性別単純集計　--------　61

III．研究成果の刊行に関する一覧表　------------------------------　99
～101

令和２年度 厚生労働科学研究費補助金

成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）

「出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」

総括研究報告書

研究代表者：白土なほ子（昭和大学・医学部産婦人科学講座・講師）

研究課題：「出生前検査に関する一般市民及び妊婦・夫への意識調査」

「出生前検査に関する支援体制構築のための研究」

研究分担者：関沢　明彦　昭和大学医学部産婦人科・教授
奥山　虎之　国立成育医療研究センター・総括部長
左合　治彦　国立成育医療研究センター・副院長
柘植あづみ　明治学院大学社会学部・教授・学部長
澤井　英明　兵庫医科大学・産婦人科・教授
菅野　摂子　明治学院大学・社会学部・付属研究所研究員
佐村　　修　東京慈恵会医科大学・教授
吉橋　博史　東京都立小児総合医療センター・臨床遺伝科・部長
鈴森　伸宏　名古屋市立大学・大学院医学研究科　病院教授
山田　崇弘　京都大学・医学部附属病院・特定准教授
山田　重人　京都大学大学院・医学研究科・教授
田中　慶子　慶應義塾大学・経済学部・特任准教授
清野　仁美　兵庫医科大学・精神科神経科学講座・講師
和泉美希子　昭和大学病院臨床遺伝医療センター
坂本　美和　昭和大学医学部産婦人科学講座・講師
宮上　景子　昭和大学医学部産婦人科学講座・助教
廣瀬　達子　昭和大学病院臨床遺伝医療センター
池本　　舞　昭和大学医学部産婦人科学講座・助教
水谷あかね　昭和大学医学部産婦人科学講座・助教

【研究要旨】出生前遺伝学的検査について(1)社会的に理解される検査体制と(2)充実した妊婦の支援体制を構築することを目的に研究①-⑤を行っている。

(1)研究①一般男女を対象に、社会経済的、心理的側面を含めて出生前検査に関するWeb調査を実施する。さらに、研究②妊婦及びパートナーに同様のWeb調査を実施し、一般市民と妊婦の間での出生前検査に対する意識や知識における違いを比較検討する。

本年度は研究①で出生前検査に関する60問からなるWeb調査を実施した。データクリーニング後の有効回収数は3,224人(男性1090人、女性2134人)であった。男女の「出生前検査に対する気持ち」では、検査を受けることの不安や安心といった感情面、妊娠継続/中断に関する決断、費用面などの回答比率は女性の方が高かった。なた、「出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良いか」との質問では、男性では［全員実施］が33.1%、女性では［希望者］が47.1%と最も多く、［行わない方が良い］と明確に答えた男性が3.8%、女性が2.2%であった。「もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しますか」との質問には、全体的な傾向として、男性の方が、いずれの状況においても「継続する」という意見が女性よりも多く、女性は「継続しない」という回答の方が多かった。これらの受検要因分析をもとに、一般女性の出生前検査・不妊治療経験者の思いをより詳細に追加検討する目的で、2000人を目標として出生前検査についてさらに深く質問する全109問のWeb調査を行った。今後は重要質問項目のクロススタディーに加え、令和3年度に行う研究②出生前検査に関する妊婦・夫への意識等実態調査も含め、解析を行う。

(2)研究③NIPTを含めた出生前検査を行う施設で遺伝カウンセリングを受けた妊婦を対象とするアンケート調査を行い、そのカウンセリング体制についての問題点を把握する。さらに、出生前に児に問題点が検出された妊婦やパートナーに対する支援方法や支援体制の充実が重要であるという視点で、出生前検査を実施している施設に対して、研究④具体的に妊婦やパートナーに実施している支援方法についてのアンケート調査を行い、適切な支援やフォローアップ体制についての実態把握を行う。そのうえで、理想的な取り組みが行われている施設に対して実地調査を行い、実例集を作成する。加えて、研究⑤妊娠についての相談支援体制に関する諸外国の取り組みについて、Webや文献を用い調査し、わが国として取り組むべき支援方法について明確にする。

A. 研究目的

出産年齢の高年齢化とともに出生前検査への関心が高まっているが、一般市民がどのような意識を持ち、どのような検査体制を望んでいるかの客観的なデータはない。また、NIPTを行う無認可施設が増加し、出生前検査の提供体制が混乱した状況にある。そこで、出生前遺伝学的検査について社会的に理解される検査体制と充実した妊婦の支援体制を構築することを目的として本研究を実施している。

今回の研究では2つのテーマを柱に、5つの研究①-⑤を実施する（図1）。

(1)「出生前検査に関する一般市民及び妊婦・夫への意識調査」研究①②　本検査の目的は一般男女、妊婦やパートナーが出生前検査をどのように捉えているかを知り、出生前検査についての知識、意識と検査ニーズの有無、妊娠に関わる心理的な不安要因などの実態を把握することである。

(2)「出生前検査に関する支援体制構築のための研究」研究③④⑤　本検査の目的は妊婦やパートナーの視点から見た出生前検査や遺伝カウンセリング(GC)についての課題を抽出すること。また、女性の背景が及ぼす影響、児の異常検出後の支援の在り方や社会的支援体制についての現状を把握することである。

B. 研究方法

コロナ禍での研究スタートとなったため研究①-⑤を細分化して研究分担の班員を振り分け、Web 会議（Cisco Webex 使用)、small meeting を駆使して研究を行った。

研究別班員構成（多年度研究にて変更あり）

(1) **研究①**：柘植、佐村、山田(崇)、菅野、田中、清野、池本、和泉、宮上、廣瀬、関沢、白土
研究②：佐村、山田(崇)、柘植、吉橋、菅野、田中、宮上、廣瀬、水谷、関沢、白土

(2) **研究③**：左合、佐村、鈴森、宮上、和泉、廣瀬、関沢、白土
研究④：澤井、左合、奥山、山田(崇)、清野、和泉、宮上、池本、関沢、白土
研究⑤：鈴森、山田(重)、坂本、水谷、関沢、白土

本年度は役割を確認、Web 会議システムの構築、倫理書類作成等の作成を行った。

(1) 研究①出生前検査に関する一般市民への意識調査： Web 調査により、20-59 歳の男女、計 3,000 人を目標に調査を行った。調査内容を a. 基本属性、b. 知識問題、c. 胎児・検査への関心、意見、d. 自分の受検に関して、e. 検査経験について、f. mental 調査と項目分けして、全 60 問を作成した。加えて、受検要因分析より、一般女性、出生前検査・不妊治療経験者、目標 2000 人にも同様の質問に加え出生前検査について深く質問する追加全 109 問の WEB 調査を行った。出生前検査経験者には受検後の妊娠転帰・GC について・NIPT 受検；施設・認定の有無・年齢・理由・説明（遺伝カウンセリング含む）・結果開示者/方法・検査説明方法・被説明者・結果について、各種出生前検査について同様の質問を施行した。不妊治療には、妊娠の計画性・結婚年齢・挙児希望時期・周期数・期間・転帰・採卵数・胚移植数・ART（回数・施設数・費用・妊娠転機・着床前検査の有無・結果）・治療理由などとした（資料 1-1, 1-2)。

これらにより、出生前検査に関する知識・提供された情報・受検経験、検査ニーズの有無、心理社会的背景、妊娠に係る心理的不安・感情とその要因、メディアからの情報等を実態把握した。

（倫理面への配慮）
本研究は、昭和大学病院倫理委員会にて承認を得て実施した。

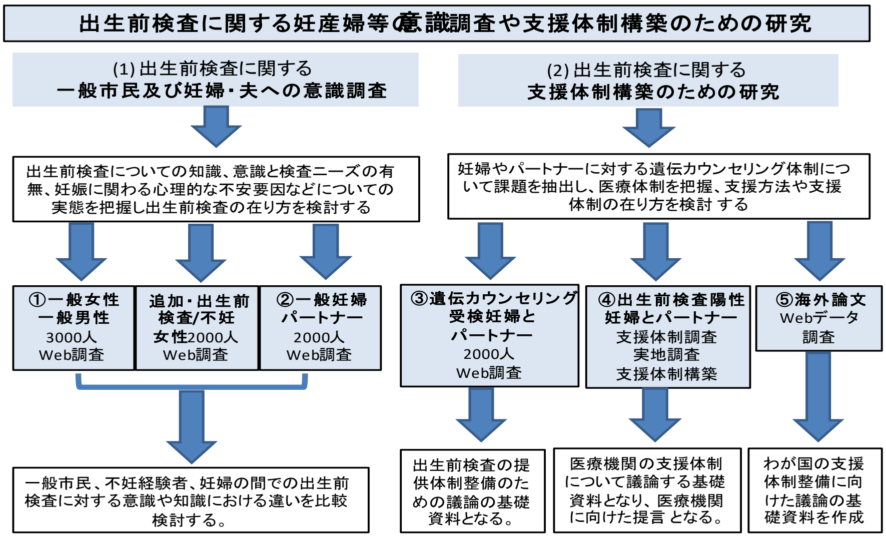
令和 3 年度以降の研究

(1)研究②一般妊婦とパートナーへの意識調査：
対象・方法・内容：協力の得られる自治体で母子手帳交付時にアンケートの案内を行い、同意を経た妊婦とそのパートナー1000 組に調査を行う予定であったが、昨今の社会情勢より、行政等を介さずに WEB 調査形式を予定し、WEB アンケート原案を現在作成中である。妊娠中の女性及びパートナーが妊娠中の男性、各 1000 名を WEB にて抽出、①と同様の調査を行うこととした。
ただし、研究①の解析結果から、正確なデータ収集のために妊婦に特化した調査とすることも検討中である。

(2)研究③遺伝カウンセリング受検妊婦とパートナーの調査：
対象・方法・内容：NIPT コンソーシアム 84 施設で同意の得られた施設及び分担研究者施設など、国内の基幹協力施設で、出生前検査を希望し、GC を行った妊婦とそのパートナー1000 組に(1)研究①と同様の調査を行う。Web 調査に加え、出生前検査を希望する動機や妊婦背景（不妊治療有無、既往妊娠歴、妊婦のメンタルヘルスの状況、家庭環境)、EPDS、要支援妊産婦か否かも問う。 さらに、出生前検査を受ける際の意思決定にはどういった支援が必要なのか、検査を受けた後に困ったことや疑問はなかったのかなど、受検者の視点で出生前検査に関連した支援体制の問題点の抽出を行う。研究①②の解析結果から、ある程度の出生前検査経験者から支援体制の問題点など結果が得られた場合、そのデータを解析、ターゲットを絞った追加調査も考慮する。

(2)研究④胎児異常が検出された場合の支援体制の実態調査：
本来であれば、令和 2 年度に研究①と並行して、研究④産科医療機関の出生前検査状況確認行う予定

であったが、コロナ感染を鑑みて令和３年度へ延期



し、出生前検査陽性者の対応等ヒアリング調査は令和４年以降に予定変更した。

対象・方法：NIPT コンソーシアム 91 施設の中で同意の得られた施設及び分担研究者施設を対象に、出生前検査で胎児の問題点が検出された妊婦とそのパートナーに対する支援体制について自己記入式アンケートを行う。ただ、懸念材料として、出生前検査３次施設が多いコンソーシアム関連施設のみでは偏った情報になる可能性もあり、産科医療施設全般の状況も把握できる工夫が必要となる。また、出生前検査陽性であり、分娩後の児のフォローを行う小児医療機関・行政機関の実態把握も重要と考えており、本研究分担者には多職種・多科のメンバーがいるメリットを生かし、本実態調査を充実させたい。

調査内容：出生前検査陽性と判断された場合の心理ケアやフォローアップ体制、アフターカウンセリング等の有無、出生前検査に関する妊婦等の不安等に対する周産期メンタルヘルスケアによる支援体制、検査に係る遺伝専門職・看護職等の支援体制の実態を明らかにし、特色ある取り組みの抽出を行う。

　また、令和４年度以降、社会情勢を鑑みて WEB 形式で、基幹施設における支援やフォローアップの体制についてその体制が充実している施設にはヒアリング調査を行う。

(2)研究⑤ 妊娠についての相談支援体制に関する諸外国の取り組みの調査：

方法・内容：出生前検査で胎児の異常を指摘された場合のフォローアップ体制について海外の相談支援体制について文献やネットを用いた調査を実施する。

（図１）研究概要

C. 研究結果　D. 考察

（1）研究①　（詳細は分担研究報告書参照）

　令和２年 5-7 月：一般男女が出生前検査についてどのような知識や意識と検査ニーズ、妊娠に伴う心理的な不安要因などについての実態を把握するためのアンケートの原案を作成した。厚労省ヒアリング調査にて、追加質問項目なども募った。

８月：一般男女へのアンケート作成、業者の選定。

９月：研究班員の施設関係者でプレテストを施行

10 月：アンケー業者決定

11 月：WEB アンケートプレ確認

12 月：12 月 WEB アンケート調査実施

令和３年１月：追加調査対象・項目決定

２月：追加の２月 WEB アンケート調査実施

３月：12 月・２月 WEB アンケート調査解析中

　「出生前検査に関する一般市民への意識調査」の実施にあたり、３点に留意して研究を行った。

1) 対象の選定：今までの出生前検査報告は医療機関からの報告が多く、妊娠中や出生前検査希望者がベースであった。そこで、広く一般男女が出生前検査に対しどのような意識を持ち、どのような検査体制を望んでいるかの客観的なデータを得るために、インターネットを用いた Web 調査の手法を用いた。そこで対象を 20－59 歳全国地域別住民統計に従い５歳ごと階級で分け、男女 1000 名に加え、出生前検査を意識する 25－44 歳の生殖年齢女性 1000 人を追加した調査とした。あくまでも、対象は Web 調査会社に登録し、調査実施期間に早期にアク

セスする、」女性のサンプルに偏りが発生しやすいこと、高学歴で専門・技術職が多いという傾向があるなどのセレクションバイアスを持った集団であることに留意しなければならない。

2)調査質問項目：本調査は出生前検査等の医療の受診経験（準個人情報）を尋ねる質問を含み、妊娠・出産等の「いのち」に関わる非常にセンシティブな内容を扱っている。調査会社の選定にも注意し、調査にあたり、昭和大学医学研究科、昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会の承認を経て行った（審査結果通知番号3279；審査終了日 2020 年 10 月 12 日)。

3）調査結果のクリーニング：調査会社への登録情報と回答者の属性が異なっている、明らかに回答拒否や無回答が多いなど調査として無効な回答を判定するために、分析に先立ち、データの精査が必要であった。そこで、性別の属性に矛盾がある、女性で妊娠経験情報が無回答、意識質問にすべて「わからない」と回答した 30 名（全回答者 3254 人）をクリーニングし、有効回収数は 3,224 人(男性 1090 人、女性 2134 人)であった。

これらの留意点は研究①のみならず、今後 Web アンケート調査を行う研究②においても十分に留意して行うべき点である。

研究①調査結果(12 月調査の男女別比較)についてすべての調査項目について考察を行ってはいないが、注目すべき以下 5 つの質問について分担研究報告で考察しているので参照されたい。

1)Q27　出生前検査に対する気持ち

検査を受けることの不安や安心といった感情面、妊娠継続/中断に関する決断、費用面などの回答比率は女性の方が高かった。今後は重要質問項目のクロススタディーに加え、令和 3 年に行う研究②出生前検査に関する妊婦・夫への意識等実態調査も含め、解析を行う。

2)Q31　出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良い検査だと思いますか。

男性では［全員実施］が 33.1%、女性では［希望者］が 47.1%と最も多くなっていた。［行わない方が良い］と明確に答えた男性が 3.8%、女性が 2.2%であった。

3)Q38　もしもこれから妊娠するとしたら（あるいは配偶者/パートナーが妊娠するとしたら)、出生前検査を受けたいと思いますか。

男女とも「是非受けたい」「できれば受けたい」が約半数であった。その一方で、「わからない」と答えた人も男女ともに 4 割弱いた。「わからない：その場面にならないとわからない」を選んだ女性は男性の倍以上(2.1 倍)いて、この検査を受けるか否かの決定は女性がより迷うことが示されている。

また、「絶対受けない」「できれば受けたくない」を選んだ人は男女共に少ないものの、それぞれ 6 %から 7 %いることにも注目すべきだろう。

4)Q39/Q41　出生前検査を受ける場所を選ぶとき重視するのはどの点ですか。

男女とも①産婦人科の主治医がいる、④妊娠している本人が望むところが第 1 位、2 位であった。第 3 位が女性は⑦出生前検査の実績があること、男性は②専門の遺伝カウンセラーがいるところとなっている。女性の方が、費用や交通のアクセスを挙げる人が多いのも特徴的である。選択した中から最も重視する点についても、男女とも①産婦人科の主治医がいるが、第 1 位であったが、第 2 位は男性が④妊娠している本人が望むところ、女性は⑦出生前検査の実績があることとなっており、男性は女性（配偶者）の意向次第と考えている人が多い。

5)Q42　もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しますか。

全体的な傾向として、男性の方が、いずれの状況においても「継続する」という意見が女性よりも多く、女性は「継続しない」という回答の方が多かった。

研究②-⑤については、令和 3 年度以降に継続的に研究を継続する。

E.　結論

「出生前検査に関する一般市民への意識調査」を行った。受検要因分析より、一般女性、出生前検査・不妊治療経験者にも同様の質問に加え出生前検査に

ついて深く質問する必要があった。今後重要項目のクロススタディーに加え、令和３年に行う研究②も含め、出生前検査に関する一般市民及び妊婦・夫への意識等実態調査解析を行う。

F.　健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

１．論文発表・刊行

1) Hum Genet. 2020 Dec 3. Postpartum questionnaire survey of women who tested negative in a non-invasive prenatal testing: examining negative emotions towards the testJ ○Tatsuko Hirose, Nahoko Shirato, Mikiko Izumi, Keiko Miyagami, Akihiko Sekizawa doi: 10.1038/s10038-020-00879-6.
2) 女性心身医学、25(2);129-135、2020　母体血胎児染色体検査（NIPT：Non-invasive prenatal testing）に関する遺伝カウンセリング前後での妊婦とパートナーの心理的ストレスの変化についての検討　○廣瀬 達子，白土 なほ子，宮上 景子，和泉 美希子，四元 淳子，関沢 明彦
3) BMC Pregnancy and Childbirth 20:112,2020 Qualitative investigation of the factors that generate ambivalent feelings in women who give birth after receiving negative results from non-invasive prenatal testing. Yotsumoto J, ○Sekizawa A, Inoue S, Suzumori N, Samura O, Yamada T, Miura K, Masuzaki H, Sawai H, Murotsuki J, Hamanoue H, Kamei Y, Endo T, Fukushima A, Katagiri Y, Takeshita N, Ogawa M, Nishizawa H, Okamoto Y, Tairaku S, Kaji T, Maeda K, Matsubara K, Ogawa M, Osada H, Ohba T, Kawano Y, Sasaki A, Sago H.
4) An International Journal 14(1),pp.35-59 (Duke University Press), 2020 Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society: Chia-Ling, Wu, Jung-Ok, Ha, and Azumi, ○Tsuge
5) 周産期医, 50(1),45-48頁(東京医学社) 2020, 法制度からみた出生前診断，着床前診断　○柘植あづみ
6) 「生命倫理と母子保健」垣内国光，岩田美香，板倉香子，新藤こずえ編著『子ども家庭福祉―子ども・家族・社会をどうとらえるか』(生活書院)：86-96,2020 ○菅野摂子
7) J Obstet Gynaecol Res. 2020 Aug;46(8):1246-1254. Update on noninvasive prenatal testing: A review based on current worldwide research. doi: 10.1111/jog.14268. Epub 2020 Jun 17. PMID: 32558079 ○Samura O.
8) Taiwan J Obstet Gynecol. 2020 Jan;59(1):16-20. Causes of aberrant non-invasive prenatal testing for aneuploidy: A systematic review. ○Samura O, Okamoto A. doi: 10.1016/j.tjog.2019.11.003.
9) J Hum Genet. 2020;65(12):1045-1053. Attitudes toward and current status of disclosure of secondary findings from next-generation sequencing: a nation-wide survey of clinical genetics professionals in Japan. Tsuchiya M, Yamada T, Akaishi R, Hamanoue H, Hirasawa A, Hyodo M, Imoto I, Kosho T, Kurosawa K, Murakami H, Nakatani K, Nomura F, Sasaki A, Shimizu K, Tamai M, Umemura H, Watanabe A, Yoshida A, ○Yoshihashi H, Yotsumoto J, Kosugi S.
10) Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 256,

75-81, 2021. Retrospective details of false-positive and false-negative results in noninvasive prenatal testing for fetal trisomy 21, 18 and 13. ○Suzumori N, Sekizawa A, Takeda E, Samura O, Sasaki A, Akaishi R, et al.

11) J Reprod Infertil 21, 189-193, 2020. Study of relationship between mode of conception and non-specific psychological distress in women undergoing noninvasive prenatal testing. ○Suzumori N, Takeda E, Ebara T, Kumagai K, Sawada Y, Sugiura-Ogasawara M.

12) J Obstet Gynecol Res 46, 1470, 2020. Discussion of the advances in non-invasive prenatal genetic testing and open issues in Japan. ○Suzumori N.

13) Birth 47, 67-79, 2020. Effects of long working hours and shift work during pregnancy on obstetric and perinatal outcomes: a large prospective cohort study - Japan Environment and Children's Study. ○Suzumori N, Ebara T, Matsuki T, Yamada Y, Kato S, Omori T, et al.

14) 産科と婦人科 87 (Suppl.) 51 -54 2020年03月　やさしくわかる産科婦人科検査マスターブック　産科と婦人科 (第1章)周産期分野 羊水検査○鈴森 伸宏

15) 日本産科婦人科学会雑誌 72 (12) 1699 -1703 2020年12月　生殖補助医療をめぐる生命倫理 着床前・出生前診断の倫理○鈴森 伸宏

16) 泌尿器科 12 (5) 596 -600 2020年11月 男性不妊症診療に必要な遺伝カウンセリング ○鈴森 伸宏

17) 日本生殖医学会雑誌 65 (4) 310 -310 2020年11月　不育症患者における潜在性甲状腺機能低下症に対するレボチロキシンの有効性の検討 吉原 紘行; 北折 珠央; ○鈴森 伸宏; 佐藤 剛; 杉浦 真弓

18) 周産期医学 50 (8) 1181 -1182 2020年08月【[必携]専攻医と指導医のための産科診療到達目標】診療技術編 出生前診断の知識 母体血清マーカー○鈴森 伸宏

19) 周産期医学 50 (6) 939 -942 2020年06月【いま求められる周産期生命倫理の知識】生殖医療 着床前診断○鈴森 伸宏

20) 日本遺伝カウンセリング学会誌 40 (4) 211 -213 2020年02月　出生前羊水染色体検査におけるロバートソン転座の症例報告をめぐって 医療倫理の四原則の対立状況とゲノム情報の伝達プロセスの観点からの考察 荒川 玲子; 高島 響子; 池田 真理子; 徳富 智明; 河村 理恵; 佐々木 規子; 山本 佳世乃; 中谷 中; ○鈴森 伸宏; 古庄 知己

21) 平成31/令和元年度 研究報告書(Web) 2020年　出生前診断における遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究【第2分科会】遺伝カウンセリングに関する知識及び技術向上に関する医療従事者向けの研修プログラムの開発 小西郁生; 久具宏司; 山田重人; 山田崇弘; 西垣昌和; 三宅秀彦; 久具宏司; 池田真理子; 左合治彦; 佐々木愛子; 佐々木規子; ○鈴森伸宏; 福島明宗; 福嶋義光; 蒔田芳男; 三宅秀彦; 山田重人; 山田崇弘; 西垣昌和; 伊尾紳吾 出生前診断における遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究

22) J Hum Genet. 2020 Sep 17. The Neonatal Research Network of Japan. The short-term mortality and morbidity of very low birth weight infants with trisomy 18 or trisomy 13 in Japan. Kawasaki H, ○Yamada T*, Takahashi Y, Nakayama T, Wada T, Kosugi S doi:,10.1038/s10038-020-00825-6. Epub ahead of print. PMID: 32943740

23）臨床婦人科産科　73:494-497,2019FOCUS 母体血を用いた胎児の遺伝子診断〇山田崇弘.

24）ペリネイタルケア　39:32-35,2020　実践編　出生前診断　妊娠初期における出生前染色体検査時の対応. 加藤ももこ，柴田有花，〇山田崇弘.

25）精神科治療学，35(12)，1311-1316，2020. 妊産婦にみられる今日的不安と対応（特集　現代社会における不安の病理と対応）〇清野仁美，湖海正尋，松永寿人.

26）精神科治療学，35(10) 1095-1100，2020.周産期リエゾンにおける精神療法（特集　周産期メンタルヘルスにおける心理社会的支援）〇清野仁美，湖海正尋,松永寿人.

27）臨床精神医学= Japanese journal of clinical psychiatry，49(7)，883-888，2020. 統合失調症と妊娠・出産（特集 妊娠・出産と精神科臨床アップデート）. 〇清野仁美，湖海正尋,松永寿人.

28）精神科治療学，35(3)，285-290,2020.プロダクティブ・ヘルス/ライツにおける倫理的課題に精神科医はどう関わるか（特集 医療における臨床倫理コンサルテーション）. 〇清野仁美，田中宏幸，湖海正尋,松永寿人. リ

29）臨床精神薬理，23(10)，1009-1015,2020.妊産婦，女性に特有な身体愁訴と向精神薬治療. 〇清野仁美，湖海正尋,松永寿人.

30）臨床助産ケア: スキルの強化，12(1)，7-11,2020.【医学的・社会的ハイリスク妊婦のケアと管理】精神疾患の既往がある妊婦とのかかわり方　妊娠前から産後まで. 〇清野仁美.

２．学会発表(雑誌名等含む)

31）International Marce Society for Perinatal Mental Health Biennial Scientific Conference 2020. Attitude survey for perinatal mental health care in the John area of Tokyo.，〇Nahoko Shirato，Yoko Sagara，Mai Ikemoto，Akane Mizutani，Shin Ikebukuro，Keiko Miyagami，Yuusuke Fukuda，Yoshiko Yoshino，Masatoshi Sugita，Kazuo Masaki，Youichi Matue，Yumi Maemura，Takehiko Kimura，Taro Morimoto，Eijiro Hayata，Toshimitu Maemura , Masahiko Nakata，Akihiko Sekizawa

32）International Marce Society for Perinatal Mental Health Biennial Scientific Conference 2020.　Establishment of regional perinatal mental health care systems and the impact on identifying pregnant women who need support in the Johnan area of Tokyo.，〇Akane Mizutani, Nahoko Shirato, Mai Ikemoto, Shin Ikebukuro, Keiko Miyagami, Yoko Sagara, Akihiko Sekizawa

33）International Marce Society for Perinatal Mental Health Biennial Scientific Conference 2020. Child acceptance in mothers of newborns with chromosomal abnormalities.，〇Mai Ikemoto，Nahoko Shirato，Akane Mizutani，Keiko Miyagami，Akihiko Sekizawa

34）日本産科婦人科学会雑・2020・72 巻臨増 Page S-659・母体血漿中胎児 DNA 率と妊娠初期絨毛体積の関連性に関する研究：濱田 尚子，〇白土 なほ子，後藤 未奈子，瀧田 寛子，新垣 達也，徳中 真由美，川嶋 章弘，宮上 景子，仲村 将光，松岡 隆，関沢 明彦

35）日本産科婦人科学会雑誌 2020・72 巻臨増 Page S-600・当院における妊娠初期妊婦の出生前遺伝学的検査の選択動向について・〇廣瀬 達子, 白土 なほ子，徳中 真由美，宮上 景子，濱田 尚子，和泉 美希子，松岡 隆，関沢 明彦

36）日本産科婦人科学会雑誌 2020・72 巻臨増

Page S-496「東京都城南地区周産期メンタルヘルス連絡会の取り組みと要支援妊産婦へのケアの変化について」○水谷あかね、白土なほ子、池本　舞、池袋　真、宮上景子、松岡隆、福田雄介、前村俊満、中田雅彦、相良洋子、関沢明彦

37) 日本産科婦人科学会雑誌 72 巻臨増「周産期メンタルヘルスケアに対する意識調査の検討」2020・ Page S-496○白土なほ子、相良洋子、関沢明彦、前村俊満、中田雅彦、吉野佳子、杉田匡聡, 間崎 和夫, 松江 陽一, 前村 由美, 木村 武彦, 盛本 太郎

38) 日本産科婦人科学会雑誌・2020・72 巻臨増 Page S-300 oral・重症胎児発育不全の原因としての胎盤性モザイクの関与　母体血漿中 cfDNA からの検討・○宮上 景子, 白土 なほ子, 濱田 尚子, 徳中 真由美, 瀧田 寛子, 和泉 美希子, 廣瀬 達子, 松岡 隆, 鈴森 伸宏, 関沢 明彦

39) 第 6 回 日本産科婦人科遺伝診療学会 学術講演会・2020・WEB　ポスター・NIPT(Non-invasive prenatal testing)を無認可施設で受検し 15 トリソミー陽性となるも偽陽性と判明した 1 例・安井 理, ○白土なほ子, 廣瀬達子, 和泉美希子, 吉野佳子, 宮上景子, 関沢明彦

40) 第 6 回日本産婦人科遺伝診療学会　周産期講義(2)・2020・WEB 講演・出生前遺伝学的検査と医療倫理（関連し遵守すべき法律, 見解, 指針, ガイドライン, 提言）・○白土なほ子

41) Association for Asian Studies in Asia Conference August 31, 2020, Kobe-Virtual. I choose not to undergo prenatal tests to avoid having to make a hard choice.○TSUGE, Azumi

42) 第 60 回日本先天異常学会学術集会, 2020 年 7 月 12 日、東京―オンライン, 出生前検査と遺伝カウンセリング―社会的・倫理的な視点から―○柘植あづみ

43) 日本産科婦人科学会雑誌 72（臨増）S -324 2020 年 03 月　出生前診断の一次対応に向けたロールプレイ研修の開発 三宅 秀彦; 山田 重人; 山田 崇弘; 伊尾 紳吾; 佐々木 愛子; ○鈴森 伸宏; 左合 治彦; 福島 明宗; 久具 宏司; 小西 郁生

44) 日本産科婦人科学会雑誌 72（臨増）S -601 2020 年 03 月　当院における胎児超音波による遺伝学的検査についての検討 熊谷 恭子; ○鈴森 伸宏; 武田 恵利; 大谷 綾乃; 犬塚 早紀; 後藤 志信; 杉浦 真弓

45) 産業衛生学雑誌 62 2020 年　妊娠中の週労働時間及び夜勤回数が出産までの母子の健康状態に与える影響 榎原毅; ○鈴森伸宏; 松木太郎; 山田泰行; 山田泰行; 加藤沙耶香; 加藤沙耶香; 佐藤博貴; 玉田葉月; 杉浦真弓; 大森豊緑; 齋藤伸治; 上島通浩

46) 日本産科婦人科学会雑誌 72（臨増）S -601 2020 年　当院における胎児超音波による遺伝学的検査についての検討 熊谷恭子; ○鈴森伸宏; 武田恵利; 大谷綾乃; 犬塚早紀; 後藤志信; 杉浦真弓

47) 日本産科婦人科学会雑誌 72（臨増）S -658 2020 年　NIPT 実施女性の不妊治療と妊娠初期・産後メンタルストレスの関連について ○鈴森伸宏; 武田恵利; 澤田祐季; 大谷綾乃; 後藤志信; 熊谷恭子; 杉浦真弓

H.　知的所有権の取得状況

1．特許取得　なし

2．実用新案登録　なし

3．その他

資料1　調査画面

出生前検査に関するアンケート

出生前検査とは、胎児の病気や障がいなどについて知るために妊娠中に受ける検査です。
この調査では、みなさまの妊娠・出産と出生前検査についての意識やご意見を知り、
今後の医療情報の伝え方、医療のあり方を改善することを目的に行うものです。

年齢やご職業、妊娠のご経験、心理的側面などをお尋ねする質問もあります。
この調査研究により得られた結果は、
回答していただいた方の個人が特定されないようにまとめた形で、今後の研究資料として活用させていただく予定です。
調査結果及び調査結果は報告書、学術雑誌並びに書籍への掲載などによって公表される予定です。

この調査は、令和2年厚生労働省成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業)、
「出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」の一部として実施されます。

研究代表者 白土なほ子 （昭和大学医学部産婦人科学講座）

「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力お願いします。

アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

出生前検査に関するアンケート

選択肢記号の説明
□ 複数選択（チェックボックス）
○ 単一選択（ラジオボタン）
▽ 単一選択（プルダウン）

FAS **Q1**
配偶者/パートナーの年齢をお答えください。
▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q1S1【N】歳	*Q1S1N*

SAR **Q2**
現在、妊娠していますか。
▲ 設問文を折りたたむ

○ 1. 妊娠している
○ 2. 妊娠していない

SAR **Q3**
配偶者/パートナーは、現在、妊娠していますか。
▲ 設問文を折りたたむ

○ 1. 妊娠している
○ 2. 妊娠していない

SAR **Q4**
これまで妊娠したことはありますか。ある方は一番最近の妊娠した年齢をお答えください。
▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	妊娠したことはない		
○ 2.	妊娠したことがある ⟶	一番最後は【N】歳の時	*Q4_2N*
○ 3.	わからない/答えたくない		

SAR **Q5**
これまで配偶者/パートナーが妊娠したことはありますか。ある方は、一番最近の妊娠時の配偶者/パートナーの年齢をお答えください。
▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	配偶者/パートナーが妊娠した経験はない		
○ 2.	妊娠したことがある ⟶	一番最後は【N】歳の時	*Q5_2N*
○ 3.	わからない/答えたくない		

MAC **Q6**
お子さんはいますか。
▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	実子がいる ⟶ 【N】人	*Q6_1N*	→Q7へ
□ 2.	継子や養子、里子がいる ⟶ 【N】人	*Q6_2N*	→Q7へ
□ 3.	子どもはいない		

FAS **Q7**
【Q6で「1」か「2」を選んだ方が回答】
一番下のお子さんの年齢を教えてください。1歳未満の場合は0歳とお答えください。
▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q7S1【N】歳	*Q7S1N*

SAR **Q8**

あなたは出生前検査に仕事を通して、何らかの形でかかわった経験はありますか。
「ある」方は、その際の具体的な職種もお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	ある ──→ 【具体的な職種：【FA】】	Q8_1FA
○ 2.	ない	
○ 3.	答えたくない	

SAR **Q9**

あなたやご家族に、妊娠・出産、医療などに対して影響を与えた宗教・信仰・思想・信条がありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	自分と家族、どちらにもある	
○ 2.	自分自身だけにある	
○ 3.	自分にはないが、家族にはある	
○ 4.	どちらともいえない	
○ 5.	ない	
○ 6.	その他【FA】	Q9_6FA

MAC **Q10**

あなたや配偶者/パートナー、ご家族などの身近な人は、妊娠・出産や子育てに際し、何らかの健康上の不安やリスク、障がいなどをお持ちですか。あるという方を選んでください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	自分自身	
□ 2.	配偶者/パートナー	
□ 3.	自分の親やきょうだい	
□ 4.	配偶者/パートナーの親やきょうだい	
□ 5.	自分たちの子ども	
□ 6.	その他の親族や身近な人（具体的に【FA】）	Q10_6FA
□ 7.	そのような人は誰もいない	
□ 8.	その他【FA】	Q10_8FA

C１ あなたご自身のことについておたずねします。

SAR **Q11**

あなたのお仕事について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	専門・技術的な仕事（医師、看護師、弁護士、教師、デザイナーなど）	
○ 2.	管理的な仕事（企業・官公庁における課長職以上、経営者など）	
○ 3.	事務的な仕事（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）	
○ 4.	営業・販売の仕事（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）	
○ 5.	技能工・生産工程に関わる仕事（製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、食品加工など）	
○ 6.	運輸・通信の仕事（トラック・タクシー運転手、郵便配達など）	
○ 7.	保安的職業（警察官、消防士、自衛官、警備員など）	
○ 8.	サービス職（理・美容師、料理人、介護士、ホームヘルパーなど）	
○ 9.	農林漁業に関わる仕事	
○ 10.	その他（具体的に【FA】）	Q11_10FA
○ 11.	働いていない（在学中を含む）	

SAR

Q12 【現在、配偶者/パートナーがいる方におたずねします。】
配偶者/パートナーのお仕事について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	専門・技術的な仕事（医師、看護師、弁護士、教師、デザイナーなど）	
○ 2.	管理的な仕事（企業・官公庁における課長職以上、経営者など）	
○ 3.	事務的な仕事（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）	
○ 4.	営業・販売の仕事（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）	
○ 5.	技能工・生産工程に関わる仕事（製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、食品加工など）	
○ 6.	運輸・通信の仕事（トラック・タクシー運転手、郵便配達など）	
○ 7.	保安的職業（警察官、消防士、自衛官、警備員など）	
○ 8.	サービス職（理・美容師、料理人、介護士、ホームヘルパーなど）	
○ 9.	農林漁業に関わる仕事	
○ 10.	その他（具体的に【FA】）	Q12_10FA
○ 11.	働いていない（在学中を含む）	

SAR

Q13 差支えなければ、昨年1年間のあなたの収入を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	なし
○ 2.	130万円未満
○ 3.	130万円以上200万円未満
○ 4.	200万円以上300万円未満
○ 5.	300万円以上400万円未満
○ 6.	400万円以上500万円未満
○ 7.	500万円以上600万円未満
○ 8.	600万円以上800万円未満
○ 9.	800万円以上1000万円未満
○ 10.	1000万円以上1500万円未満
○ 11.	1500万円以上2000万円未満
○ 12.	2000万円以上3000万円未満
○ 13.	3000万円以上
○ 14.	答えたくない

SAR

Q14 差支えなければ、昨年1年間の世帯全体の収入を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	なし
○ 2.	130万円未満
○ 3.	130万円以上200万円未満
○ 4.	200万円以上300万円未満
○ 5.	300万円以上400万円未満
○ 6.	400万円以上500万円未満
○ 7.	500万円以上600万円未満
○ 8.	600万円以上800万円未満
○ 9.	800万円以上1000万円未満
○ 10.	1000万円以上1500万円未満
○ 11.	1500万円以上2000万円未満
○ 12.	2000万円以上3000万円未満
○ 13.	3000万円以上
○ 14.	答えたくない

SAR

Q15 あなたが最後に在籍していた、または現在在学中の学校は、次のどれですか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	義務教育	
○ 2.	高校	
○ 3.	専門学校	
○ 4.	短大・高専	
○ 5.	大学	
○ 6.	大学院	
○ 7.	その他（具体的に【FA】）	Q15_7FA

MAC **Q16**

今まで、ご自身あるいはカップルで体外受精などの不妊治療の経験はありますか。またその希望はありますか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

□	1.	体外受精・顕微授精という生殖補助医療の経験がある
□	2.	上記以外の不妊治療や検査の経験があり、今後、体外受精・顕微授精などの生殖補助医療も希望している
□	3.	上記以外の不妊治療や検査の経験があり、今後、体外受精・顕微授精などの生殖補助医療は希望していない
□	4.	これまで経験はないが、不妊治療や検査を受けることを検討している
□	5.	経験はないし、治療や検査を受けることも考えていない
□	6.	その他【FA】 *Q16_6FA*
□	7.	答えたくない

SAR

Q17 【現在、配偶者/パートナーがいる方におたずねします。】
配偶者/パートナーが最後に在籍していた、または現在在学中の学校は、次のどれですか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 義務教育
- ○ 2. 高校
- ○ 3. 専門学校
- ○ 4. 短大・高専
- ○ 5. 大学
- ○ 6. 大学院
- ○ 7. その他（具体的に【FA】） Q17_7FA

MTM

Q18

あなたが「いのち」や「医療」に関する情報を調べたいとき、何を使いますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。
先に答えた情報源の中で、最も重要なものを1つ選んで番号をおこたえください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q18S1	1.	あてはまるもの
Q18S2	2.	最も重要なもの

選択肢リスト

- ☐ 1. テレビ
- ☐ 2. 新聞
- ☐ 3. ラジオ
- ☐ 4. 雑誌・書籍
- ☐ 5. インターネット
- ☐ 6. SNS（ソーシャルメディア）
- ☐ 7. 口コミ、会話情報
- ☐ 8. 医療機関や教育機関
- ☐ 9. その他 FA
- ☐ 10. 特に関心がない

MTS

Q19

次の1～6の質問について、過去1ヵ月の間はどのようであったか、６つの項目それぞれのあてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q19S1	1.	神経過敏に感じましたか
Q19S2	2.	絶望的だと感じましたか
Q19S3	3.	そわそわ、落ち着かなく感じましたか
Q19S4	4.	気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか
Q19S5	5.	何をするのも骨おりだと感じましたか
Q19S6	6.	自分は価値のない人間だと感じましたか

選択肢リスト

- ○ 1. いつも
- ○ 2. たいてい
- ○ 3. ときどき
- ○ 4. 少しだけ
- ○ 5. まったくない

SAR

Q20

現在、あなた自身はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を１０点、「とても不幸せ」を０点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれかの数字を１つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1.　とても不幸せ 0点
- ○ 2.　１点
- ○ 3.　２点
- ○ 4.　３点
- ○ 5.　４点
- ○ 6.　５点
- ○ 7.　６点
- ○ 8.　７点
- ○ 9.　８点
- ○ 10.　９点
- ○ 11.　とても幸せ 10点

MTS

Q21

次にあげる項目について、あなたはどのぐらい信頼していますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q21S1	1.	病院
Q21S2	2.	新聞
Q21S3	3.	テレビ
Q21S4	4.	学者・研究者
Q21S5	5.	国会議員
Q21S6	6.	親しい人からの口コミの情報
Q21S7	7.	新しい医療技術

選択肢リスト

- ○ 1.　とても信頼している
- ○ 2.　まあ信頼している
- ○ 3.　どちらともいえない
- ○ 4.　あまり信頼していない
- ○ 5.　信頼していない
- ○ 6.　わからない

MTS

Q22

次のような考え方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q22S1	1.	結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ
Q22S2	2.	結婚したら、子どもは持つべきだ
Q22S3	3.	結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ
Q22S4	4.	女性が最初の子どもを産むなら20代のうちがよい
Q22S5	5.	出産は女性が35歳までにするのがよい

選択肢リスト

- ○ 1.　賛成
- ○ 2.　やや賛成
- ○ 3.　やや反対
- ○ 4.　反対
- ○ 5.　わからない

C2　あなたの出生前検査に関する理解についておたずねします。

MTS

Q23

次の妊娠中に行う検査等について、どれくらい知っていますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q23S1	1.	詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）
Q23S2	2.	クアトロ／トリプルマーカー検査・母体血清マーカー
Q23S3	3.	NIPT（新型出生前検査）
Q23S4	4.	コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検
Q23S5	5.	羊水検査
Q23S6	6.	遺伝カウンセリング

選択肢リスト

○	1.	まったく知らない
○	2.	名前は聞いたことがある
○	3.	目的や方法についておおよそわかる
○	4.	目的や方法について良く知っている

MTS **Q24**

以下の記述について、正しいと思う場合は「〇」を、間違っていると思う場合は「×」を、わからない場合には「わからない」をお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q24S1	1.	妊娠中にあらゆる検査を受けても、生まれつきの病気すべてを知ることはできない
Q24S2	2.	妊婦の年齢が高くなれば、子どもの染色体異常による病気があらわれやすくなる
Q24S3	3.	医師は出生前検査についての説明を妊婦にしなければならない
Q24S4	4.	妊婦の半数以上が、羊水検査を受けている

選択肢リスト

○	1.	正しいと思う（〇）
○	2.	正しくないと思う（×）
○	3.	わからない

MTS **Q25**

次の言葉についてどれくらい知っていますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q25S1	1.	助産師
Q25S2	2.	臨床心理士
Q25S3	3.	臨床遺伝専門医
Q25S4	4.	認定遺伝カウンセラー

選択肢リスト

○	1.	まったく知らない
○	2.	名前は聞いたことがある
○	3.	おおよそわかる
○	4.	詳しく知っている

C3 あなたの出生前検査に関する考えや気持ちをおたずねします。

SAR **Q26**

出生前検査について関心はありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	まったく関心はない
○	2.	あまり関心はない
○	3.	やや関心がある
○	4.	とても関心がある

MAC **Q27**

出生前検査についてあなたの気持ちに近いものを選んでください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□	1.	胎児について多くのことを知るのは良いことである	
□	2.	胎児が病気だったら、早く準備ができる	
□	3.	胎児の病気を妊娠中に知っても、治せる病気でなければ不安になる	
□	4.	胎児に出生前検査でわかる病気がみつからなければ、安心できる	
□	5.	出産すると決めている人にとっては、受ける意味がない	
□	6.	産むか産まないかの選択ができる	
□	7.	検査の結果によって中絶する場合があることは認められる	
□	8.	検査の結果によって中絶する場合があることは認められない	
□	9.	通常の妊婦健診に加えて別途費用がかかることが負担に感じる	
□	10.	その他（具体的に【FA】）	Q27_10FA
□	11.	わからない	

MTS

Q28

胎児について次のことを知りたいと思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q28S1	1.	胎児の生死に関わる病気や障がいを
Q28S2	2.	治療可能な病気や障がいを胎児のうちに
Q28S3	3.	治療できない病気や障がいを胎児のうちに
Q28S4	4.	胎児のおよその大きさを
Q28S5	5.	胎児の性別を

選択肢リスト

○ 1. 知りたい
○ 2. 知りたくない
○ 3. どちらでもよい

SAR

Q29

医療者は出生前検査の説明をすべての妊婦に伝えるのが良いと思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1. すべての妊婦に伝える方が良い →Q30へ
○ 2. すべての妊婦に伝えない方が良い
○ 3. 条件を付けて、それにあう人にだけ伝えるほうが良い →Q30へ
○ 4. わからない
○ 5. その他（具体的に【FA】） Q29_5FA

MAC

Q30

【Q29で「1」と「3」と選んだ方が回答】
医療者は出生前検査の説明をどのような方法で妊婦に伝えるのが良いと思いますか。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

☐ 1. 個別に口頭で伝える
☐ 2. 印刷物配布によって知らせる
☐ 3. 説明会を開催して、参加者に説明する
☐ 4. 掲示（インターネットを含む）によって知らせる
☐ 5. その他（具体的に【FA】） Q30_5FA

SAR

Q31

出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良い検査だと思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1. 行った方が良いと思う
○ 2. 行わない方が良いと思う
○ 3. 年齢や医学的理由等の条件を設けて、条件にあう人にだけ行ったほうが良いと思う
○ 4. 年齢や医学的理由等にかかわらず、希望する人は誰でも行えるようにした方が良いと思う
○ 5. わからない
○ 6. その他（具体的に【FA】） Q31_6FA

SAR

Q32

人工妊娠中絶について、あなたの考えは以下のどれに一番近いですか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1. どんな場合でも認められるべき
○ 2. 条件を付けて、それにあうときに認められるべき →Q33へ
○ 3. 認められない →Q34へ
○ 4. 認められるか、認められないか、決められない →Q35へ
○ 5. これまで考えたことがない
○ 6. 答えたくない
○ 7. その他（具体的に【FA】） Q32_7FA

MTS **Q33**
【Q32で「2」を選んだ方が回答、選択した選択肢表示】
人工妊娠中絶が認められる条件について、それぞれお答えください。
【その他以外必須】
▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q33S1	1.	妊娠を継続すると女性の生命に危険がある場合
Q33S2	2.	暴力による妊娠だった場合
Q33S3	3.	経済的にその子どもを育てられないと思う場合
Q33S4	4.	体力的にその子どもを育てるのが難しい場合
Q33S5	5.	希望する子どもの人数より多い場合
Q33S6	6.	胎児が望んだ性別でなかった場合
Q33S7	7.	子どもに疾患や障がいがある場合
Q33S8	8.	生まれたあとに手術や高度な医療を何度も受けなければならないと説明された場合
Q33S9	9.	誕生後間もなく亡くなる可能性が高いと説明された場合
Q33S10	10.	その他（具体的に【FA】） Q33S10FA

選択肢リスト
○ 1. はい
○ 2. いいえ

FAL **Q34**
【Q32で「3」を選んだ方が回答】
人工妊娠中絶が認められないと考えるのはなぜですか。その理由をおしえてください。（具体的に）
▲ 設問文を折りたたむ

Q34FA

FAL **Q35**
【Q32で「4」を選んだ方が回答】
決められないのはなぜですか。その理由をおしえてください。（具体的に）
▲ 設問文を折りたたむ

Q35FA

SAR **Q36**
最近、新型出生前検査（NIPT）と呼ばれる検査方法について新聞・雑誌・インターネット・テレビなどで報道されることが増えています。これらの記事を目にしたときのあなたの行動で一番近いものを選んでください。
▲ 設問文を折りたたむ

○ 1. 興味をもって読んだり視聴したりする
○ 2. 情報として知っておくために読んだり視聴したりする
○ 3. 報道されていることは知っているが、あまり興味がないので注意して読んだり視聴したりしない
○ 4. 報道されていることに気が付かない
○ 5. その他（具体的に【FA】） Q36_5FA

MTS **Q37**
子どもが生まれてくる時に願うことについて、次のような考えをあなたはどう思いますか。
▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q37S1	1.	大きな病気や障がいはなく生まれてほしいが、そうでなくても幸せになれる
Q37S2	2.	大きな病気や障がいがあっても、今は医療技術が発達しているので、あまり気にならない
Q37S3	3.	大きな病気や障がいが見つからなくても、その後、検査ではわからない病気やけがなどがあるかもしれないので、あまり気にならない
Q37S4	4.	誕生後に何があるかわからないので、せめて大きな病気や障がいがなく生まれてきて欲しい

選択肢リスト

○	1.	そう思う
○	2.	そう思わない
○	3.	わからない
○	4.	答えたくない

C4 あなたご自身の出生前検査に対する考え方をおたずねします。

SAR

Q38

もしもこれから妊娠するとしたら（あるいは配偶者/パートナーが妊娠するとしたら）、出生前検査を受けたいと思いますか。（現在妊娠中の方は、今後のことを想像してお答えください。）

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	是非受けたい（是非受けるように勧めたい）	
○	2.	できれば受けたい（できれば受けるように勧めたい）	
○	3.	できれば受けたくない（できれば受けないように勧めたい）	
○	4.	絶対受けない（絶対受けないように勧めたい）	
○	5.	わからない：その場面にならないとわからない	
○	6.	わからない：配偶者/パートナーの意思を尊重したい	
○	7.	わからない：親など身近な人の意思を尊重したい	
○	8.	その他（具体的に【FA】）	Q38_8FA
○	9.	答えたくない	

MAC

Q39

【Q38で「1」「2」を選んだ方が回答】

出生前検査を受ける場所を選ぶとき重視するのはどの点ですか。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□	1.	妊娠中にかかりつけの産婦人科の主治医がいること	→Q41へ
□	2.	専門の遺伝カウンセラー（認定遺伝カウンセラー等）がいること	→Q41へ
□	3.	相談できる小児科医師がいるところ	→Q41へ
□	4.	妊娠している本人が望むところ	→Q41へ
□	5.	妊婦の配偶者/パートナー（男性）が望むところ	→Q41へ
□	6.	出産予定の病院とは別のところ	→Q41へ
□	7.	出生前検査の実績があること	→Q41へ
□	8.	人工妊娠中絶ができるところ	→Q41へ
□	9.	費用が安いところ	→Q40・Q41へ
□	10.	交通のアクセスが良いこと	→Q41へ
□	11.	土日・夜間診療やオンラインでの診療ができるところ	→Q41へ
□	12.	わからない	
□	13.	その他（具体的に【FA】）	Q39_13FA

SAR

Q40

【Q39で「9」を選んだ方が回答】

出生前検査の自己負担についてどのようにお考えですか。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	自己負担なしが望ましい	
○	2.	一定までの自己負担が望ましい――→ 具体的に【【N】円】まで	Q40_2N
○	3.	検査の精度が高ければ、自己負担が多くても構わない	
○	4.	その他（具体的に【FA】）	Q40_4FA

SAR

Q41

【Q39で「1～11」を選んだ方が回答】

出生前検査を受ける場所を選ぶとき、最も重視する点は、どの点ですか。Q39で選択したものの中から一番重視する点を選んでください。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	妊娠中にかかりつけの産婦人科の主治医がいること
○	2.	専門の遺伝カウンセラー（認定遺伝カウンセラー等）がいること
○	3.	相談できる小児科医師がいるところ
○	4.	妊娠している本人が望むところ
○	5.	妊婦の配偶者/パートナー（男性）が望むところ
○	6.	出産予定の病院とは別のところ
○	7.	出生前検査の実績があること
○	8.	人工妊娠中絶ができるところ
○	9.	費用が安いところ
○	10.	交通のアクセスが良いこと
○	11.	土日・夜間診療やオンラインでの診療ができるところ

MTS **Q42**

【Q38で「1」「2」を選んだ方が回答】
もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しますか。
【その他以外必須】

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q42S1	1.	何があっても妊娠は継続したい（してほしい）	
Q42S2	2.	自分たちの生活や仕事が大きく影響を受けるとわかった場合	
Q42S3	3.	誕生後間もなく亡くなる可能性が高いと説明された場合	
Q42S4	4.	将来的に医療や福祉のケアが必要だと説明された場合	
Q42S5	5.	軽重に関わらず何らかの病気や障がいが見つかった場合	
Q42S6	6.	その他（具体的に【FA】）	Q42S6FA

選択肢リスト

- ○ 1. はい／継続する
- ○ 2. いいえ／継続しない
- ○ 3. 答えたくない

MAC **Q43**

【Q38で「1」「2」を選んだ方が回答】
もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続するかしないかを決めるために、誰の意見を重視しますか。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 妊婦
- ☐ 2. 妊婦の配偶者/パートナー
- ☐ 3. 妊婦の親
- ☐ 4. 妊婦の配偶者/パートナーの親
- ☐ 5. 主治医
- ☐ 6. わからない
- ☐ 7. その他（具体的に【FA】） Q43_7FA

MAC **Q44**

出生前検査を受けたい（受けさせたい）理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 妊娠期を安心して過ごせた（過ごせると思う）
- ☐ 2. 胎児の病気に早く対応できた（対応できると思う）
- ☐ 3. 命の大切さについてよく考えることができた（よく考えることができると思う）
- ☐ 4. 夫婦や家族で、生まれてくる子どものことを話し合うことができた（できると思う）
- ☐ 5. 医療者（医師・看護師・認定遺伝カウンセラー）の説明や対応が良かった（医療者の対応に期待している）
- ☐ 6. その他（具体的に【FA】） Q44_6FA
- ☐ 7. いずれもあてはまらない（出生前検査を受けたくない）
- ☐ 8. わからない・答えたくない

MAC **Q45**

出生前検査を受けたくない（受けさせたくない）理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 結果を待つ間不安だった（不安だと思う）
- ☐ 2. 費用がかかりすぎると思った（かかりすぎると思う）
- ☐ 3. 検査を受けたことで、子どもに申し訳ない気持ちになった（申し訳ない気持ちになりそう）
- ☐ 4. 医療者（医師・看護師・認定遺伝カウンセラー）の説明や態度に不満があった（医療者の対応や態度を不満に感じると思う）
- ☐ 5. 検査を受けたことによって倫理的な葛藤が生じた（倫理的な葛藤が生じると思う）
- ☐ 6. 検査の結果がパーセンテージで示された場合に、判断に迷った（判断に迷いそう）
- ☐ 7. その他（具体的に【FA】） Q45_7FA
- ☐ 8. いずれもあてはまらない（出生前検査を受けたい）
- ☐ 9. わからない・答えたくない

C5 検査の経験についておたずねします。

SAR

Q46 【これまでご自身や配偶者/パートナーが妊娠を経験した方におたずねします。】

出生前検査を受けたことがありますか（男性の場合は配偶者/パートナーの経験としてお答えください）。
※出生前検査とは、詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）、NIPT、母体血清マーカー（クアトロ／トリプルマーカー検査）、コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）、絨毛検査、羊水検査などのことです。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	受けたことがある	→Q48へ
○	2.	受けたことはないが、主治医に相談したことはある	
○	3.	受けたことはないが、主治医以外の医療者（医師・看護師など）に相談したことはある	→Q47へ
○	4.	受けたことはないし、主治医やその他の医療者に相談したこともないが、自分で調べたことはある	
○	5.	受けたことはないし、主治医やその他の医療者に相談したこともないし、自分で調べたこともない	
○	6.	覚えていない	
○	7.	わからない	

FAL

Q47 【Q46で「3」を選んだ方が回答】
具体的に、どのような医療者に、何を相談しましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

Q47FA

FAS

Q48 【Q46で「1」を選んだ方が回答】
これまでの妊娠で出生前検査を受けたことがありますか。妊娠回数と、そのうち出生前検査を受けた回数を教えてください。
※わからない・覚えていない方は「88」とお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q48S1【N】回	Q48S1N
2.	Q48S2【N】回	Q48S2N

MAC

Q49 【Q46で「1」を選んだ方が回答】

出生前検査を受けたのは何歳の時ですか。複数回受けた場合には、最近の経験から4回までについて、各回の年齢（男性の場合は、配偶者/パートナーが検査を受けた時の配偶者/パートナーの年齢）をお答えください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

□	1.	１番最近の経験女性の場合、あなたが/男性の場合、配偶者/パートナーが【N】歳のとき	Q49_1N
□	2.	２番目に最近の経験女性の場合、あなたが/男性の場合、配偶者/パートナーが【N】歳のとき	Q49_2N
□	3.	３番目に最近の経験女性の場合、あなたが/男性の場合、配偶者/パートナーが【N】歳のとき	Q49_3N
□	4.	４番目に最近の経験女性の場合、あなたが/男性の場合、配偶者/パートナーが【N】歳のとき	Q49_4N
□	5.	覚えていない・わからない	

MTM

Q50 【Q46で「1」を選んだ方が回答】
最近から4回までの出生前検査の経験について、各回ごとに受けた検査をすべて選択してください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q50S1	1.	《１番最近の経験》
Q50S2	2.	《２番目に最近の経験》
Q50S3	3.	《３番目に最近の経験》
Q50S4	4.	《４番目に最近の経験》

選択肢リスト

□ 1.	詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）	→Q51へ
□ 2.	母体血清マーカー検査	→Q52へ
□ 3.	NIPT（認可施設）	→Q53へ
□ 4.	NIPT（非認可施設）	→Q53へ
□ 5.	NIPT（どちらかわからない）	→Q53へ
□ 6.	コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検	→Q54へ
□ 7.	絨毛検査	→Q55へ
□ 8.	羊水検査	→Q56へ
□ 9.	どの検査かわからない/あてはまるものはない	

MAC **Q51** 【詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）を受けたことがある方におたずねしま
詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）を受けた理由を教えてください。（あ

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	その施設は全員に行う方針だったから	
□ 2.	妊婦健診の結果から受けた方が良いと医師にいわれて	
□ 3.	心配なので自ら申し出て	
□ 4.	高齢だから	
□ 5.	遺伝的な心配があって	
□ 6.	NIPTの検査対象にならないから（年齢条件などから）	
□ 7.	NIPTが高額だから	
□ 8.	その他（具体的に【FA】）	Q51_8FA
□ 9.	覚えていない	
□ 10.	わからない	

MAC **Q52** 【母体血清マーカー検査を受けたことがある方におたずねします。】
母体血清マーカー検査を受けた理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	妊婦健診の結果から受けた方が良いと医師にいわれて	
□ 2.	心配なので自ら申し出て	
□ 3.	違う検査を希望したが医療者から勧められて	
□ 4.	詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）などの結果から	
□ 5.	高齢だから	
□ 6.	NIPTの検査対象にならないから（年齢条件などから）	
□ 7.	NIPTが高額だから	
□ 8.	その他（具体的に【FA】）	Q52_8FA
□ 9.	覚えていない	
□ 10.	わからない	

MAC **Q53** 【NIPTを受けたことがある方におたずねします。】
NIPTを受けた理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	妊婦健診の結果から受けた方が良いと医師にいわれて	
□ 2.	心配なので自ら申し出て	
□ 3.	違う検査を希望したが医療者から勧められて	
□ 4.	高齢だから	
□ 5.	その他（具体的に【FA】）	Q53_5FA
□ 6.	覚えていない	
□ 7.	わからない	

MAC **Q54** 【コンバインド検査、OSCAR検査等を受けたことがある方におたずねします。】
コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検
査）を受けた理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	妊婦健診の結果から受けた方が良いと医師にいわれて	
□ 2.	心配なので自ら申し出て	
□ 3.	違う検査を希望したが医療者から勧められて	
□ 4.	他の検査（たとえばNIPT）が高額だったから	
□ 5.	NIPTを実施している医療機関が遠いなど、行きづらかった、なかったから	
□ 6.	高齢だから	
□ 7.	NIPTの検査対象にならないから（年齢条件などから）	
□ 8.	NIPTが高額だから	
□ 9.	その他（具体的に【FA】）	Q54_9FA
□ 10.	覚えていない	
□ 11.	わからない	

MAC

Q55 【絨毛検査を受けたことがある方におたずねします。】
絨毛検査を受けた理由を教えてください。（あてはまるものすべて）
▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 妊婦健診の結果から受けた方が良いと医師にいわれて
- ☐ 2. 心配なので自ら申し出て
- ☐ 3. 詳しい超音波検査（NTを含む）、NIPT、母体血清マーカー検査、コンバインド検査などの結果から
- ☐ 4. 高齢だから
- ☐ 5. NIPTが高額だから
- ☐ 6. 精度が高く、一度で診断が可能であるので
- ☐ 7. その他（具体的に【FA】） *Q55_7FA*
- ☐ 8. 覚えていない
- ☐ 9. わからない

MAC

Q56 【羊水検査を受けたことがある方におたずねします。】
羊水検査を受けた理由を教えてください。（あてはまるものすべて）
▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 妊婦健診の結果から受けた方が良いと医師にいわれて
- ☐ 2. 心配なので自ら申し出て
- ☐ 3. NIPT、母体血清マーカー検査、コンバインド検査などの結果から
- ☐ 4. 高齢だから
- ☐ 5. NIPTが高額だから
- ☐ 6. 精度が高く、一度で診断が可能であるので
- ☐ 7. その他（具体的に【FA】） *Q56_7FA*
- ☐ 8. 覚えていない
- ☐ 9. わからない

SAR

Q57 【出生前検査を受けたことがある方におたずねします。】
出生前検査を受けたことについてどう思いますか。
▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 受けて良かった
- ○ 2. どちらかというと受けて良かった
- ○ 3. どちらかというと受けなかった方が良かった
- ○ 4. 受けなかった方が良かった
- ○ 5. どちらかには決められない（具体的に【FA】） *Q57_5FA*

SAR

Q58 【出生前検査を受けた、あるいは相談したことがある方におたずねします。】
出生前検査について最終的に相談したのはどの医療者ですか。
▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 主治医に相談したので、それ以上の相談はしなかった
- ○ 2. かかっていた医療機関が出生前検査を実施していたので、そこで遺伝カウンセリングを受けた
- ○ 3. 出生前検査専門の医療機関を紹介されて遺伝カウンセリングを受けた
- ○ 4. 自分で出生前検査専門の医療機関を探して遺伝カウンセリングを受けた
- ○ 5. インターネット上の情報のみで判断した
- ○ 6. その他（具体的に【FA】） *Q58_6FA*
- ○ 7. わからない・覚えていない

SAR

Q59 【出生前検査を受けた、あるいは相談したことがある方におたずねします。】
医療者に相談して、その説明や対応に満足しましたか。
▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 満足した
- ○ 2. やや満足した
- ○ 3. あまり満足しなかった
- ○ 4. 満足しなかった
- ○ 5. その他（具体的に【FA】） *Q59_5FA*
- ○ 6. わからない・覚えていない

SAR

Q60

【出生前検査を受けなかった方におたずねします。】
出生前検査を受けなかったことについてどう思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	受けなくて良かった	
○ 2.	どちらかというと受けなくて良かった	
○ 3.	どちらかというと受ければ良かった	→Q61へ
○ 4.	受ければ良かった	
○ 5.	どちらかには決められない（具体的に【FA】）	Q60_5FA

FAL

Q61

【Q60で「3」もしくは「4」を選んだ方が回答】
差し支えなければ、受ければ良かった・どちらかというと受ければ良かった（受けていれば良かった）と理由を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

Q61FA

FAL

Q62

現在の日本での出生前検査や、妊娠・出産に関する状況について、あるいはこの調査についてのご意見やお考えをお聞かせください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q62FA

出生前検査に関する追加アンケート

出生前検査に関する追加アンケート

出生前検査とは、胎児の病気や障がいなどについて知るために妊娠中に受ける検査です。
この調査では、みなさまの妊娠・出産と出生前検査についての意識やご意見を知り、
今後の医療情報の伝え方、医療のあり方を改善することを目的に行うものです。

年齢やご職業、妊娠のご経験、心理的側面などをお尋ねする質問もあります。
この調査研究により得られた結果は、回答していただいた方の個人が特定されないようにまとめた形で、今後の研究資料として活用させていただく予定です。
調査結果及び調査結果は報告書、学術雑誌並びに書籍への掲載などによって
公表される予定です。

この調査は、令和2年厚生労働省成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）、「出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」の一部として実施されます。

研究代表者 白土なほ子 （昭和大学医学部産婦人科学講座）

「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力お願いします。

アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

選択肢記号の説明

□	複数選択（チェックボックス）
○	単一選択（ラジオボタン）
▽	単一選択（プルダウン）

MAC **Q1** 【12月調査に回答した方が回答】

2020年12/11～12/14に実施した「出生前検査に関するアンケート」にご協力いただいた方にお尋ねします。
2020年12月に上記アンケートを回答した以降で、結婚、妊娠、出生前検査を受けたかどうかについて、変化はありましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	結婚、妊娠、出生前検査を受けたかどうかのいずれも変化はない	
□ 2.	配偶者（事実婚を含む）と別れた（死別を含む）	
□ 3.	妊娠の状況が変化した【具体的に】※妊娠の状況とは、妊娠した、流産した、出産した、などです⇒【FA】	*Q1_3FA*
□ 4.	不妊治療を行った【具体的に】※受けたとしたら、どのような治療を行ったかをご記入ください⇒【FA】	*Q1_4FA*
□ 5.	出生前検査を新たに受けた【具体的に】※受けたとしたら、どの検査を受けたかをご記入ください⇒【FA】	*Q1_5FA*

SAP

Q2

現在の配偶者/パートナーの年齢をお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

▽ 1. 18歳以下
▽ 2. 19歳
▽ 3. 20歳
▽ 4. 21歳
▽ 5. 22歳
▽ 6. 23歳
▽ 7. 24歳
▽ 8. 25歳
▽ 9. 26歳
▽ 10. 27歳
▽ 11. 28歳
▽ 12. 29歳
▽ 13. 30歳
▽ 14. 31歳
▽ 15. 32歳
▽ 16. 33歳
▽ 17. 34歳
▽ 18. 35歳
▽ 19. 36歳
▽ 20. 37歳
▽ 21. 38歳
▽ 22. 39歳
▽ 23. 40歳
▽ 24. 41歳
▽ 25. 42歳
▽ 26. 43歳
▽ 27. 44歳
▽ 28. 45歳
▽ 29. 46歳
▽ 30. 47歳
▽ 31. 48歳
▽ 32. 49歳
▽ 33. 50歳
▽ 34. 51歳
▽ 35. 52歳
▽ 36. 53歳
▽ 37. 54歳
▽ 38. 55歳
▽ 39. 56歳
▽ 40. 57歳
▽ 41. 58歳
▽ 42. 59歳
▽ 43. 60歳

▽ 44.　61歳
▽ 45.　62歳
▽ 46.　63歳
▽ 47.　64歳
▽ 48.　65歳
▽ 49.　66歳
▽ 50.　67歳
▽ 51.　68歳
▽ 52.　69歳
▽ 53.　70歳
▽ 54.　71歳
▽ 55.　72歳
▽ 56.　73歳
▽ 57.　74歳
▽ 58.　75歳
▽ 59.　76歳以上

SAR **Q3**

あなたは、現在、妊娠されていますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	妊娠している	→Q4へ
○ 2.	妊娠していない	→Q5へ
○ 3.	答えたくない	→Q5へ

SAP **Q4**

【Q3で「1」を選んだ方が回答】
現在妊娠している方にお伺いします。

▲ 設問文を折りたたむ

▽ 1.　4週(妊娠2か月1週)以下
▽ 2.　5週(妊娠2か月2週)
▽ 3.　6週(妊娠2か月3週)
▽ 4.　7週(妊娠2か月4週)
▽ 5.　8週(妊娠3か月1週)
▽ 6.　9週(妊娠3か月2週)
▽ 7.　10週(妊娠3か月3週)
▽ 8.　11週(妊娠3か月4週)
▽ 9.　12週(妊娠4か月1週)
▽ 10.　13週(妊娠4か月2週)
▽ 11.　14週(妊娠4か月3週)
▽ 12.　15週(妊娠4か月4週)
▽ 13.　16週(妊娠5か月1週)
▽ 14.　17週(妊娠5か月2週)
▽ 15.　18週(妊娠5か月3週)
▽ 16.　19週(妊娠5か月4週)
▽ 17.　20週(妊娠6か月1週)
▽ 18.　21週(妊娠6か月2週)
▽ 19.　22週(妊娠6か月3週)
▽ 20.　23週(妊娠6か月4週)
▽ 21.　24週(妊娠7か月1週)
▽ 22.　25週(妊娠7か月2週)
▽ 23.　26週(妊娠7か月3週)
▽ 24.　27週(妊娠7か月4週)
▽ 25.　28週(妊娠8か月1週)
▽ 26.　29週(妊娠8か月2週)
▽ 27.　30週(妊娠8か月3週)
▽ 28.　31週(妊娠8か月4週)
▽ 29.　32週(妊娠9か月1週)
▽ 30.　33週(妊娠9か月2週)
▽ 31.　34週(妊娠9か月3週)
▽ 32.　35週(妊娠9か月4週)
▽ 33.　36週(妊娠10か月1週)
▽ 34.　37週(妊娠10か月2週)
▽ 35.　38週(妊娠10か月3週)
▽ 36.　39週(妊娠10か月4週)
▽ 37.　40週(妊娠11か月1週)
▽ 38.　41週(妊娠11か月2週)
▽ 39.　42週(妊娠11か月3週)以上

SAR

Q5

これまでの妊娠回数について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	0回	→Q7へ
○	2.	1回	→Q6へ
○	3.	2回	→Q6へ
○	4.	3回	→Q6へ
○	5.	4回	→Q6へ
○	6.	5回以上	→Q6へ

FAS

Q6

【Q5で「2～6」を選んだ方が回答】
妊娠した時期について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q6S1【N】	Q6S1N
2.	Q6S2【N】	Q6S2N
3.	Q6S3【N】	Q6S3N
4.	Q6S4【N】	Q6S4N
5.	Q6S5【N】	Q6S5N
6.	Q6S6【N】	Q6S6N

MTM

Q7

不妊治療の有無について教えてください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q7S1	1.	直近の妊娠
Q7S2	2.	直近から2番目の妊娠
Q7S3	3.	直近から3番目の妊娠

選択肢リスト

□	1.	治療なし
□	2.	治療あり（排卵誘発・人工授精）
□	3.	治療あり（体外受精・胚移植・顕微授精）

MTM

Q8

出生前検査の有無について教えてください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q8S1	1.	直近の妊娠
Q8S2	2.	直近から2番目の妊娠
Q8S3	3.	直近から3番目の妊娠

選択肢リスト

□	1.	詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）	
□	2.	母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）	
□	3.	NIPT ※日本でこの検査が始まったのは2013年以降です。	
□	4.	コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）	
□	5.	絨毛検査	
□	6.	羊水検査	
□	7.	その他【具体的に】	Q8S1_7FA
□	8.	この妊娠の時には出生前検査はしていない	

MTS

Q9

妊娠の結果について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q9S1	1.	直近の妊娠
Q9S2	2.	直近から2番目の妊娠
Q9S3	3.	直近から3番目の妊娠

選択肢リスト

○	1.	妊娠したが、流産した	
○	2.	妊娠したが継続しなかった（人工妊娠中絶を行った）	
○	3.	出産した	
○	4.	その他【具体的に】	Q9S1_4FA
○	5.	答えたくない	

SAR

Q10

これまで受けた不妊治療（排卵誘発、人工授精、体外受精･胚移植、顕微授

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	1周期
○	2.	2周期
○	3.	3周期
○	4.	4周期
○	5.	5周期以上

MTS

Q11

それぞれの周期ごとの不妊治療（排卵誘発、人工授精、体外受精･胚移植、顕微授精）をしていた期間を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q11S1	1.	直近の不妊治療
Q11S2	2.	直近から2番目の不妊治療
Q11S3	3.	直近から3番目の不妊治療

選択肢リスト

○	1.	6ヶ月未満
○	2.	6ヶ月～1年未満
○	3.	1年～1年6ヶ月未満
○	4.	1年6ヶ月～2年未満
○	5.	2年～2年6ヶ月未満
○	6.	2年6ヶ月～3年未満
○	7.	3年～3年6ヶ月未満
○	8.	3年6ヶ月～4年未満
○	9.	4年～4年6ヶ月未満
○	10.	4年6ヶ月～5年未満
○	11.	5年～5年6ヶ月未満
○	12.	5年6ヶ月～6年未満
○	13.	6年～6年6ヶ月未満
○	14.	6年6ヶ月～7年未満
○	15.	7年～7年6ヶ月未満
○	16.	7年6ヶ月～8年未満
○	17.	8年～8年6ヶ月未満
○	18.	8年6ヶ月～9年未満
○	19.	9年～9年6ヶ月未満
○	20.	9年6ヶ月～10年未満
○	21.	10年以上

MTS

Q12

不妊治療をした結果について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q12S1	1.	直近の不妊治療
Q12S2	2.	直近から2番目の不妊治療
Q12S3	3.	直近から3番目の不妊治療

選択肢リスト

○	1.	妊娠しなかった	
○	2.	妊娠したが、流産した	
○	3.	妊娠したが継続しなかった（人工妊娠中絶を行った）	
○	4.	出産した	
○	5.	その他【具体的に】	*Q12S1_5FA*
○	6.	答えたくない	

MAC

Q13

お子さんはいますか。

▲ 設問文を折りたたむ

□	1.	実子がいる ──→ 【N】人	*Q13_1N*	→Q14へ
□	2.	継子や養子、里子がいる ──→ 【N】人	*Q13_2N*	→Q14へ
□	3.	子どもはいない		→Q15へ

FAS **Q14**

【Q13で「1」か「2」を選んだ方が回答】
一番下のお子さんの年齢を教えてください。1歳未満の場合は0歳とお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q14S1 【N】歳	*Q14S1N*

SAR **Q15**

あなたは出生前検査に仕事を通して、何らかの形でかかわった経験はありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	ある ――→ 【具体的な職種：【FA】】	*Q15_1FA*
○ 2.	ない	
○ 3.	答えたくない	

SAR **Q16**

あなたやご家族に、妊娠・出産、医療などに対して影響を与えた宗教・信仰・思想・信条がありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	自分と家族、どちらにもある	
○ 2.	自分自身だけにある	
○ 3.	自分にはないが、家族にはある	
○ 4.	どちらともいえない	
○ 5.	ない	
○ 6.	その他【FA】	*Q16_6FA*

MAC **Q17**

あなたや配偶者/パートナー、ご家族などの身近な人は、妊娠・出産や子育てに際し、何らかの健康上の不安やリスク、障がいなどをお持ちですか。あるという方を選んでください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

□ 1.	自分自身	
□ 2.	配偶者/パートナー	
□ 3.	自分の親やきょうだい	
□ 4.	配偶者/パートナーの親やきょうだい	
□ 5.	自分たちの子ども	
□ 6.	その他の親族や身近な人（具体的に【FA】）	*Q17_6FA*
□ 7.	そのような人は誰もいない	
□ 8.	その他【FA】	*Q17_8FA*

C1 あなたご自身についておたずねします。

SAR **Q18**

あなたのお仕事について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	専門・技術的な仕事（医師、看護師、弁護士、教師、デザイナーなど）	
○ 2.	管理的な仕事（企業・官公庁における課長職以上、経営者など）	
○ 3.	事務的な仕事（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）	
○ 4.	営業・販売の仕事（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）	
○ 5.	技能工・生産工程に関わる仕事（製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、食品加工など）	
○ 6.	運輸・通信の仕事（トラック・タクシー運転手、郵便配達など）	
○ 7.	保安的職業（警察官、消防士、自衛官、警備員など）	
○ 8.	サービス職（理・美容師、料理人、介護士、ホームヘルパーなど）	
○ 9.	農林漁業に関わる仕事	
○ 10.	その他（具体的に【FA】）	*Q18_10FA*
○ 11.	働いていない（在学中を含む）	

SAR

Q19

配偶者/パートナーのお仕事について教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	専門・技術的な仕事（医師、看護師、弁護士、教師、デザイナーなど）	
○ 2.	管理的な仕事（企業・官公庁における課長職以上、経営者など）	
○ 3.	事務的な仕事（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）	
○ 4.	営業・販売の仕事（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）	
○ 5.	技能工・生産工程に関わる仕事（製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、食品加工など）	
○ 6.	運輸・通信の仕事（トラック・タクシー運転手、郵便配達など）	
○ 7.	保安的職業（警察官、消防士、自衛官、警備員など）	
○ 8.	サービス職（理・美容師、料理人、介護士、ホームヘルパーなど）	
○ 9.	農林漁業に関わる仕事	
○ 10.	その他（具体的に【FA】）	Q19_10FA
○ 11.	働いていない（在学中を含む）	

SAR

Q20

差支えなければ、昨年1年間のあなたの収入を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	なし
○ 2.	130万円未満
○ 3.	130万円以上200万円未満
○ 4.	200万円以上300万円未満
○ 5.	300万円以上400万円未満
○ 6.	400万円以上500万円未満
○ 7.	500万円以上600万円未満
○ 8.	600万円以上800万円未満
○ 9.	800万円以上1000万円未満
○ 10.	1000万円以上1500万円未満
○ 11.	1500万円以上2000万円未満
○ 12.	2000万円以上3000万円未満
○ 13.	3000万円以上
○ 14.	答えたくない

SAR

Q21

差支えなければ、昨年1年間の世帯全体の収入を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	なし
○ 2.	130万円未満
○ 3.	130万円以上200万円未満
○ 4.	200万円以上300万円未満
○ 5.	300万円以上400万円未満
○ 6.	400万円以上500万円未満
○ 7.	500万円以上600万円未満
○ 8.	600万円以上800万円未満
○ 9.	800万円以上1000万円未満
○ 10.	1000万円以上1500万円未満
○ 11.	1500万円以上2000万円未満
○ 12.	2000万円以上3000万円未満
○ 13.	3000万円以上
○ 14.	答えたくない

SAR

Q22

あなたが最後に在籍していた、または現在在学中の学校は、次のどれですか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	義務教育	
○ 2.	高校	
○ 3.	専門学校	
○ 4.	短大・高専	
○ 5.	大学	
○ 6.	大学院	
○ 7.	その他（具体的に【FA】）	Q22_7FA

SAR

Q23

【現在、配偶者/パートナーがいる方におたずねします。】
配偶者/パートナーが最後に在籍していた、または現在在学中の学校は、次のどれですか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 義務教育
- ○ 2. 高校
- ○ 3. 専門学校
- ○ 4. 短大・高専
- ○ 5. 大学
- ○ 6. 大学院
- ○ 7. その他（具体的に【FA】） Q23_7FA

MTM

Q24

あなたが「いのち」や「医療」に関する情報を調べたいとき、何を使いますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q24S1	1.	あてはまるもの
Q24S2	2.	最も重要なもの

選択肢リスト

- ☐ 1. テレビ
- ☐ 2. 新聞
- ☐ 3. ラジオ
- ☐ 4. 雑誌・書籍
- ☐ 5. インターネット
- ☐ 6. SNS（ソーシャルメディア）
- ☐ 7. 口コミ、会話情報
- ☐ 8. 医療機関や教育機関
- ☐ 9. その他 Q24S1_9FA
- ☐ 10. 特に関心がない

MTS

Q25

次の1～6の質問について、過去1ヵ月の間はどのようであったか、６つの項目それぞれのあてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q25S1	1.	神経過敏に感じましたか
Q25S2	2.	絶望的だと感じましたか
Q25S3	3.	そわそわ、落ち着かなく感じましたか
Q25S4	4.	気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか
Q25S5	5.	何をするのも骨おりだと感じましたか
Q25S6	6.	自分は価値のない人間だと感じましたか

選択肢リスト

- ○ 1. いつも
- ○ 2. たいてい
- ○ 3. ときどき
- ○ 4. 少しだけ
- ○ 5. まったくない

SAR

Q26

現在、あなた自身はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を１０点、「とても不幸せ」を０点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれかの数字を１つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. とても不幸せ 0点
- ○ 2. １点
- ○ 3. ２点
- ○ 4. ３点
- ○ 5. ４点
- ○ 6. ５点
- ○ 7. ６点
- ○ 8. ７点
- ○ 9. ８点
- ○ 10. ９点
- ○ 11. とても幸せ 10点

MTS

Q27

次のような考え方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q27S1	1.	結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ
Q27S2	2.	結婚したら、子どもは持つべきだ
Q27S3	3.	結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ
Q27S4	4.	女性が最初の子どもを産むなら20代のうちがよい
Q27S5	5.	出産は女性が35歳までにするのがよい

選択肢リスト

○ 1. 賛成
○ 2. やや賛成
○ 3. やや反対
○ 4. 反対
○ 5. わからない

C2 あなたの出生前検査に関する理解についておたずねします。

MTS

Q28

次の妊娠中に行う検査等について、どれくらい知っていますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q28S1	1.	詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）
Q28S2	2.	クアトロ／トリプルマーカー検査・母体血清マーカー
Q28S3	3.	NIPT（新型出生前検査）
Q28S4	4.	コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）
Q28S5	5.	羊水検査
Q28S6	6.	遺伝カウンセリング

選択肢リスト

○ 1. まったく知らない
○ 2. 名前は聞いたことがある
○ 3. 目的や方法についておおよそわかる
○ 4. 目的や方法について良く知っている

MTS

Q29

以下の記述について、正しいと思う場合は「○」を、間違っていると思う場合は「×」を、わからない場合には「わからない」をお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q29S1	1.	妊娠中にあらゆる検査を受けても、生まれつきの病気すべてを知ることはできない
Q29S2	2.	妊婦の年齢が高くなれば、子どもの染色体異常による病気があらわれやすくなる
Q29S3	3.	医師は出生前検査についての説明を妊婦にしなければならない
Q29S4	4.	妊婦の半数以上が、羊水検査を受けている

選択肢リスト

○ 1. 正しいと思う（○）
○ 2. 正しくないと思う（×）
○ 3. わからない

C3 あなたの出生前検査に関する考えや気持ちをおたずねします。

MAC

Q30

出生前検査についてあなたの気持ちに近いものを選んでください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 胎児について多くのことを知るのは良いことである
- ☐ 2. 胎児が病気だったら、早く準備ができる
- ☐ 3. 胎児の病気を妊娠中に知っても、治せる病気でなければ不安になる
- ☐ 4. 胎児に出生前検査でわかる病気がみつからなければ、安心できる
- ☐ 5. 出産すると決めている人にとっては、受ける意味がない
- ☐ 6. 産むか産まないかの選択ができる
- ☐ 7. 検査の結果によって中絶する場合があることは認められる
- ☐ 8. 検査の結果によって中絶する場合があることは認められない
- ☐ 9. 通常の妊婦健診に加えて別途費用がかかることが負担に感じる
- ☐ 10. その他（具体的に【FA】） Q30_10FA
- ☐ 11. わからない

SAR

Q31

医療者は出生前検査の説明をすべての妊婦に伝えるのが良いと思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. すべての妊婦に伝える方が良い
- ○ 2. すべての妊婦に伝えない方が良い
- ○ 3. 条件を付けて、それにあう人にだけ伝えるほうが良い
- ○ 4. わからない
- ○ 5. その他（具体的に【FA】） Q31_5FA

SAR

Q32

出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良い検査だと思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 行った方が良いと思う
- ○ 2. 行わない方が良いと思う
- ○ 3. 年齢や医学的理由等の条件を設けて、条件にあう人にだけ行ったほうが良いと思う
- ○ 4. 年齢や医学的理由等にかかわらず、希望する人は誰でも行えるようにした方が良いと思う
- ○ 5. わからない
- ○ 6. その他（具体的に【FA】） Q32_6FA

MTS

Q33

子どもが生まれてくる時に願うことについて、次のような考えをあなたはどう思いますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q33S1	1.	大きな病気や障がいはなく生まれてほしいが、そうでなくても幸せになれる
Q33S2	2.	大きな病気や障がいがあっても、今は医療技術が発達しているので、あまり気にならない
Q33S3	3.	大きな病気や障がいが見つからなくても、その後、検査ではわからない病気やけがなどがあるかもしれないので、あまり気にならない
Q33S4	4.	誕生後に何があるかわからないので、せめて大きな病気や障がいがなく生まれてきて欲しい

選択肢リスト

- ○ 1. そう思う
- ○ 2. そう思わない
- ○ 3. わからない
- ○ 4. 答えたくない

C4 あなたご自身の出生前検査に対する考え方をおたずねします。

MAC

Q34

出生前検査を受けたい（受けさせたい）理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

☐	1.	妊娠期を安心して過ごせた（過ごせると思う）
☐	2.	胎児の病気に早く対応できた（対応できると思う）
☐	3.	命の大切さについてよく考えることができた（よく考えることができると思う）
☐	4.	夫婦や家族で、生まれてくる子どものことを話し合うことができた（できると思う）
☐	5.	医療者（医師・看護師・認定遺伝カウンセラー）の説明や対応が良かった（医療者の対応に期待している）
☐	6.	その他（具体的に【FA】） *Q34_6FA*
☐	7.	いずれもあてはまらない（出生前検査を受けたくない）
☐	8.	わからない・答えたくない

MAC

Q35

出生前検査を受けたくない（受けさせたくない）理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

▲ 設問文を折りたたむ

☐	1.	結果を待つ間不安だった（不安だと思う）
☐	2.	費用がかかりすぎると思った（かかりすぎると思う）
☐	3.	検査を受けたことで、子どもに申し訳ない気持ちになった（申し訳ない気持ちになりそう）
☐	4.	医療者（医師・看護師・認定遺伝カウンセラー）の説明や態度に不満があった（医療者の対応や態度を不満に感じると思う）
☐	5.	検査を受けたことによって倫理的な葛藤が生じた（倫理的な葛藤が生じると思う）
☐	6.	検査の結果がパーセンテージで示された場合に、判断に迷った（判断に迷いそう）
☐	7.	その他（具体的に【FA】） *Q35_7FA*
☐	8.	いずれもあてはまらない（出生前検査を受けたい）
☐	9.	わからない・答えたくない

C5 【不妊治療のご経験がある方におたずねします】

SAR

Q36

現在の妊娠は計画していたものですか。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	計画的妊娠	
○	2.	妊娠を望む気持ちはあったが計画的ではない	
○	3.	思いがけず妊娠した	
○	4.	答えたくない	
○	5.	その他【FA】	Q36_5FA

FAS

Q37

現在の配偶者/パートナーと結婚されたのは何歳ですか。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q37S1【N】	Q37S1N

SAR

Q38

現在の配偶者/パートナーと子どもが欲しいと思いましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	はい
○	2.	いいえ

FAS

Q39

現在の配偶者/パートナーと子どもが欲しいと思ったのは何歳からですか。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q39S1【N】	Q39S1N

FAL

Q40

差し支えない範囲で、現在の配偶者/パートナーとの子どもを希望しない理由をお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q40FA

SAR **Q41**

不妊治療を行った合計年数を教えてください。（治療休止期間は含みません）

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	6ヶ月未満
○	2.	6ヶ月～1年未満
○	3.	1年～1年6ヶ月未満
○	4.	1年6ヶ月～2年未満
○	5.	2年～2年6ヶ月未満
○	6.	2年6ヶ月～3年未満
○	7.	3年～3年6ヶ月未満
○	8.	3年6ヶ月～4年未満
○	9.	4年～4年6ヶ月未満
○	10.	4年6ヶ月～5年未満
○	11.	5年～5年6ヶ月未満
○	12.	5年6ヶ月～6年未満
○	13.	6年～6年6ヶ月未満
○	14.	6年6ヶ月～7年未満
○	15.	7年～7年6ヶ月未満
○	16.	7年6ヶ月～8年未満
○	17.	8年～8年6ヶ月未満
○	18.	8年6ヶ月～9年未満
○	19.	9年～9年6ヶ月未満
○	20.	9年6ヶ月～10年未満
○	21.	10年以上

Ｃ６　体外受精･胚移植、顕微授精（以降、高度生殖補助医療（*Assisted Reproductive Technology：ART*）と表記します）の経験がある方にお尋ねします】

FAS **Q42**

初めて採卵をした年齢を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q42S1【N】	*Q42S1N*

SAR **Q43**

高度生殖補助医療（ART）を行った合計年数を教えてください。（治療休止期

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	6ヶ月未満
○	2.	6ヶ月～1年未満
○	3.	1年～1年6ヶ月未満
○	4.	1年6ヶ月～2年未満
○	5.	2年～2年6ヶ月未満
○	6.	2年6ヶ月～3年未満
○	7.	3年～3年6ヶ月未満
○	8.	3年6ヶ月～4年未満
○	9.	4年～4年6ヶ月未満
○	10.	4年6ヶ月～5年未満
○	11.	5年～5年6ヶ月未満
○	12.	5年6ヶ月～6年未満
○	13.	6年～6年6ヶ月未満
○	14.	6年6ヶ月～7年未満
○	15.	7年～7年6ヶ月未満
○	16.	7年6ヶ月～8年未満
○	17.	8年～8年6ヶ月未満
○	18.	8年6ヶ月～9年未満
○	19.	9年～9年6ヶ月未満
○	20.	9年6ヶ月～10年未満
○	21.	10年以上

MTS **Q44**

これまでに実施した高度生殖補助医療（ART）の周期を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q44S1	1.	採卵周期
Q44S2	2.	胚移植周期

選択肢リスト

○	1.	周期	*Q44S1_1N*
○	2.	答えたくない／覚えていない	

SAR **Q45**

高度生殖補助医療（ART）に通った施設数を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	一施設のみ	
○	2.	複数の施設に通った→【N】施設	Q45_2N

SAR **Q46**

高度生殖補助医療（ART）に費やした合計金額を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	50万円未満
○	2.	50万円以上100万円未満
○	3.	100万円以上200万円未満
○	4.	200万円以上300万円未満
○	5.	300万円以上400万円未満
○	6.	400万円以上500万円未満
○	7.	500万円以上
○	8.	答えたくない

MTS **Q47**

高度生殖補助医療（ART）によってお子さんを授かりましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q47S1	1.	直近の不妊治療
Q47S2	2.	直近から2番目の不妊治療
Q47S3	3.	直近から3番目の不妊治療

選択肢リスト

○	1.	いいえ
○	2.	授かったが流産した
○	3.	子宮外妊娠（異所性妊娠）となった
○	4.	生殖補助医療（ART）によるものか、自然妊娠なのかわからない
○	5.	はい
○	6.	答えたくない／このときは高度生殖補助医療（ART）をしていない

C7 【ここからは、直近に受けた高度生殖補助医療（ART）についておたずねします】
<<なお、着床前診断検査とは、「着床前遺伝学的検査（PGT）」と呼ばれ、受精卵（胚）を子宮に移植する前に、その遺伝子や染色体を調べる医療技術です。>>

SAR **Q48**

高度生殖補助医療（ART）で、着床前診断検査を行いましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	行わなかった	→Q50へ？
○	2.	受精卵の着床前検査をしたかどうかわからない	→Q50へ？
○	3.	受精卵の着床前検査をしたが、何を調べたかわからない	→Q49へ？
○	4.	着床前検査を行った	→Q49へ？
○	5.	答えたくない	→Q50へ？

FAL **Q49**

着床前診断検査の結果はなんと言われましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

Q49FA

MAC **Q50**

高度生殖補助医療（ART）を選択した不妊の原因は何ですか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐ 1.	原因は調べていない	
☐ 2.	原因は調べたが原因不明	
☐ 3.	男性因子	
☐ 4.	女性因子（子宮、卵管、排卵、ホルモンなど）	
☐ 5.	年齢が高いためといわれた	
☐ 6.	その他【具体的に【FA】】	Q50_6FA
☐ 7.	答えたくない	

MAC **Q51**

高度生殖補助医療（ART）を受けた理由・経緯は何ですか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐ 1.	早く子どもが欲しかったから	
☐ 2.	35歳以上であったから	
☐ 3.	医療者に勧められたから	
☐ 4.	親・きょうだい・友人に勧められたから	
☐ 5.	自身に子どもができるか不安が強かったから	
☐ 6.	ART以外の不妊治療で子どもができなかったから	
☐ 7.	その他（具体的に【FA】）	Q51_7FA

SAR **Q52**

高度生殖補助医療（ART）を受けるのかどうか、どのぐらい迷いましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

○ 1.	迷った	→Q53へ
○ 2.	やや迷った	→Q53へ
○ 3.	あまり迷わなかった	→Q54へ
○ 4.	迷わなかった	→Q54へ

MAC **Q53**

【Q52で「1」か「2」を選んだ方が回答】
なぜ高度生殖補助医療（ART）を受けるのかどうかを迷われたか、理由をお答えください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐ 1.	お金が高いから	
☐ 2.	必要な治療か疑問だったから	
☐ 3.	ここまで治療しても子どもができないのではないかと心配だったから	
☐ 4.	自然でない、と思ったため	
☐ 5.	副作用など自分の身体へ影響がないか不安だったから	
☐ 6.	赤ちゃん（胎児）の身体への影響がないか不安だったから	
☐ 7.	病院受診によって自分がコロナ感染しないか不安だったから	
☐ 8.	コロナ感染すると赤ちゃん（胎児）に良くない影響があるのではないかと不安だった	
☐ 9.	その他【具体的に【FA】】	Q53_9FA
☐ 10.	答えたくない	

MTS **Q54**

不妊治療をめぐるご夫婦での相談の様子についてお尋ねします。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q54S1	1.	夫婦で話し合った
Q54S2	2.	配偶者/パートナーの希望や考えについてわかっていた
Q54S3	3.	自分の考えを率直に配偶者/パートナーに伝えた
Q54S4	4.	治療を受ける／受けないの決定について、自分の意見が通った
Q54S5	5.	夫婦で同じ意見になった

選択肢リスト

○ 1.	当てはまる
○ 2.	やや当てはまる
○ 3.	どちらともいえない
○ 4.	あまり当てはまらない
○ 5.	当てはまらない

FAL **Q55**

差し支えなければ、不妊治療について配偶者/パートナーと相談した具体的な内容

▲ 設問文を折りたたむ

Q55FA

FAL **Q56**

不妊治療のご経験についてご自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q56FA

MAC **Q57**

【NIPTを受けたことがある方にお尋ねします。】
NIPTを受けた病院は、認定機関でしたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 認定機関
- ☐ 2. 非認定機関
- ☐ 3. どちらかわからない
- ☐ 4. 答えたくない

SAR **Q58**

【ここからは、直近に受けたNIPTについてお尋ねします。】
直近でNIPTを受けたのはいつですか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 35歳以上
- ○ 2. 35歳未満
- ○ 3. 覚えていない・答えたくない

FAS **Q59**

差し支えなければ、直近でNIPTを受けた具体的な年齢を教えて下さい。
※答えたくない方は「0」と入力ください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. Q59S1【N】 Q59S1N

FAL **Q60**

NIPTを受けた理由を教えて下さい。
※複数回受けている方は、直近のことについてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q60FA

SAR **Q61**

NIPTを受けた機関で検査についての説明（遺伝カウンセリングを含む）を受けましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 説明を受けた →Q62へ
- ○ 2. 説明を受けなかった →Q67へ
- ○ 3. 覚えていない・わからない →Q67へ

MAC **Q62**

【Q61で「1」を選んだ方が回答】
誰から検査についての説明を受けましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師
- ☐ 2. 看護師
- ☐ 3. カウンセラー（遺伝カウンセラー・その他のカウンセラーを含む）
- ☐ 4. その他【誰か具体的に】【FA】 Q62_4FA
- ☐ 5. どんな職業・資格の人かわからない
- ☐ 6. 覚えていない

MAC

Q63

検査前の説明はどのように行われましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 直接の対面だった
- ☐ 2. オンラインの対面だった
- ☐ 3. 動画や資料の提供があった
- ☐ 4. その他【具体的に】【FA】 Q63_4FA
- ☐ 5. 覚えていない・わからない

SAR

Q64

検査前の説明は個別でしたか、それともグループでしたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 個別
- ○ 2. 比較的小規模なグループ
- ○ 3. 比較的規模の大きな説明会形式
- ○ 4. その他【具体的に】【FA】 Q64_4FA
- ○ 5. 覚えていない・わからない

MAC

Q65

誰と一緒に説明を受けましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 自分だけ
- ☐ 2. 配偶者/パートナー
- ☐ 3. 自分の親
- ☐ 4. 配偶者/パートナーの親
- ☐ 5. その他【具体的に】【FA】 Q65_5FA
- ☐ 6. 覚えていない・わからない・答えたくない

FAL

Q66

NIPTの検査前の説明について（説明がなかったことも含む）に対する感想をご自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q66FA

SAR

Q67

NIPTの結果を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 陰性だった
- ○ 2. 陽性だった
- ○ 3. 判定不能だった
- ○ 4. その他【具体的に】（1度の妊娠で2回以上受けた方はここにご記入下さい）【FA】 Q67_4FA
- ○ 5. 教えてもらってない・聞きにいかなかったのでわからない
- ○ 6. 覚えていない・答えたくない

SAR

Q68

NIPTの結果をどのように知らされましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 直接の対面で
- ○ 2. オンラインの対面で
- ○ 3. 電話で
- ○ 4. 郵送もしくは（メールなどの）オンラインで通知が来て
- ○ 5. その他【具体的に】【FA】 Q68_5FA
- ○ 6. 覚えていない・答えたくない

MAC **Q69**

誰がNIPTの結果を知らせてくれましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師
- ☐ 2. 看護師
- ☐ 3. カウンセラー（遺伝カウンセラー・その他のカウンセラーを含む）
- ☐ 4. その他【誰か具体的に】【FA】 Q69_4FA
- ☐ 5. どんな職業・資格の人かわからない
- ☐ 6. 覚えていない

SAR **Q70**

NIPTの結果についての説明はありましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. はい：陰性か陽性かに加えて詳しい説明があった
- ○ 2. はい：陰性か陽性かのみの説明があった
- ○ 3. いいえ
- ○ 4. その他【具体的に】【FA】 Q70_4FA
- ○ 5. 覚えていない・わからない

SAR **Q71**

NIPTの結果を聞いて、どうされましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. NIPTを受けた病院で羊水検査を受けた
- ○ 2. NIPTを受けた病院から紹介された別の病院で羊水検査を受けた
- ○ 3. 自分で探した別の病院で羊水検査を受けた
- ○ 4. NIPTを受けた病院で再度NIPTを受けた
- ○ 5. 違う病院で再度NIPTを受けた
- ○ 6. NIPTを受けた病院で羊水検査・NIPT以外の検査を受けた→受けた検査【具体的に】【FA】 Q71_6FA
- ○ 7. 別の病院で羊水検査・NIPT以外の検査を受けた→受けた検査【具体的に】【FA】 Q71_7FA
- ○ 8. その他の出生前検査（羊水検査など）は受けずに妊娠を継続した
- ○ 9. その他【具体的に】【FA】 Q71_9FA
- ○ 10. 覚えていない・答えたくない

FAL **Q72**

NIPTについて感じていることを自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q72FA

C８ 【羊水検査を受けたことがある方にお尋ねします。】
※複数回受けたことがある方は直近のことについてお答えください。

SAR **Q73**

直近で羊水検査を受けたのはいつですか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 35歳以上
- ○ 2. 35歳未満
- ○ 3. 覚えていない・答えたくない

FAS **Q74**

差し支えなければ、直近で羊水検査を受けた具体的な年齢を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

1. Q74S1【N】 Q74S1N

MAC

Q75

羊水検査はどういう経緯で受けましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐	1.	妊婦健診で胎児の疾患の疑いを指摘されて	
☐	2.	母体血清マーカー検査の結果から	
☐	3.	NIPTの結果から	
☐	4.	NTを指摘されて	
☐	5.	医師から年齢によるリスクを説明されて	
☐	6.	自分から年齢によるリスクを尋ねて	
☐	7.	その他【具体的に】【FA】	Q75_7FA
☐	8.	わからない・覚えていない	

MAC

Q76

羊水検査を受ける前に、個人的に誰かに相談しましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐	1.	誰にも相談しなかった	
☐	2.	配偶者/パートナー	
☐	3.	自分の親	
☐	4.	配偶者/パートナーの親	
☐	5.	それ以外の親族【誰か具体的に】【FA】	Q76_5FA
☐	6.	友人・知人	
☐	7.	ネット上で尋ねた	
☐	8.	その他【誰か具体的に】【FA】	Q76_8FA

MAC

Q77

羊水検査を受ける前に検査についての説明を受けたのは誰からですか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐	1.	説明は受けていないと思う		→Q81へ
☐	2.	医師		→Q78へ
☐	3.	看護師		→Q78へ
☐	4.	カウンセラー（遺伝カウンセラー・その他のカウンセラーを含む）		→Q78へ
☐	5.	その他【誰か具体的に】【FA】	Q77_5FA	→Q78へ
☐	6.	どんな職業・資格の人かわからない		→Q78へ
☐	7.	覚えていない		→Q81へ

FAL

Q78

差し支えなければ、羊水検査を受ける前に検査についての説明がどういった内容だったか教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

Q78FA

MAC

Q79

検査前の説明はどのように行われましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

☐	1.	直接の対面だった	
☐	2.	オンラインの対面だった	
☐	3.	動画や資料の提供があった	
☐	4.	その他【具体的に】【FA】	Q79_4FA
☐	5.	覚えていない・わからない	

FAL

Q80

羊水検査を受けた時の状況や説明の内容など、検査の時に感じたことをお聞かせください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q80FA

SAR **Q81** 羊水検査の結果はいかがでしたか。 ▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	特に異常はなかった	
○	2.	疾患の疑いを指摘された	
○	3.	判定不能だった	
○	4.	その他【具体的に】【FA】	Q81_4FA
○	5.	覚えていない・答えたくない	

SAR **Q82** 羊水検査の結果をどのように知らされましたか。 ▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	直接の対面で	
○	2.	オンラインの対面で	
○	3.	電話で	
○	4.	郵送もしくは（メールなどの）オンラインで通知が来て	
○	5.	その他【具体的に】【FA】	Q82_5FA
○	6.	覚えていない・答えたくない	

SAR **Q83** 羊水検査の結果についての説明はありましたか。 ▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	検査結果に加えて今後について尋ねられた	
○	2.	結果についてのみ簡単な説明があった	
○	3.	いいえ	
○	4.	その他【具体的に】【FA】	Q83_4FA
○	5.	覚えていない・わからない	

MAC **Q84** 羊水検査の結果を誰に伝えましたか。（いくつでも） ▲ 設問文を折りたたむ

□	1.	誰にも伝えなかった	
□	2.	配偶者/パートナー	
□	3.	自分の親	
□	4.	配偶者/パートナーの親	
□	5.	それ以外の親族【誰か具体的に】【FA】	Q84_5FA
□	6.	友人・知人	
□	7.	SNSに書き込んだ	
□	8.	その他【誰か具体的に】【FA】	Q84_8FA

FAL **Q85** 羊水検査について感じていることを自由にお書きください。 ▲ 設問文を折りたたむ

Q85FA

SAR **Q86** 【NT検査についてお尋ねします】
NT検査を受けたことはありますか。 ▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	受けた⇒【N】歳	Q86_1N	→Q87へ
○	2.	受けたが、いつ受けたのか覚えていない		→Q87へ
○	3.	NT検査を受けたことはない		→Q93へ

SAR **Q87**

【ここからは、直近に受けたNT検査についてお尋ねします】

NT検査を受けた経緯を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 特に説明はなく、超音波検査を受けている間にNTを測定していた
- ○ 2. 検査をする前に医師から勧められた
- ○ 3. 検査をする前に医師から説明があって受けるかどうかを尋ねられたので希望した
- ○ 4. 自分からこの検査について相談・希望して
- ○ 5. その他【具体的に【FA】】 Q87_5FA
- ○ 6. 覚えていない・わからない

FAL **Q88**

NT検査について自分から相談・希望した理由をお聞かせください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q88FA

MAC **Q89**

NT検査を受けたことやその結果を誰かに伝えましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- □ 1. 誰にも伝えなかった
- □ 2. 配偶者/パートナー
- □ 3. 自分の親
- □ 4. 配偶者/パートナーの親
- □ 5. それ以外の親族【誰か具体的に】【FA】 Q89_5FA
- □ 6. 友人・知人
- □ 7. SNSに書き込んだ
- □ 8. その他【誰か具体的に】【FA】 Q89_8FA

SAR **Q90**

NT検査の結果を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 問題ないといわれた →Q92へ
- ○ 2. やや肥厚（厚みが大きい）があるが心配ないといわれた →Q92へ
- ○ 3. 肥厚（厚みが大きい）があるので別の検査を受けた方が良いといわれた →Q91へ
- ○ 4. 判定不能だった →Q92へ
- ○ 5. その他【具体的に】（1度の妊娠で2回以上受けた方もここにご記入下さい）【FA】 Q90_5FA →Q92へ
- ○ 6. 教えてもらってない・わからない →Q92へ
- ○ 7. 覚えていない・答えたくない →Q92へ

SAR **Q91**

【Q90で「3」を選んだ方が回答】

前問で「肥厚（厚みが大きい）があるので別の検査を受けた方が良いといわれた」と
お答えになりましたが、その後どんな検査を受けましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 別の検査は受けなかった
- ○ 2. 別の検査を受けた【具体的に】【FA】 Q91_2FA
- ○ 3. その他【具体的に】【FA】 Q91_3FA
- ○ 4. 覚えていない・答えたくない

FAL **Q92**

NT検査を受けた感想やご意見を自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q92FA

MTS **Q93**

【母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）またはコンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）についてお尋ねします】

以下の検査を受けたことはありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q93S1	1.	母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）
Q93S2	2.	コンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）

選択肢リスト

○ 1.	受けた	Q93S1_1N	→Q94へ
○ 2.	受けたが、いつ受けたのか覚えていない		→Q94へ
○ 3.	この検査は受けていない		→Q100へ

MTS **Q94**

【ここからは、直近に受けた母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）またはコンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）についてお尋ねします】

以下の検査を受けた経緯を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q94S1	1.	母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）
Q94S2	2.	コンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）

選択肢リスト

○ 1.	医師・医療者から勧められて	
○ 2.	医師・医療者から説明があって受けるかどうかを尋ねられたので希望した	
○ 3.	自分から相談・希望して	
○ 4.	妊婦健診や他の検査で、胎児の疾患の可能性を指摘されて	
○ 5.	妊婦健診と同じように当たり前に受けた	
○ 6.	その他【具体的に】（医師以外の方から説明があった場合も）	Q94S1_6FA
○ 7.	覚えていない・わからない	

MTM **Q95**

以下の検査を受ける前に、検査についての説明を受けたのは誰からですか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q95S1	1.	母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）
Q95S2	2.	コンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）

選択肢リスト

□ 1.	説明は受けていないと思う	
□ 2.	医師	
□ 3.	看護師	
□ 4.	カウンセラー（遺伝カウンセラー・その他のカウンセラーを含む）	
□ 5.	その他【誰か具体的に】	Q95S1_5FA
□ 6.	どんな職業・資格の人かわからない	
□ 7.	覚えていない	

FAS **Q96**

差し支えなければ、以下の検査を受ける前にしてもらった説明の内容を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

1.	Q96S1【FA】	Q96S1FA
2.	Q96S2【FA】	Q96S2FA

MTS **Q97**

以下の検査の結果を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q97S1	1.	母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）
Q97S2	2.	コンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）

選択肢リスト

○	1.	特に異常はなかった（陰性、リスクは低いといわれたを含みます）	
○	2.	特に異常の可能性がある（陽性、リスクが高いといわれたを含みます）	
○	3.	疾患の疑いを指摘され、さらに別の検査を受けるよう勧められた／選択肢を提示された	
○	4.	その他【具体的に】	Q97S1_4FA
○	5.	覚えていない・わからない	

MTS **Q98**

その検査の結果がわかって、どのように対応しましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q98S1	1.	母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）
Q98S2	2.	コンバインド検査、OSCAR検査（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）

選択肢リスト

○	1.	そのまま妊娠を継続し、出産した	
○	2.	そのまま妊娠を継続したが、その後自然流産（子宮内胎児死亡）した	
○	3.	さらに別の検査を受けた	
○	4.	妊娠を継続しなかった（人工妊娠中絶を行った）	
○	5.	その他【具体的にどうしたか】	Q98S1_5FA
○	6.	覚えていない・答えたくない	

FAL **Q99**

母体血清マーカー検査（クアトロ／トリプルマーカー検査）またはコンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）を受けた感想、ご意見を自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q99FA

SAR **Q100**

【絨毛検査についてお尋ねします】
絨毛検査検査を受けたことはありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	受けた⇒【N】歳	Q100_1N	→Q101へ
○	2.	受けたが、いつ受けたのか覚えていない		→Q101へ
○	3.	絨毛検査を受けたことはない		→Q106へ

SAR **Q101**

【ここからは、直近に受けた絨毛検査についてお尋ねします】
絨毛検査を受けた経緯を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

○	1.	他の検査で、胎児の疾患の可能性を指摘されて	
○	2.	胎児の疾患について心配があったので自分から相談・希望して	
○	3.	その他【具体的に】（医師以外の方から説明があった場合も）【FA】	Q101_3FA
○	4.	覚えていない・わからない	

MAC **Q102**

絨毛検査を受けたことや結果を誰かに伝えましたか。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 誰にも伝えなかった
- ☐ 2. 配偶者/パートナー
- ☐ 3. 自分の親
- ☐ 4. 配偶者/パートナーの親
- ☐ 5. それ以外の親族【誰か】【FA】 Q102_5FA
- ☐ 6. 友人・知人
- ☐ 7. SNSに書き込んだ
- ☐ 8. その他【誰か具体的に】【FA】 Q102_8FA

SAR **Q103**

絨毛検査の結果を教えて下さい。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. 特に異常はなかった
- ○ 2. 胎児の疾患が見つかった
- ○ 3. その他【具体的に】【FA】 Q103_3FA
- ○ 4. 覚えていない・答えたくない

SAR **Q104**

絨毛検査の結果がわかって、どのように対応しましたか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ○ 1. そのまま妊娠を継続し、出産した
- ○ 2. そのまま妊娠を継続したが、その後自然流産（子宮内胎児死亡）した
- ○ 3. さらに別の検査を受けた
- ○ 4. 妊娠を継続しなかった（人工妊娠中絶を行った）
- ○ 5. その他【具体的にどうしたか】【FA】 Q104_5FA
- ○ 6. 覚えていない・答えたくない

FAL **Q105**

絨毛検査を受けた感想、ご意見を自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q105FA

MAC **Q106**

【何らかの出生前検査を受けた方にお尋ねします】
お答えいただいた出生前検査での結果以外に、妊娠中に胎児の疾患や障害が発見されたことはありますか。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. いずれもなかった
- ☐ 2. 現在の妊娠であった
- ☐ 3. 直近の妊娠であった
- ☐ 4. 2番目の妊娠であった
- ☐ 5. 3番目以降の妊娠であった

MTS **Q107**

出生前検査をめぐるご夫婦での相談の様子についてお尋ねします。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q107S1	1.	夫婦で話し合った
Q107S2	2.	配偶者/パートナーの希望や考えについてわかっていた
Q107S3	3.	自分の考えを率直に配偶者/パートナーに伝えた
Q107S4	4.	検査を受ける／受けないの決定について、自分の意見が通った
Q107S5	5.	夫婦で同じ意見になった

選択肢リスト

- ○ 1. 当てはまる
- ○ 2. やや当てはまる
- ○ 3. どちらともいえない
- ○ 4. あまり当てはまらない
- ○ 5. 当てはまらない

FAL

Q108

差し支えなければ、出生前検査について配偶者/パートナーと相談した具体的な内容や、相談についての感想を教えてください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q108FA

FAL

Q109

妊娠・出産にかかわる医療について感じていることをご自由にお書きください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q109FA

令和２年度 厚生労働科学研究費補助金
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）
「出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」
分担研究報告書
研究代表者：白土なほ子（昭和大学・医学部産婦人科学講座・講師）

研究課題：研究①「出生前検査に関する一般男女への意識調査」
インターネット調査「出生前検査に関するアンケート」より―

研究分担者：
田中　慶子 慶應義塾大学・経済学部・特任准教授
菅野　摂子 明治学院大学・社会学部・付属研究所研究員
柘植あづみ 明治学院大学社会学部・教授・学部長
関沢　明彦 昭和大学医学部産婦人科・教授
佐村　　修 東京慈恵会医科大学・教授
山田　崇弘 京都大学・医学部附属病院・特定准教授
清野　仁美 兵庫医科大学・精神科神経科学講座・講師
宮上　景子　昭和大学医学部産婦人科学講座
和泉美希子　昭和大学病院臨床遺伝医療センター
廣瀬　達子　昭和大学病院臨床遺伝医療センター
池本　　舞　昭和大学医学部産婦人科学講座

奥山　虎之 国立成育医療研究センター・総括部長
左合　治彦 国立成育医療研究センター・副院長
澤井　英明 兵庫医科大学・産婦人科・教授
吉橋　博史 東京都立小児総合医療センター・臨床遺伝科・部長
鈴森　伸宏 名古屋市立大学・大学院医学研究科　病院教授
山田　重人 京都大学大学院・医学研究科・教授
坂本　美和　昭和大学医学部産婦人科学講座・講師
水谷あかね　昭和大学医学部産婦人科学講座

【研究要旨】出生前遺伝学的検査について社会的に理解される検査体制と充実した妊婦の支援体制を構築することを目的に研究を行うため、分担研究において(1)研究①一般男女を対象に、社会経済的、心理的側面を含めて出生前検査に関する 60 問の Web 調査を実施した。データクリーニング後、有効回収数は 3,224 人(男性 1090 人、女性 2134 人)であった。質問「出生前検査に対する気持ち」では、検査を受けることの不安や安心といった感情面、妊娠継続/中断に関する決断、費用面などの回答比率は女性の方が高かった。「出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良いか」との質問では、男性では［全員実施］が 33.1%、女性では［希望者］が 47.1%と最も多くなっていた。［行わない方が良い］と明確に答えた男性が 3.8％、女性が 2.2％であった。「もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しますか」との質問には、全体的な傾向として、男性の方が、いずれの状況においても「継続する」という意見が女性よりも多く、女性は「継続しない」という回答の方が多かった。今後は重要質問項目のクロススタディーに加え、令和３年に行う研究②出生前検査に関する妊婦・夫への意識等実態調査も含め、解析を行う。

A. 研究目的

出生前検査、とくにNIPT（メディアでは新型出生前検査・診断）は日本産科婦人科学会が、医学的な議論に加えて、社会的・倫理的な課題をも議論した上で策定した指針に基づき、日本医学会による認定を経た施設において、2013 年から開始されてきた。ところが、2015－16 年ごろから、日本医学会の認定を受けていない施設（以下、認定外施設）がNIPT を実施しはじめた。2020 年の段階では認定外施設の施設数と検査実施件数が認定施設を凌ぐ勢いであること、検査前の遺伝カウンセリングが適切になされていない認定外施設が少なくないことなどが報道されて、社会的関心が高まっている。こうした社会の動きは、妊娠・出産期の女性およびそのパートナーの出生前検査の意識 に影響を与えると思われる。

そこで本調査の目的は、「一般」の人々がNIPT を含む出生前検査についていかなる知識や情報を得ているか、それについてどのような意識を抱いているか、さらには、出生前検査の経験や受検希望を把握し、受検するかしないかの意思決定要因を医学的適応の他に、心理的、社会経済的に広く探ることである。加えて、医学的、心理的、社会的な要因が複雑に絡み合い、医学的な知識と経験に関わる主題において、「一般」の人々の意識をインターネットによるモニターへの回答依頼によって把握しようとする調査手法に対する検討・考察を行うことも、目的に含めている。

B. 研究方法

本調査では、インターネット調査会社（株式会社マクロミル）のボランティア型パネルを用いて、web 調査を行った（以下、この調査方法を「インターネット調査」と表記する）。

インターネット調査は、費用が安く、かなり短期間で実査が終了できるので調査者にとっても非常に利便性が高く、近年では学術調査にも活用される機会が増えてきた。しかし、本調査の回答者は、①あらかじめ調査会社等の募集に応じてモニター登録を行い、②（調査会社の設定する一定の条件の下）「アクティブ」と認定された回答者であり、③本調査実施時に、メールでの調査依頼に対して早期に調査回答画面にアクセスし、④調査参加に同意し、⑤回答画面の最後まで回答を完了し、⑥調査会社に「速度違反」（調査開始から異常に早く回答を終えている）者ではないと認定された、といういくつもの条件を満たした者である。すなわち非確率標本であり、上記のプロセスの過程で偏り（セレクションバイアス）をもつ標本となっている（なお、各プロセスでの依頼数や脱落率等の情報は調査会社から得ることができなかった）。

しかし、本調査は出生前検査等の医療の受診経験（準個人情報）を尋ねる質問を含み、妊娠・出産等の「いのち」に関わる非常にセンシティブな内容を扱っている。また広く一般市民の考えを計量的に把握することを目的としているため、日本全国の大規模な人数の意見を集められ、かつ対象者設定の自由度が高いこと、センシティブな内容について（同意を得て）聴取しやすいこと、また条件別の複雑な質問を行いやすいこと、長文の自由記述回答を（手書きに比べ）得やすいといったインターネット調査の特性を効果的に活用することができる（日本学術会議 2020）。そしてコロナ禍で対面での調査や郵送調査は推奨されない状況だったことからも、インターネット調査を採用した。

尚、この調査は昭和大学医学研究科、昭和大学おける人を対象とする研究等に関する倫理委員会の承認を経て行った（審査結果通知番号 3279；審査終了日 2020 年 10 月 12 日）。

調査設計および回収状況

回収目標は 3,000 人である。できるだけ、日本全体の人口構成を反映できるよう、そして出生前検査の当事者となる妊婦の多い世代の女性の意見を広く・厚く尋ねられるように、以下のような割当を作成してサンプリングを行った。

① 全国の 20～59 歳の一般男女　各 1,000 人（計 2,000 人）
② 全国の 25～44 歳女性［以下、この年齢範囲を「妊婦の多い世代」と表記する］　1,000 人

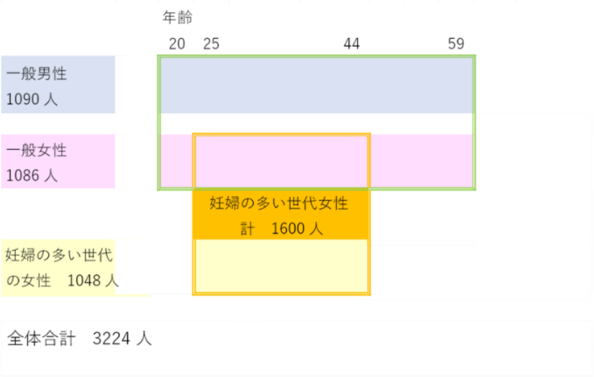


図 1　本調査のサンプル構成

2015 年の「国勢調査」に基づき、居住地域（8 ブロック）・配偶（2 区分、有配偶/無配偶）によって割当を作成した。②については、妊婦の多い世代女性のオーバーサンプリングとなっている。

実査は、2020 年 12 月 11 日（金）～14 日（月）に実施された。割当によって回収完了までに時間差はあったものの、問題なく回収を終えている。

目標 3,000 人に対して、回答完了数は 3,254 人であった。以下で説明するデータクリーニングの過程を経て、有効回収数は 3,224 人である。

サンプリングの構成ならびに有効回収数は以下に示す通りである。回収目標に対して回収はおよそ 5%多めに回収され、調査会社の基礎的な確認を経て 3%ほど多めに納品されているため、目標数より多い有効回収数となっている。本報告書では、20~59 歳までの一般男女 2,176 人（男性 1,090 人、女性 1,086 人）のデータを用いる。一般女性の中に妊婦の多い世代に該当する女性が 552 人含まれている。この 552 人については、妊婦の多い世代女性として抽出・回収し有効回答となった 1048 人と合わせて「妊婦の多い世代の女性」データとしても用いることにする。※妊婦の多い世代女性 1,600 人の分析については、稿を改める。

データクリーニングおよび本調査の特徴

インターネット調査を学術研究のデータに用いることについて、質問紙調査等と異なり、インターネット画面での回答は回答の質が異なるなど（本多　2006）、従来の調査方法を代替するかについては懐疑的な指摘があるものの、インターネット調査の効用についても検討が重ねられている（萩原　2009；出口　2008 など）。

まず、前述のように調査回答者の偏り（カヴァレッジ誤差）が懸念される。これまでインターネットモニターは、代表的な統計や他の調査方法の回答者と比べ、「家事などのかたわら仕事」がやや多く、失業者が少ない、専門・技術職が多く、技能・労務が少ない、大卒以上が多い、意識・価値観が異なる傾向がある（本多　2006）という指摘や、平均年収が高い、高学歴（大卒）が多い、女性の有配偶率が低い、専門・技術職が多い、女性に一戸建て居住者が多い（萩原　2009）、20～30 代女性の割合が多い、「一都三県」の割合が多い（出口　2009）という指摘がある。利用する調査会社や時点による違いはあるものの、女性のサンプルに偏りが発生しやすいこと、高学歴で専門・技術職が多いという傾向がある。

本調査でも回答者のバイアスを確認するため、本調査の回答者と（学歴が捕捉できる）2010 年国勢調査を比較した（図 2）。国勢調査の実施から約 10 年を経ており、コーホートによる高学歴化の影響を考慮する必要があるが、当該年齢で単純に比較すると男女ともに国勢調査とくらべ大学・大学院卒が多く、義務教育、高卒が少ない。コーホートの高学歴化を加味しても、本調査の標本は高学歴者に偏っていることに留意が必要である。

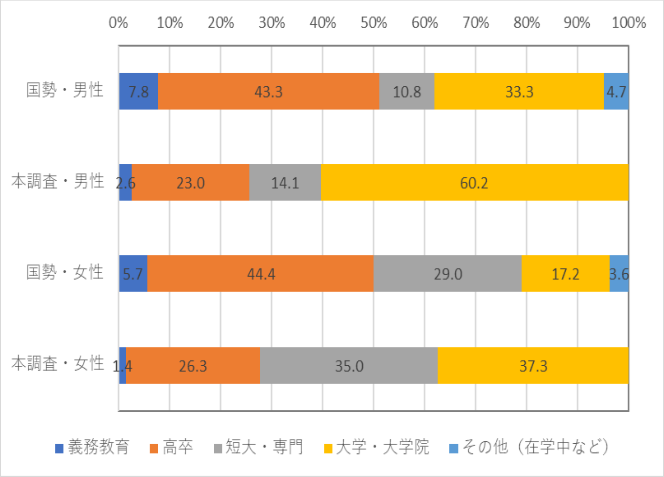


図２　2010 年国勢調査と本調査の回答者の学歴（20～59 才）

調査会社ではいわゆる「速度違反」や、自由記述欄の内容が不当なものであるといった基準で一部の回答者を無効としている。今回納品されたデータの中にも、自由記述に「あいうえおかきくけこ…」といった意味をなさない回答や、モニター情報としてあらかじめ把握された個人属性の情報と、本調査での回答が矛盾していた点があった。インターネット調査では回答者が設問や問題文、選択肢をきちんと読まない傾向があり（三浦・小林 2015）、短時間で回答しようとするため、またいったん回答すると（誤答に気づいても）元に戻れない仕組みになっているため、調査回答内で論理的なエラーが発生する可能性も高い。

このような点を確認するため、分析に先立ち、データの精査（データクリーニング）を入念に行った。まず全体の調査項目を確認し、無効票とすべき条件を以下の３つとした。

①性別データの矛盾である。これは調査会社からの属性情報と本人が回答した性別が不一致だった者で該当者 10 人いた。なお本調査の性別を尋ねる選択肢では性的違和に対する配慮は行われているため、属性情報とは異なる人物が回答していると判断できるケースである。

②［女性のみ］妊娠経験の情報が完全に欠如している者である。これまでの妊娠経験がわかる質問についてすべて「わからない」もしくは「無回答」となっている人で該当者は 13 人であった。

③マトリックスの意識質問のうち、Q21 社会に対する信頼（7 項目）と Q22 家族観（5 項目）について、すべて「わからない」と回答している者で該当者は７人であった。全員が回答できるこの２問の意識質問で、「わからない」と回答していることを拒否の代理指標としている。なお、これらの該当者は他の質問でも「わからない」や無回答が多かった。この合計 30 人は、無効票と判定した。

次に重要項目の内容精査を行った。本調査では、個人の属性項目として妊娠や出産経験に関する質問は重要となる。しかし、これらの内容は「要配慮個人情報」に該当すると考えられ、回答必須とすることはできない（あるいは「わからない」「答えたくない」という選択肢を用意する必要がある）。そのため、男性が配偶者の妊娠回数を「わからない」や無回答、また、女性自身も妊娠経験が「わからない」という回答が一定数、出現している。これは単純に回答しなかった人だが、他方で回答者が非常に「正直に」答えようとした結果であると解釈できる部分もある。すなわち、男性であれば自分が知らない妊娠回もあるかもしれない留保としての「わからない」であり、女性自身も流産が多いなど、これまでの回数を精確に数えられないという意図での「わからない」である。妊娠経験があるか確定できないこのような回答者に対して、実子がいるか、出生前検査を受検しているかなどの周辺情報や自由回答なども検討して、回答全体から妊娠の経験があるかを総合的に再判定したりするなど、回答内容の整合性を確保するようにした。

また、出生前検査の名称に対して、質問文に簡単な説明を付記しているが（詳しくは資料１を参照されたい）、内容を正しく理解していないと思われる回答が散見される。たとえば NIPT を受検した時期に関する質問で、その回答が国内外で臨床応用が開始された時期よりもかなり前で別の検査と勘

違いしていると思われる場合や、「ＮＴ」を単純エコー検査や、「ＮＳＴ（ノンストレス検査)」と誤解していると思われるようなケースである。これらも出来るだけ回答全体を総合的に理解して修正を行った。

ただし、マトリックス形式の質問については、黙従化回答（例えば、全部「1」に○がついているといったように、どの質問でも全部同じ回答になっていること）であるかを確認したが、倫理的な質問などではすべて「どちらでもない」という回答もありうるため、それらの可能性を完全に除去することは困難である。例えば、抑うつ傾向を把握するメンタル項目（K6）では、逆転項目がないため 6 つの質問に対して「ほぼ毎日」と答えたとしてもそれが黙従回答なのか、実際の心身の状態なのか判定できない。特定の選択肢に回答が集まり、合計スコアが「国民生活基礎調査」の全体平均と比較しても、明らかに高いという偏りが残されたままである。そして知識質問についても内容や情報を正確に理解しているから正解できたのか、ランダムに回答して、たまたま正解となっているのかは判定できないため、このような回答を残したままのデータとなっていることには留意する必要がある。

C.　研究結果　　D.　考察

以下では、主な結果 5 点を取り上げる。調査項目全体の集計については、資料 2 にまとめているので参照されたい。なお Q5 などは、インターネット調査画面内での質問番号である。

1）　Q27　出生前検査に対する気持ち

「出生前検査についてあなたの気持ちに近いものを選んでください。(あてはまるものすべて)」として 9 つの設問を用意した。複数回答のため該当すると回答した人の比率をみると、全体では、「①胎児について多くのことを知るのは良いことである」、「②胎児が病気だったら、早く準備ができる」といった肯定的な考え方に同意する人が多いものの、女性では「③胎児の病気を妊娠中に知っても、治せる病気でなければ不安になる」や「⑨通常の妊婦健診に加えて別途費用がかかることが負担に感じる」といった意見も一定数いた(図 3)。

また全体的に男性にくらべ女性の方がより多くの設問に○をつける人が多い傾向がみられ、検査を受けることの不安や安心といった感情面、妊娠継続/中断に関する決断、費用面などは該当するという回答の比率に男女差がある。

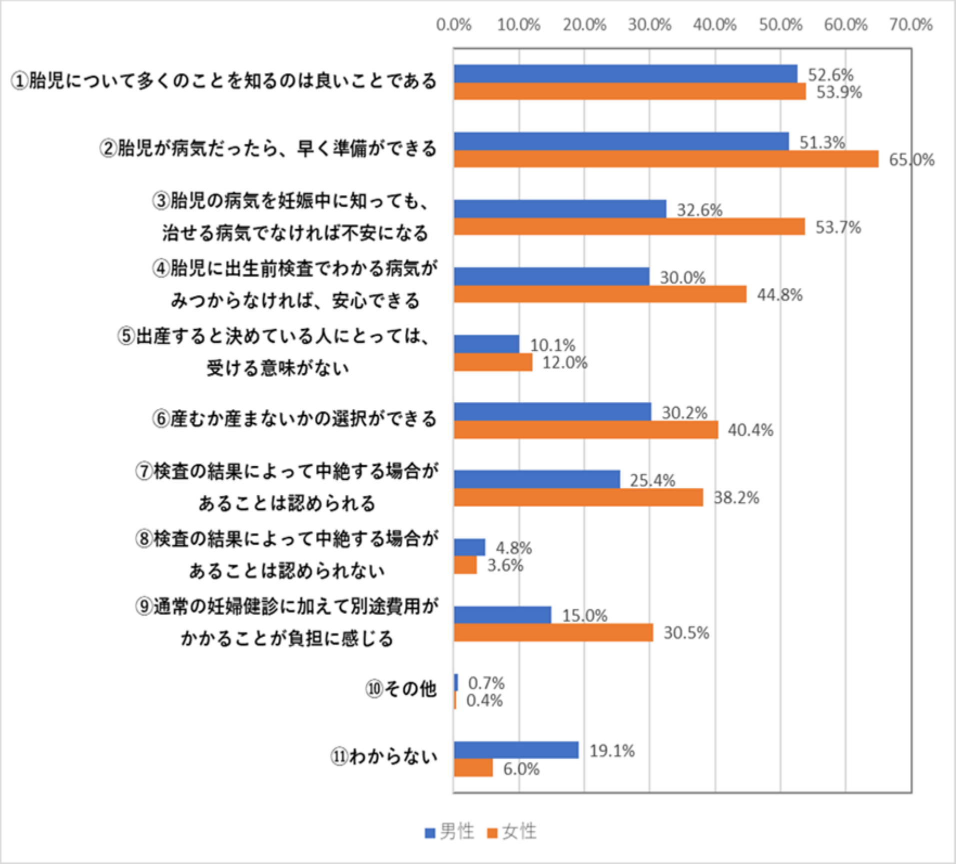


図３　出生前検査に対する気持ち

図 4 には、「③胎児の病気を妊娠中に知っても、治せる病気でなければ不安になる」と「④胎児に出生前検査でわかる病気がみつからなければ、安心できる」という 2 つの対称的な設問に対する回答を男女別にみた結果を示した。男女とも、③と④のいずれにも○がつかない人が最も多いが、男性の方がどちらも選択していない人の割合は大きい 。一方、両方に○がついている人は 、男性は 19.4%に対し、女性は 31.3%と多く、男性にくらべ当事者性の高い女性の方が、検査を受けることに対して相反する勘定をもっていることが推察できる 。

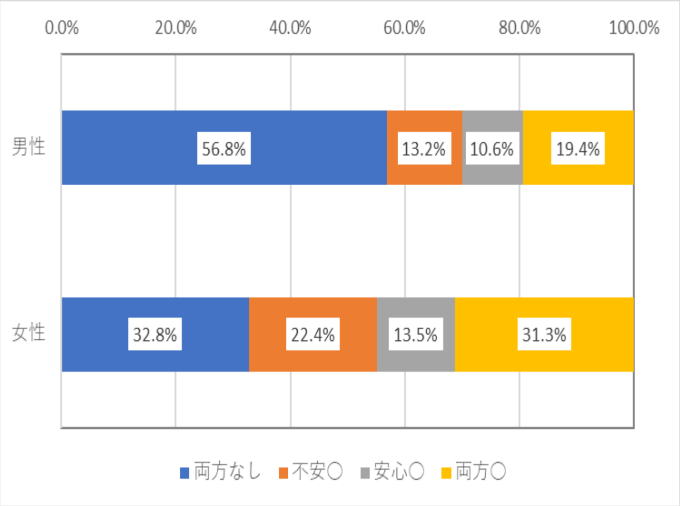


図４　男女別　出生前検査の受検　不安か・安心か　回答の組み合わせ

2)Q31　出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良い検査だと思いますか。

上記の質問に対し、以下の 6 つの選択肢を用意した。①行った方が良いと思う［以下、全員実施と表記］②行わない方が良いと思う、③年齢や医学的理由等の条件を設けて、条件にあう人にだけ行ったほうが良いと思う［以下、条件付きと表記］、④年齢や医学的理由等にかかわらず、希望する人は誰でも行えるようにした方が良いと思う［以下、希望者と表記］、⑤わからない、⑥その他。

男性では［全員実施］が 33.1%、女性では［希望者］が 47.1%と最も多くなっている。「行わない方が良い」と明確に答えた人が男性で 3.8%、女性で 2.2%いること、また男性で 17.3%、女性で 19.9%と男女とも 2 割弱が[条件付き]と回答していることにも注目したい（図 5)。

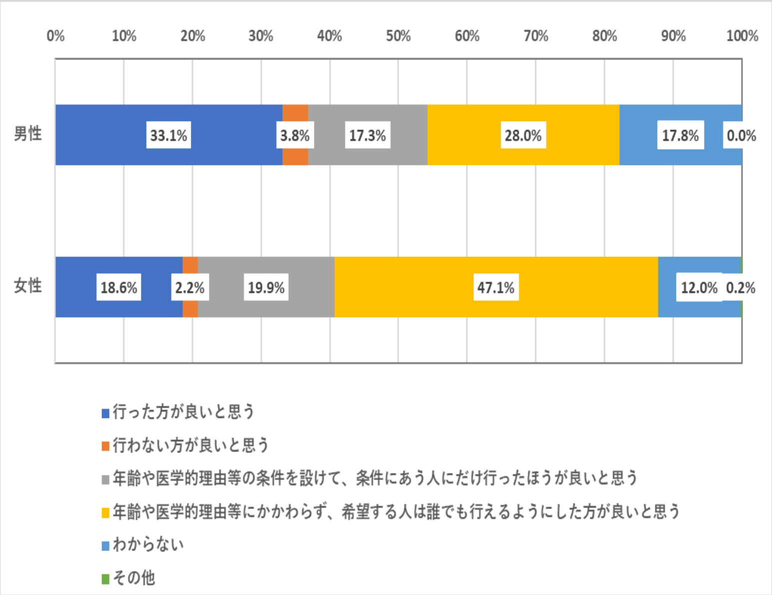


図 5　出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良い検査か

3)Q38　もしもこれから妊娠するとしたら（あるいは配偶者/パートナーが妊娠するとしたら)、出生前検査を受けたいと思いますか。

上記の質問に対し、以下の 9 つの選択肢を用意した。①是非受けたい（是非受けるように勧めたい)、②できれば受けたい（できれば受けるように勧めたい)、③できれば受けたくない（できれば受けないように勧めたい)、④絶対受けない（絶対受けないように勧めたい)、⑤わからない：その場面にならないとわからない、⑥わからない：配偶者/パートナーの意思を尊重したい、⑦わからない：親など身近な人の意思を尊重したい、⑧その他（具体的に)、⑨答えたくない。
回答者が若年層の場合は、今後の自身や配偶者の

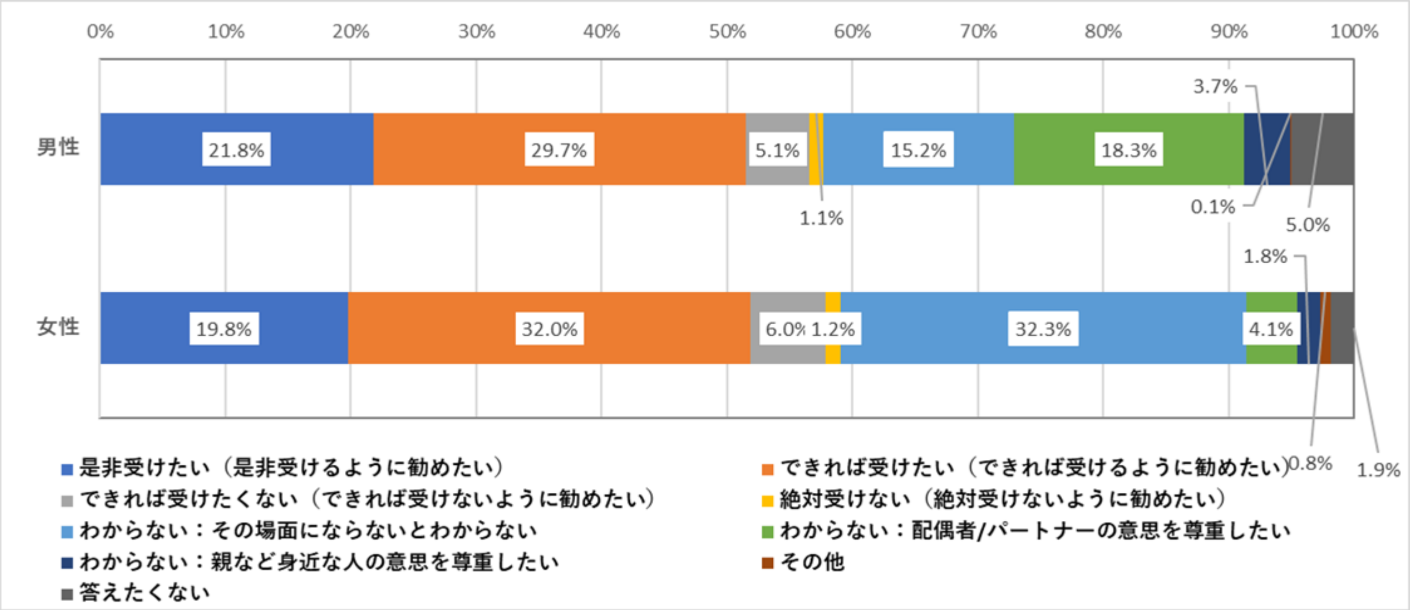


図６　出生前検査の受検意向

意思を尋ねていることになるが、中高年層（一般的に妊娠可能な年齢を過ぎている）の場合は、自身の意向というよりも仮定や一般論として考えられている可能性があることには注意が必要である。

図６をみると、男女とも「是非受けたい」「できれば受けたい」が約半数であった。その一方で、「わからない」と答えた人も男女ともに４割弱いた。「わからない：その場面にならないとわからない」を選んだ女性は男性の倍以上（2.1倍）いて、この検査を受けるか否かの決定は女性がより迷うことが示されている。「わからない：配偶者の意思を尊重したい」と「わからない：親など身近な人の意思を尊重したい」を選んだ男性は女性の倍以上いた。

また、「絶対受けない」「できれば受けたくない」を選んだ人は男女共に少ないものの、それぞれ６％から７％いることにも注目すべきだろう。

図７には、男女別・子ども（実子）の有無別に、出生前検査を受検希望（是非受けたい＋できれば受けたい）の割合を示した。男性では、子どもの有無による差はないのに対し、女性では、子どもがいない人にくらべ、子どもがいる人は出生前検査を希望する人が少ない。

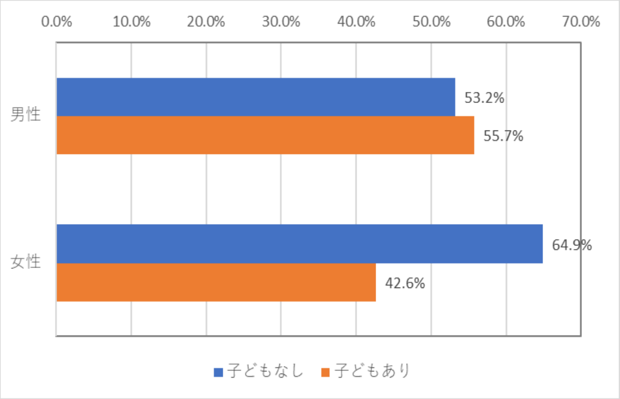


図７　性別・子どもの有無別　受検希望（是非受けたい＋できれば受けたい）の割合

図８には、回答者本人の学歴別に出生前検査を受検希望（是非受けたい＋できれば受けたい）の割合を示した。男性では学歴の違いによる顕著な傾向がみられないが、女性は（特定の学歴では該当人数が少ないため留保を必要とするが）学歴が高い人ほど出生前検査を希望する人の割合が多くなっている。ただし、女性が高学歴であることで妊娠年齢が高まる可能性や、誰にでも病気の子どもが生まれる可能性があることを知識として備えている、など諸々の要因が考えられる。また、出生前検査を希望する人が多いことは、異常が見つかれば産まない人が多いことを帰結するとは限らない。関連性については、さらなる検討が必要である。なお、選択者数が 50 人未満のデータは、図の数字（%）に囲みを記した。

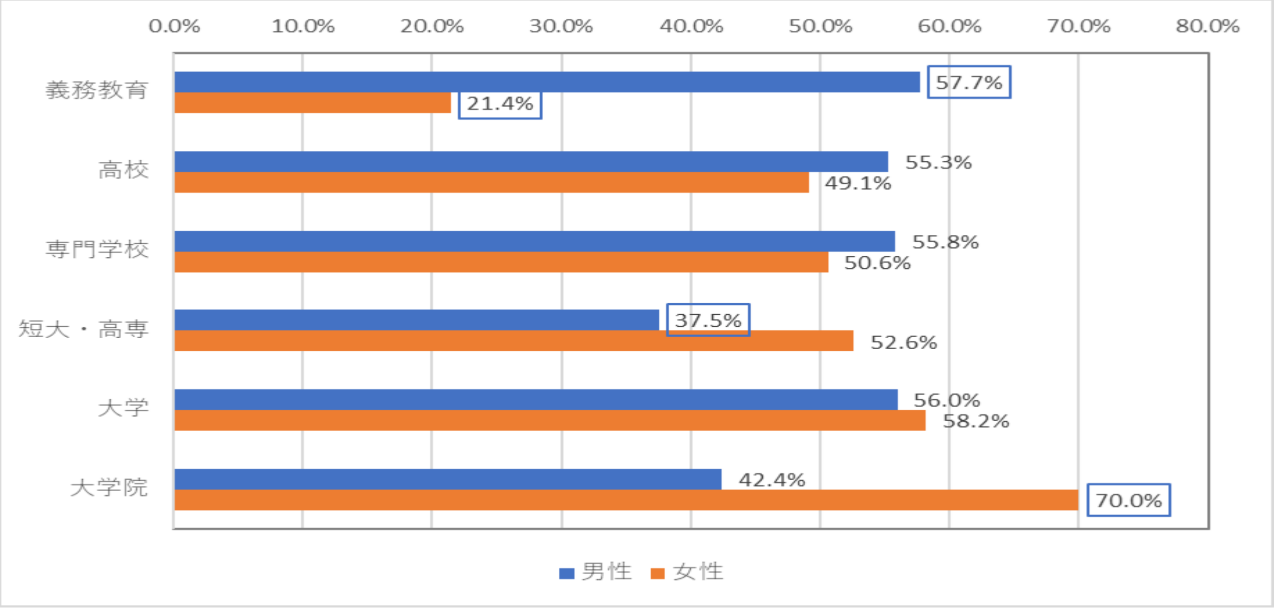


図８　性別・学歴別　受検希望（是非受けたい＋できれば受けたい）の割合

（数字に囲みがある場合、人数が 50 人未満）

4)Q39/Q41　出生前検査を受ける場所を選ぶとき重視するのはどの点ですか。

以下のような 13 の選択肢を用意し、重視することを選択（複数選択可）して、そのうえで最重視する内容を１つ選択してもらった（図 9）。①妊娠中にかかりつけの産婦人科の主治医がいること、②専門の遺伝カウンセラー（認定遺伝カウンセラー等）がいること、③相談できる小児科医師がいるところ、④妊娠している本人が望むところ、⑤妊婦の配偶者/パートナー（男性）が望むところ、⑥出産予定の病院とは別のところ、⑦出生前検査の実績があること、⑧人工妊娠中絶ができるところ、⑨費用が安いところ、⑩交通のアクセスが良いこと、⑪土日・夜間診療やオンラインでの診療ができるところ、⑫わからない、⑬その他（具体的に）。

重視する点は、男女とも①産婦人科の主治医がいる、④妊娠している本人が望むところが第 1 位、2 位であった。第 3 位が女性は⑦出生前検査の実績があること、男性は②専門の遺伝カウンセラーがいるところとなっている。女性の方が、費用や交通のアクセスを挙げる人が多いのも特徴的である。選択した中から最も重視する点についても、男女とも①産婦人科の主治医がいるが、第 1 位であったが、第 2 位は男性が④妊娠している本人が望むところ、女性は⑦出生前検査の実績があることとなっており、男性は女性（配偶者）の意向次第と考えている人が多い。

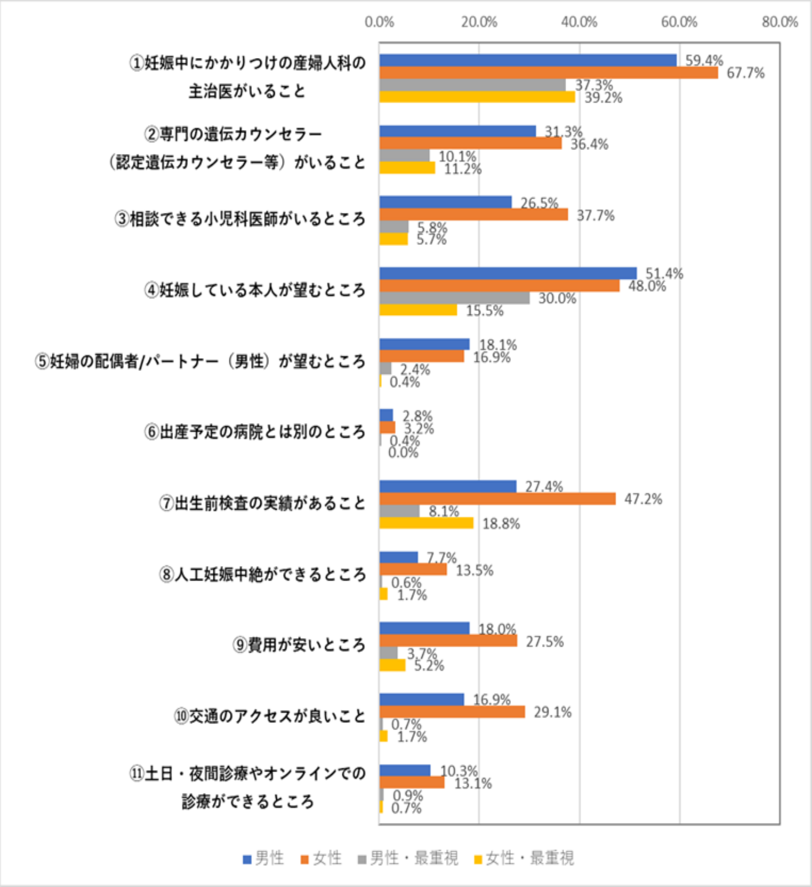


図 9　出生前検査を受ける場所で重視すること・最重視すること

5) Q42　もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しますか。

上記の質問に対し、以下の 6 つの状況ごとに、「はい/継続する」、「いいえ/継続しない」「答えたくない」で回答してもらった（図 10）。

① 何があっても妊娠は継続したい（してほしい）
② 自分たちの生活や仕事が大きく影響を受けるとわかった場合
③ 誕生後間もなく亡くなる可能性が高いと説明された場合
④ 将来的に医療や福祉のケアが必要だと説明された場合
⑤ 軽重に関わらず何らかの病気や障がいが見つかった場合
⑥ その他

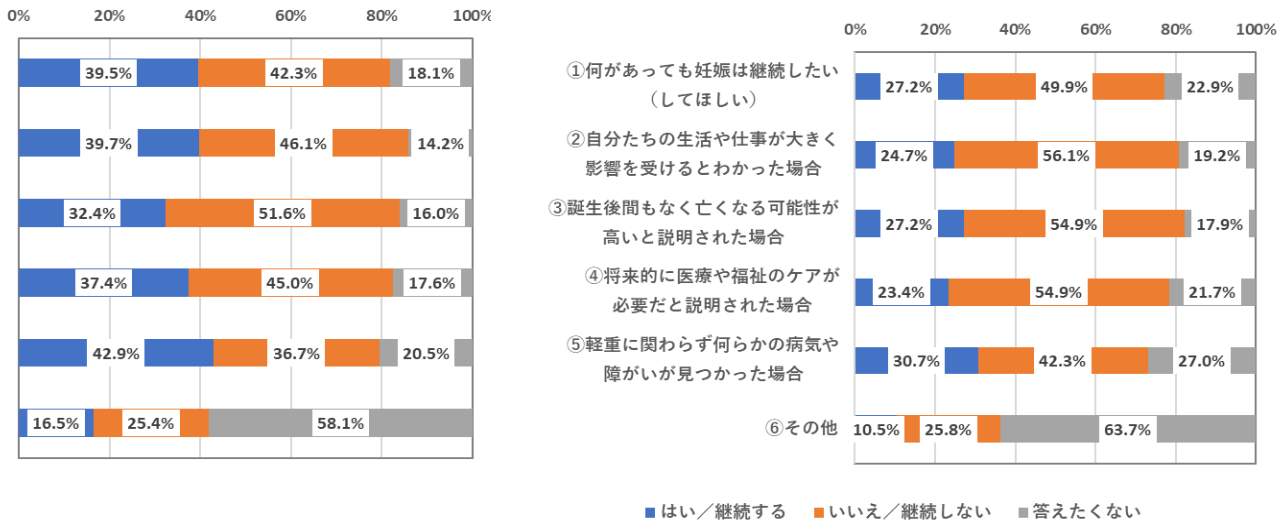


図 10　妊娠継続の意向について（左：男性/右：女性）

全体的な傾向として、男性の方が、いずれの状況においても「継続する」という意見が女性よりも多く、女性は「継続しない」という回答の方が多い。当事者性の高い女性の方が、胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しないと考えている。ただし「答えたくない」という割合も全般的に女性の方が高く、単純に継続する/しないと、決められないと思っている人も一定数いることがわかる。女性では②④が継続すると答えた人の割合が小さく、男性では③が継続すると答えた人の割合が小さい。妊娠継続の決定要因における男女の違いが、男性は胎児の状態の重篤性、女性は自分たちおよび生まれる子どもの生活が重視されていることが示唆されたが、より詳細な検討が必要である。

■文献

出口慎二, 2008,「インターネット調査の効用と課題」『行動計量学』68：47-57.

萩原牧子, 2009,「インターネットモニター調査はどのように偏っているのか――従来型調査手法に代替する調査手法の模索」『 Works Review 』 4 ： 1-12 （ http://www.works-i.com/?action=pages_view_main&activ

e_action=repository_view_main_item_detail&item_id=294&item_no=1&page_id=17&block_id=302）.
本多則惠, 2006,「インターネット調査・モニター調査の特質——モニター型インターネット調査を活用するための課題」『日本労働研究雑誌』555：32-41.
三浦麻子・小林哲郎,2015,「オンライン調査モニタの Satisfice に関する実験的研究」『社会心理学研究』31-1, 1-12.（https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssp/31/1/31_892/_html/-char/ja）
日本学術会議・社会学委員会Ｗｅｂ調査の課題に関する検討分科会, 2020『提言「Web 調査の有効な学術的活用を目指して」』（http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t292-3.pdf）

E. 結論

「出生前検査に関する一般市民への意識調査」を行った。受検要因分析より、一般女性、出生前検査・不妊治療経験者にも同様の質問に加え出生前検査について深く質問する必要があった。今後重要項目のクロススタディーに加え、令和３年に行う研究②も含め、出生前検査に関する一般市民及び妊婦・夫への意識等実態調査解析を行う。

F. 研究発表

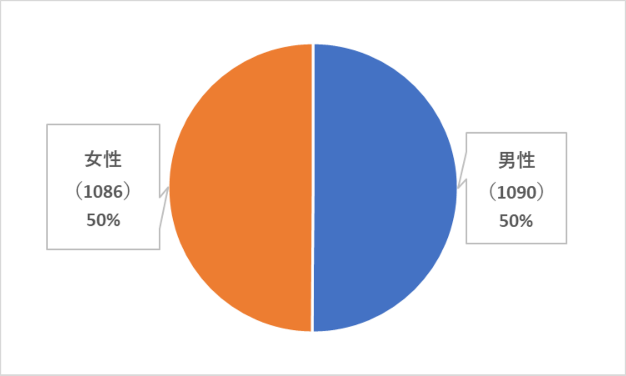
１．論文発表・刊行　なし
２．学会発表(雑誌名等含む)　なし

G. 知的所有権の取得状況

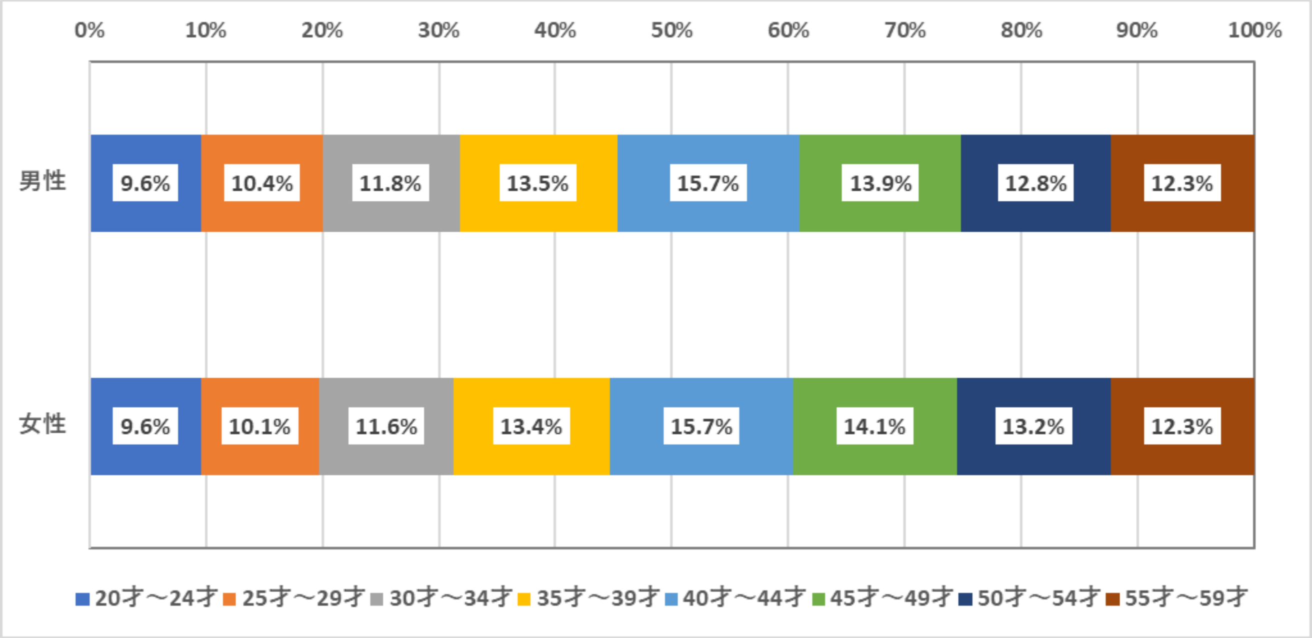
１．特許取得　なし
２．実用新案登録　なし
３．その他

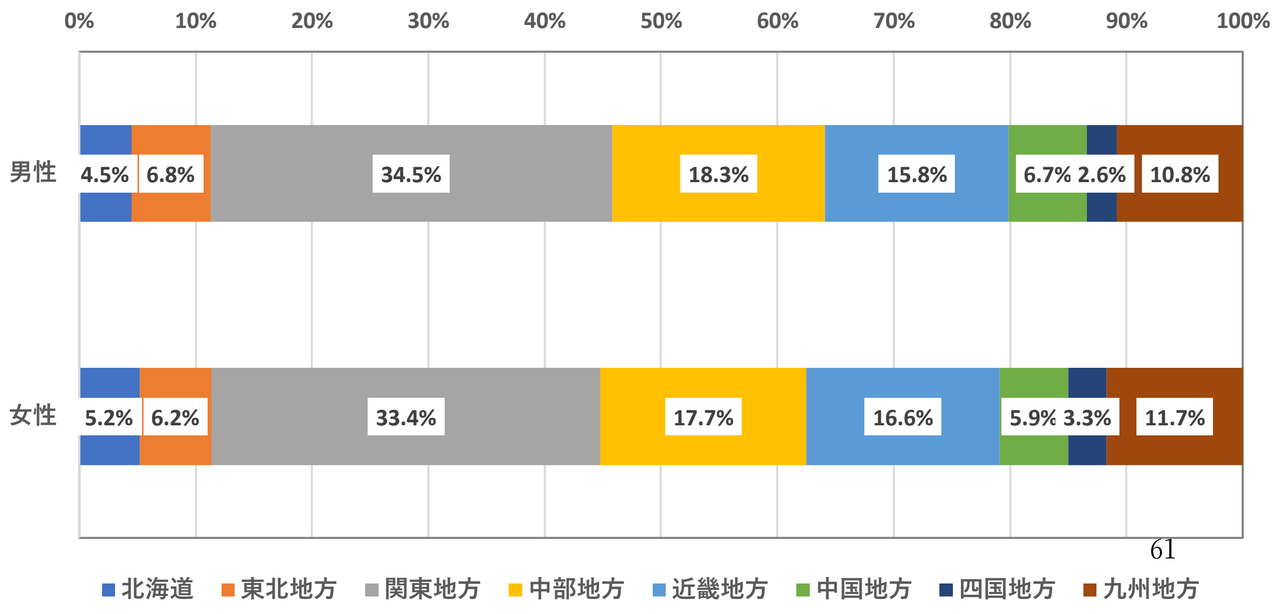
回答者の基本属性

有効回収数　男女別

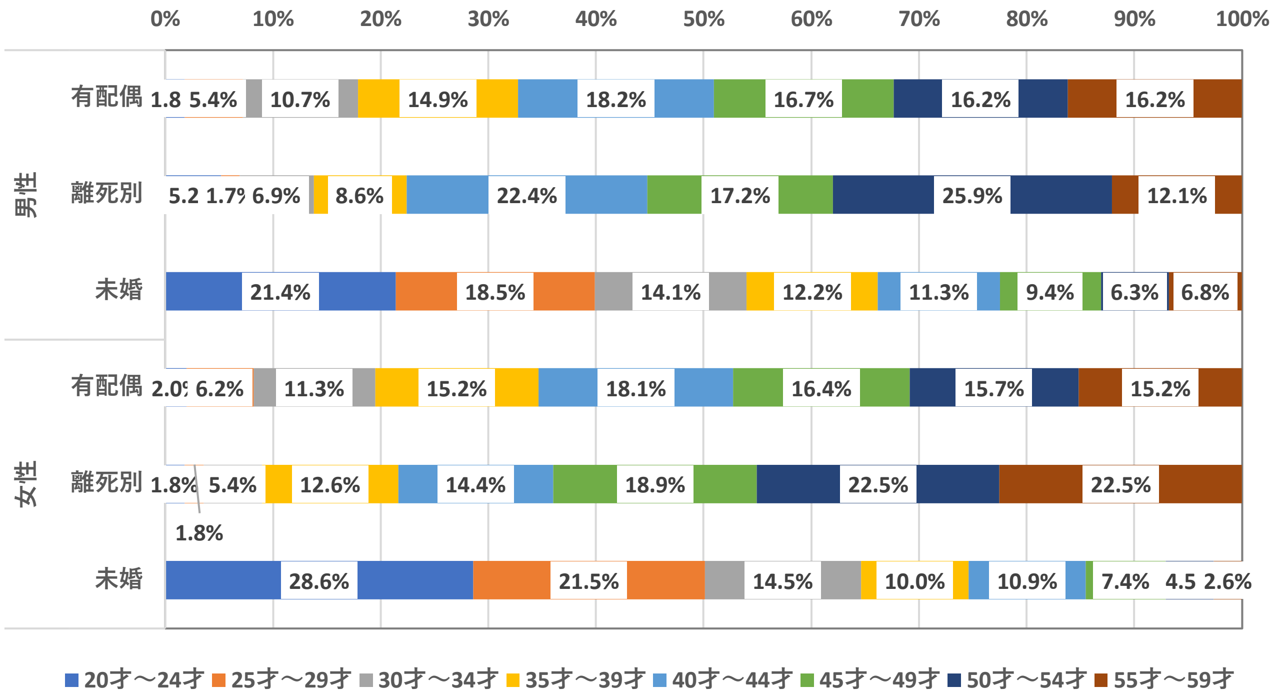


年齢層別（上）・地域別（下）構成

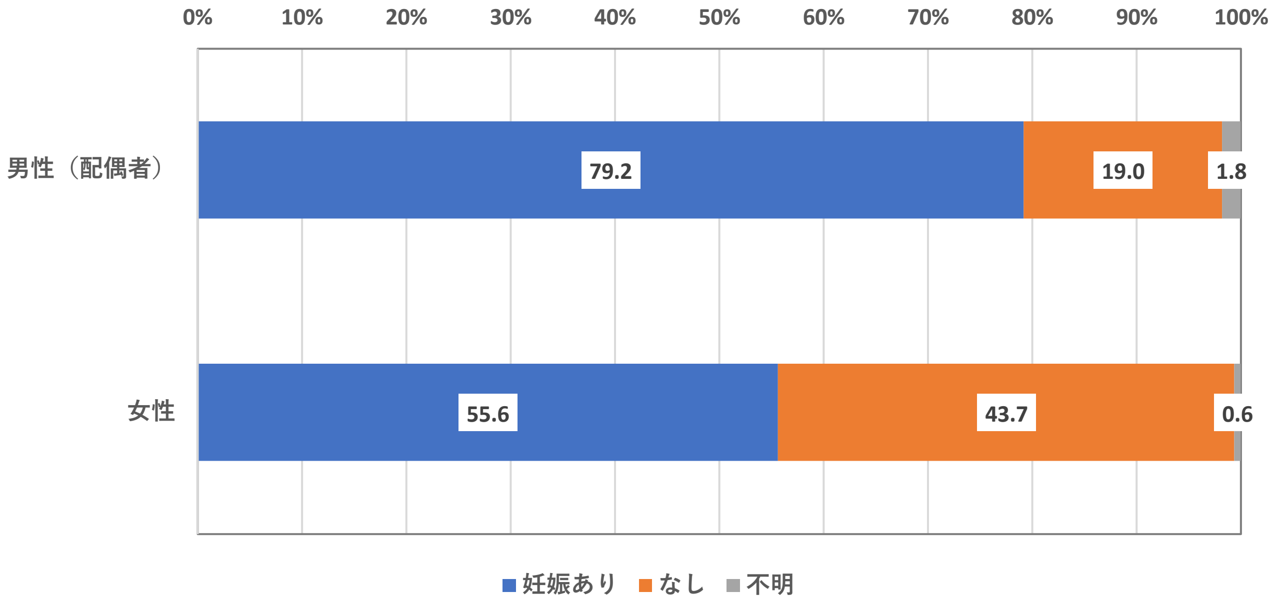




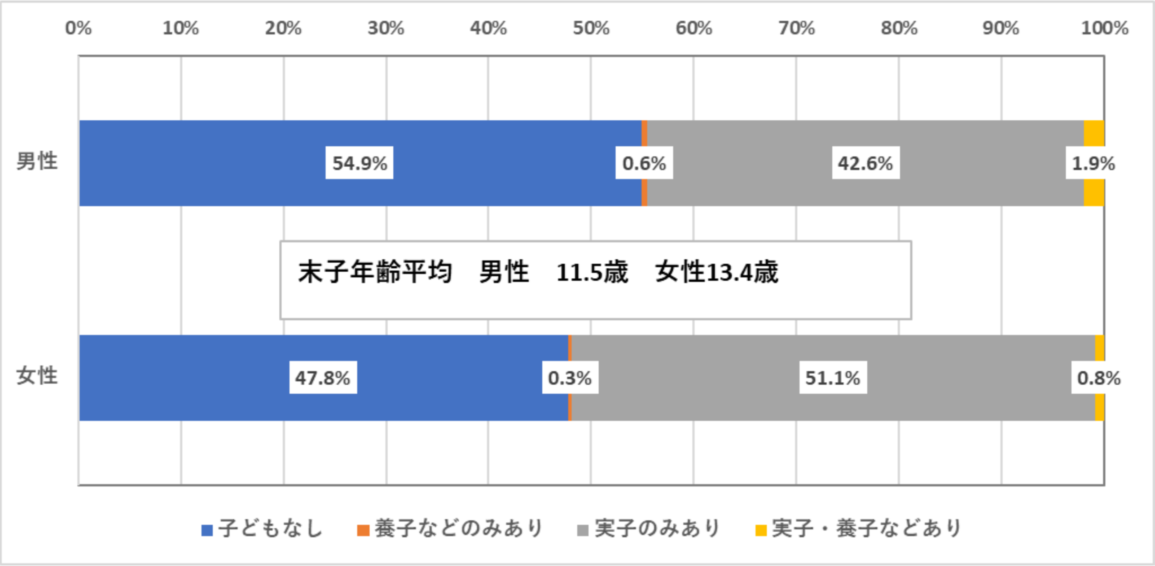
配偶状態別　年齢層



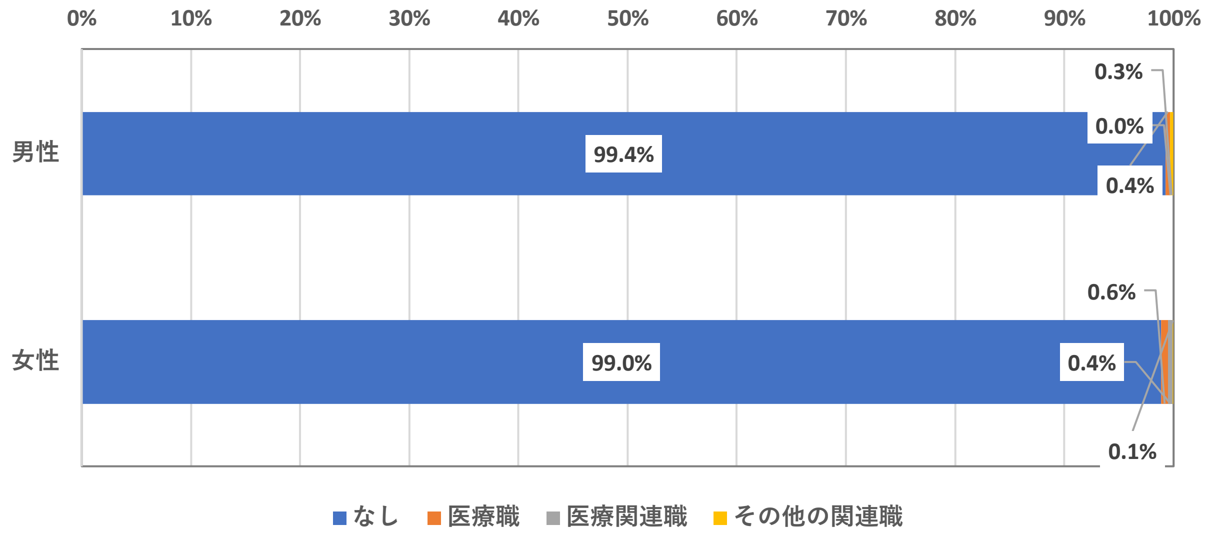
妊娠経験



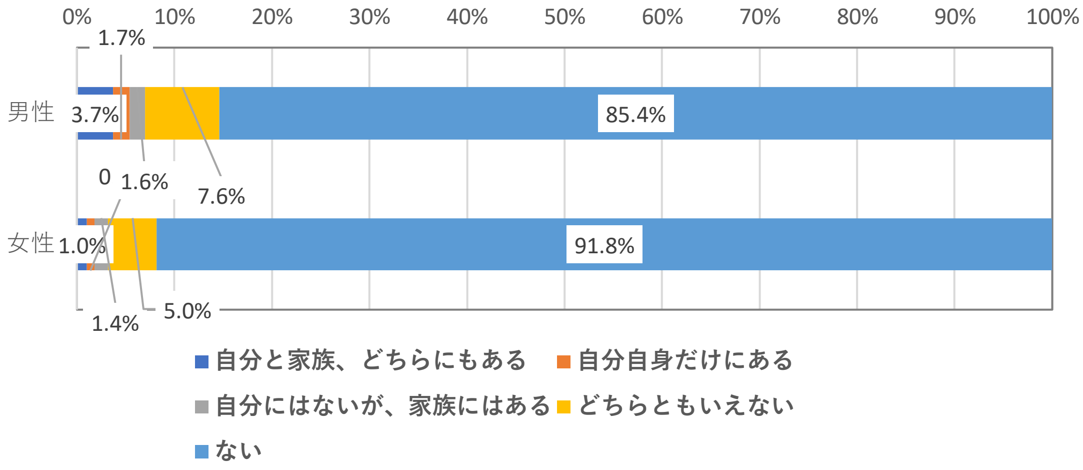
子どもの有無



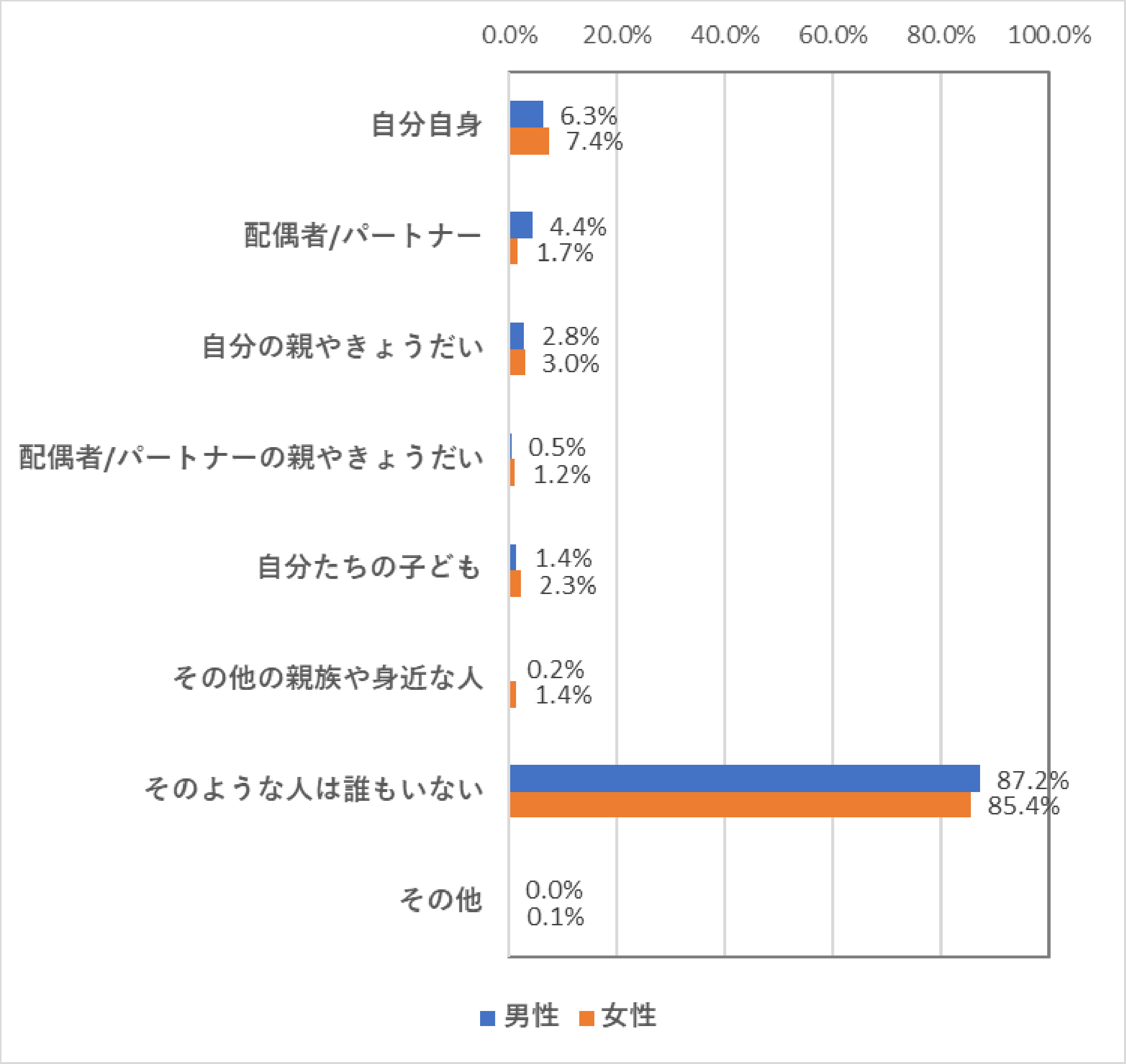
出生前検査と関連する仕事



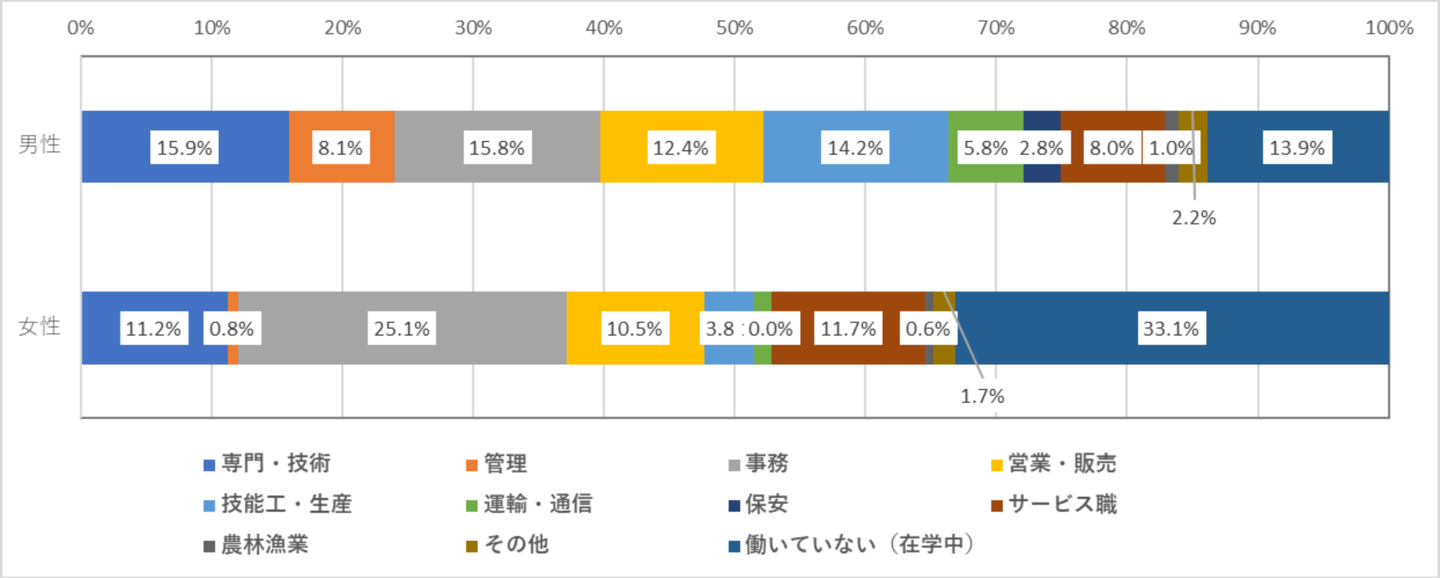
あなたやご家族に、妊娠・出産、医療などに対して影響を与えた宗教・信仰・思想・信条がありますか。



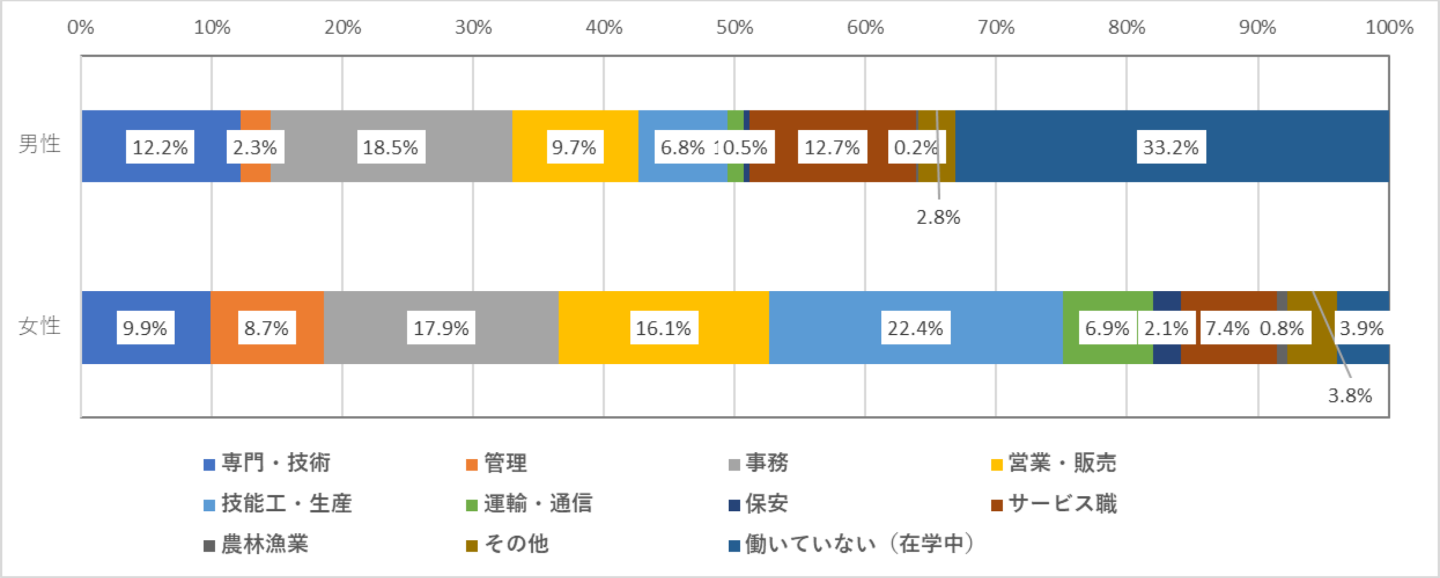
妊娠・出産等に対するリスク



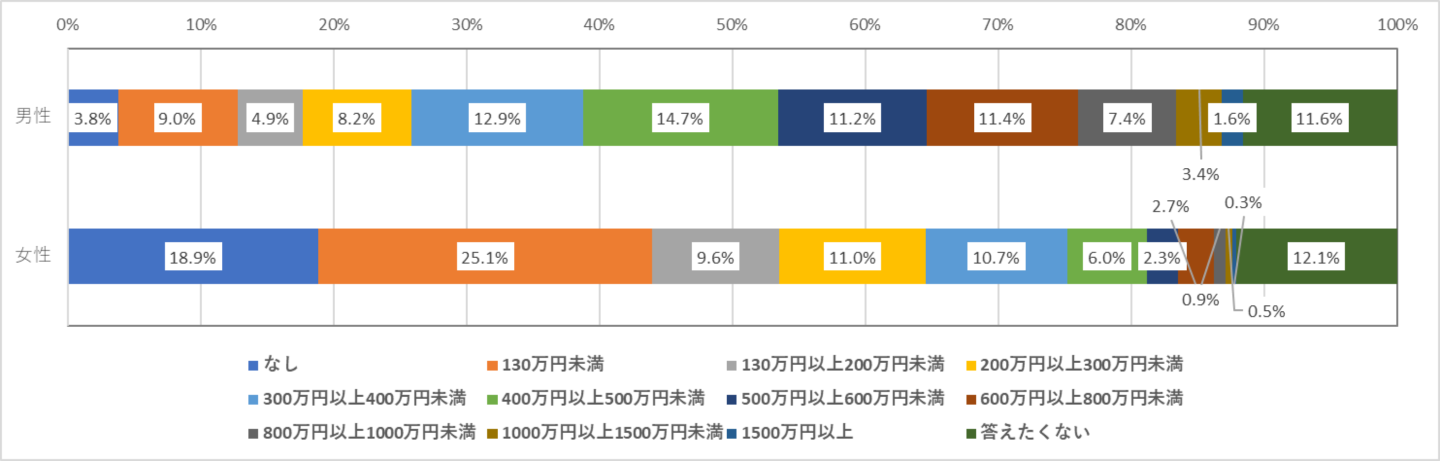
本人の職業



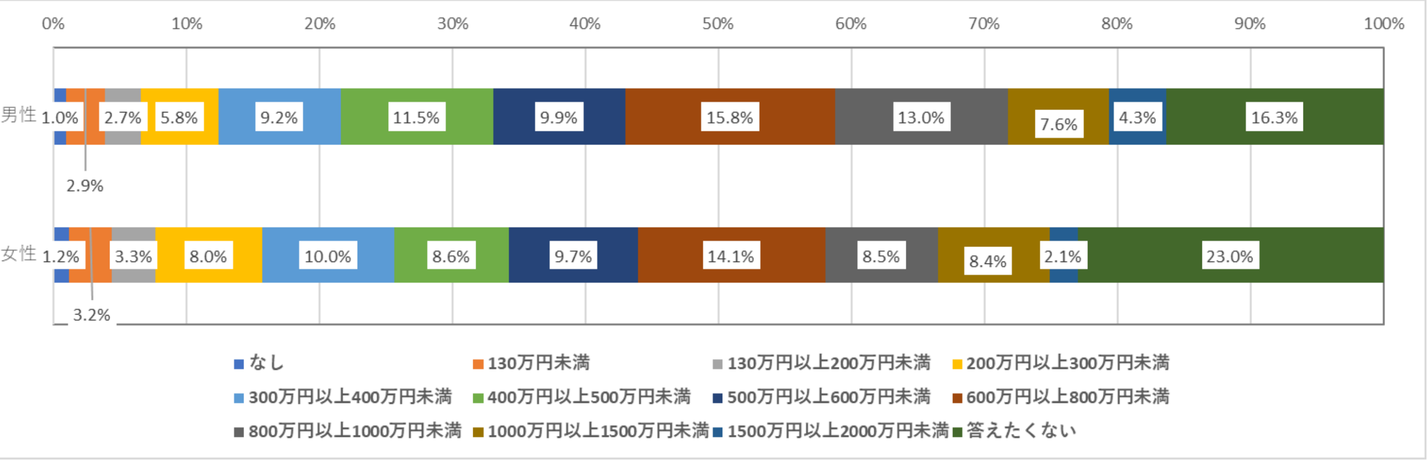
配偶者の職業



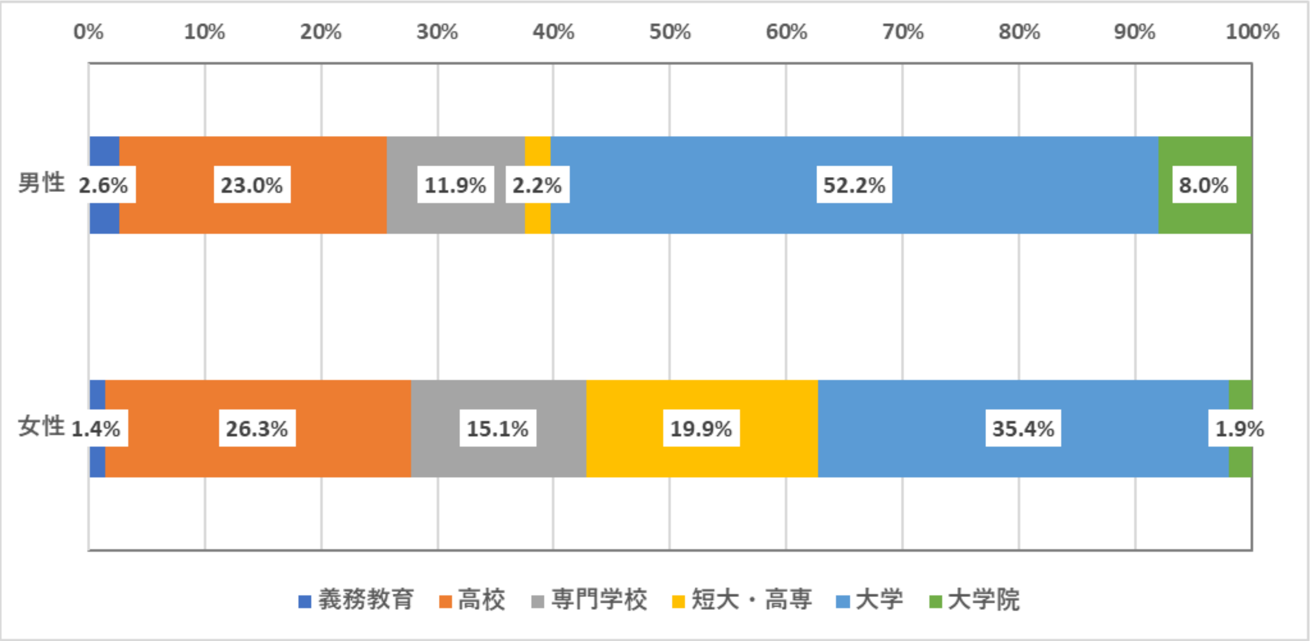
本人の年収


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性
3.8%
9.0%
4.9%
8.2%
12.9%
14.7%
11.2%
11.4%
7.4%
1.6%
11.6%
3.4%
女性
18.9%
25.1%
9.6%
11.0%
10.7%
6.0%
2.3%
2.7%
0.3%
12.1%
0.9%
0.5%
なし
130万円未満
130万円以上200万円未満
200万円以上300万円未満
300万円以上400万円未満
400万円以上500万円未満
500万円以上600万円未満
600万円以上800万円未満
800万円以上1000万円未満
1000万円以上1500万円未満
1500万円以上
答えたくない

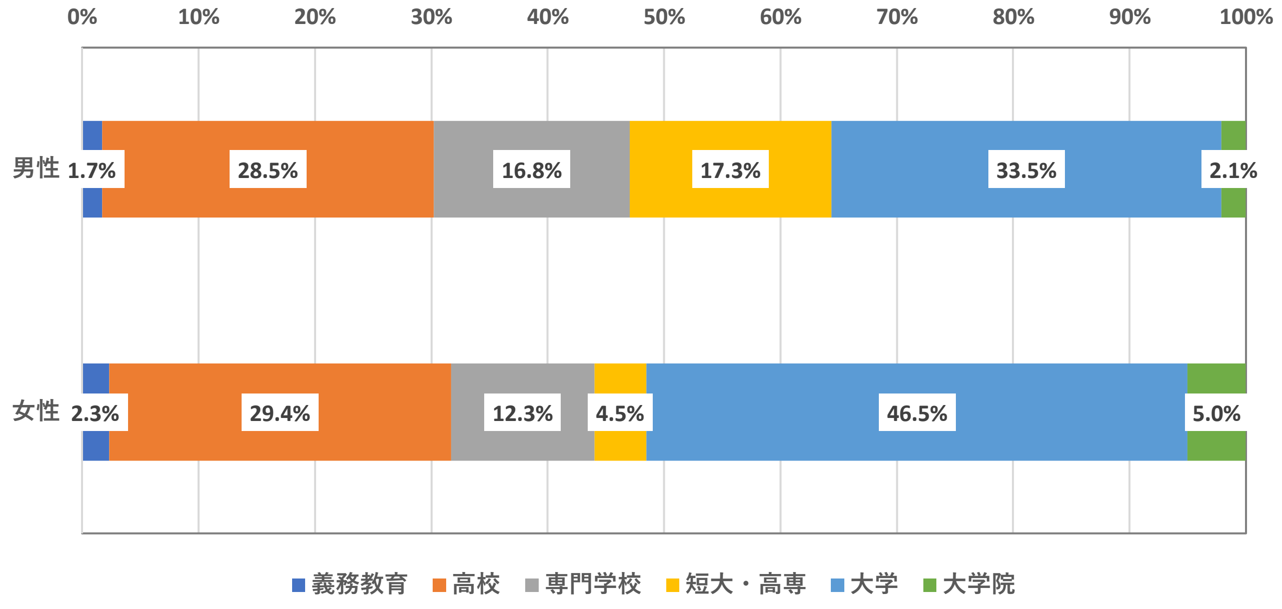
世帯年収


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
男性
1.0%
2.7%
5.8%
9.2%
11.5%
9.9%
15.8%
13.0%
7.6%
4.3%
16.3%
2.9%
女性
1.2%
3.3%
8.0%
10.0%
8.6%
9.7%
14.1%
8.5%
8.4%
2.1%
23.0%
3.2%
なし
130万円未満
130万円以上200万円未満
200万円以上300万円未満
300万円以上400万円未満
400万円以上500万円未満
500万円以上600万円未満
600万円以上800万円未満
800万円以上1000万円未満
1000万円以上1500万円未満
1500万円以上2000万円未満
答えたくない

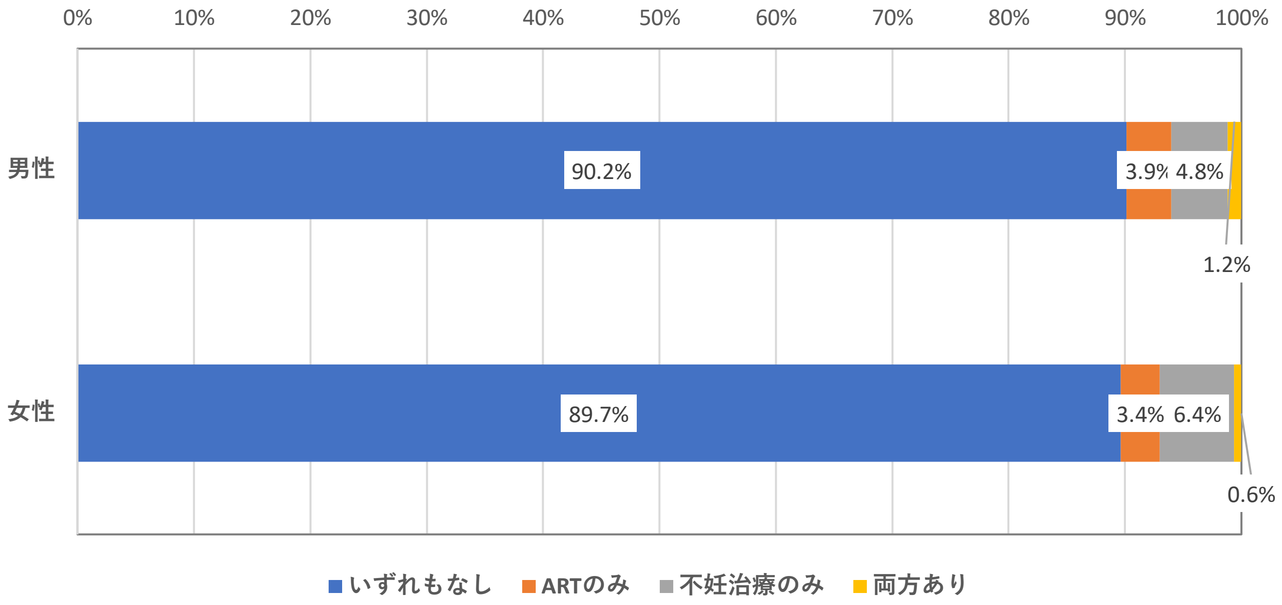
本人の学歴



配偶者の学歴



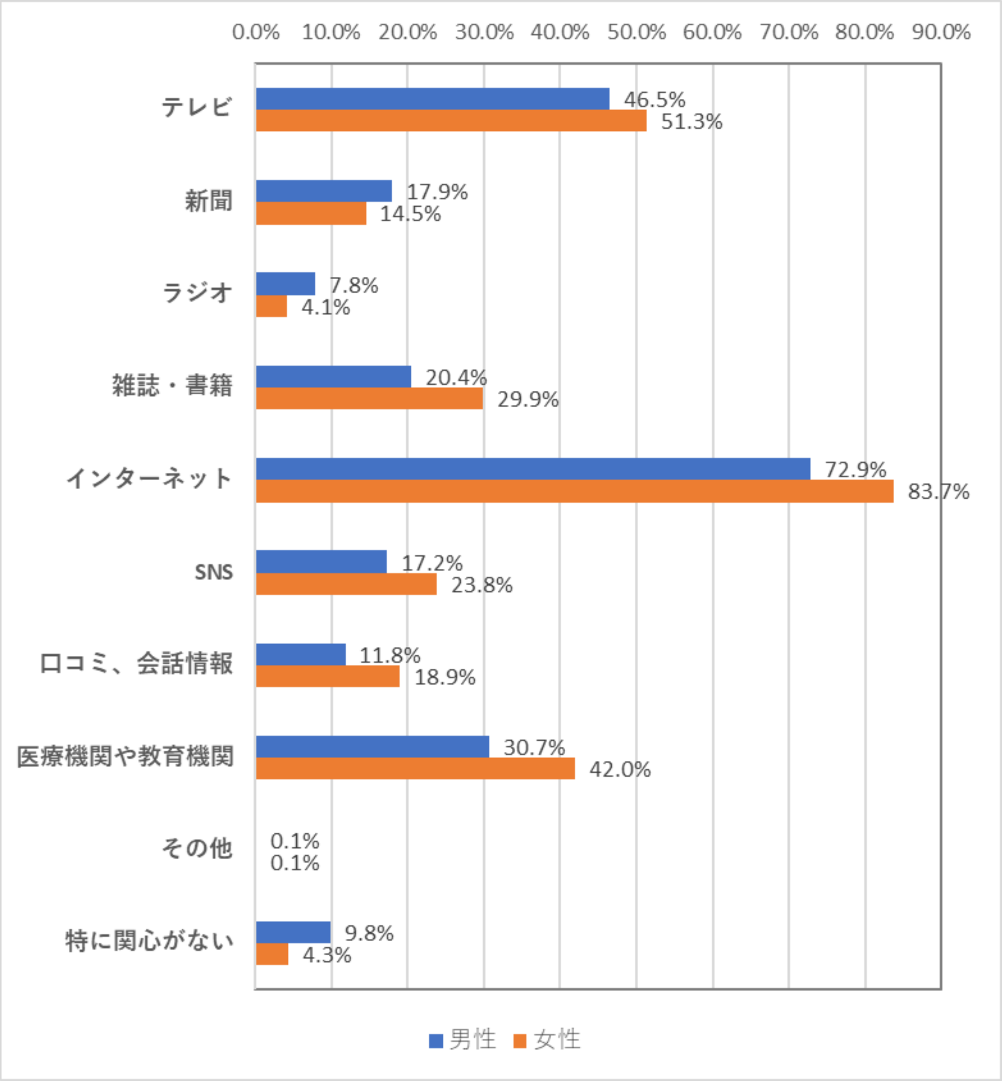
生殖補助医療・不妊治療の経験

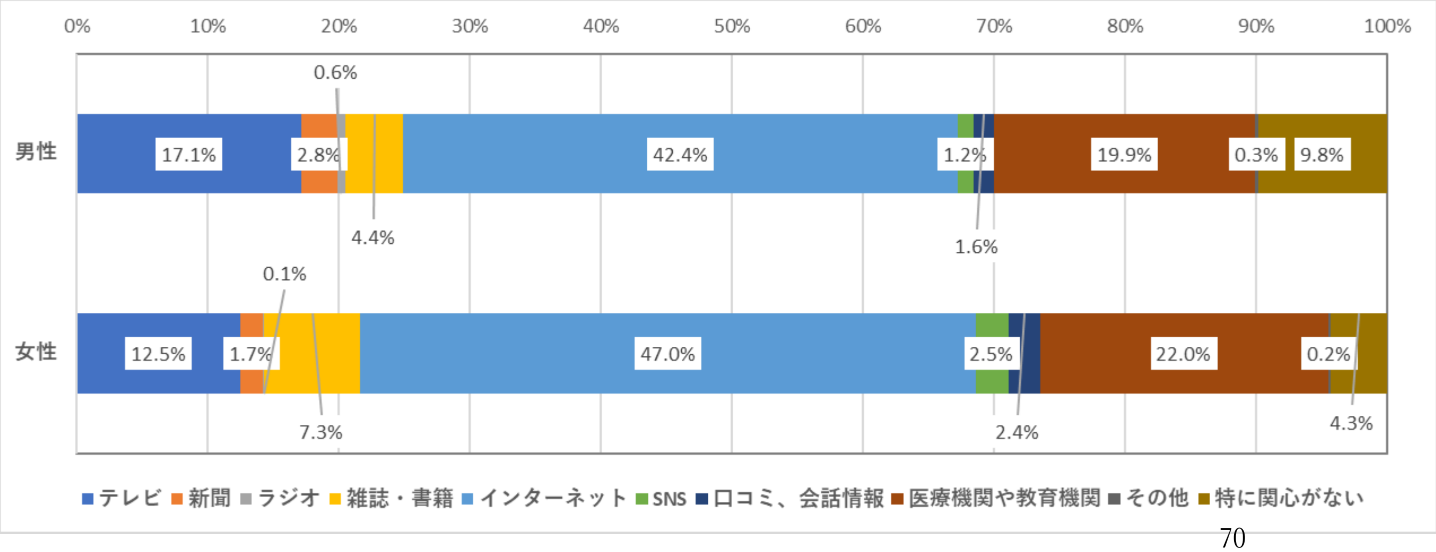


調査結果

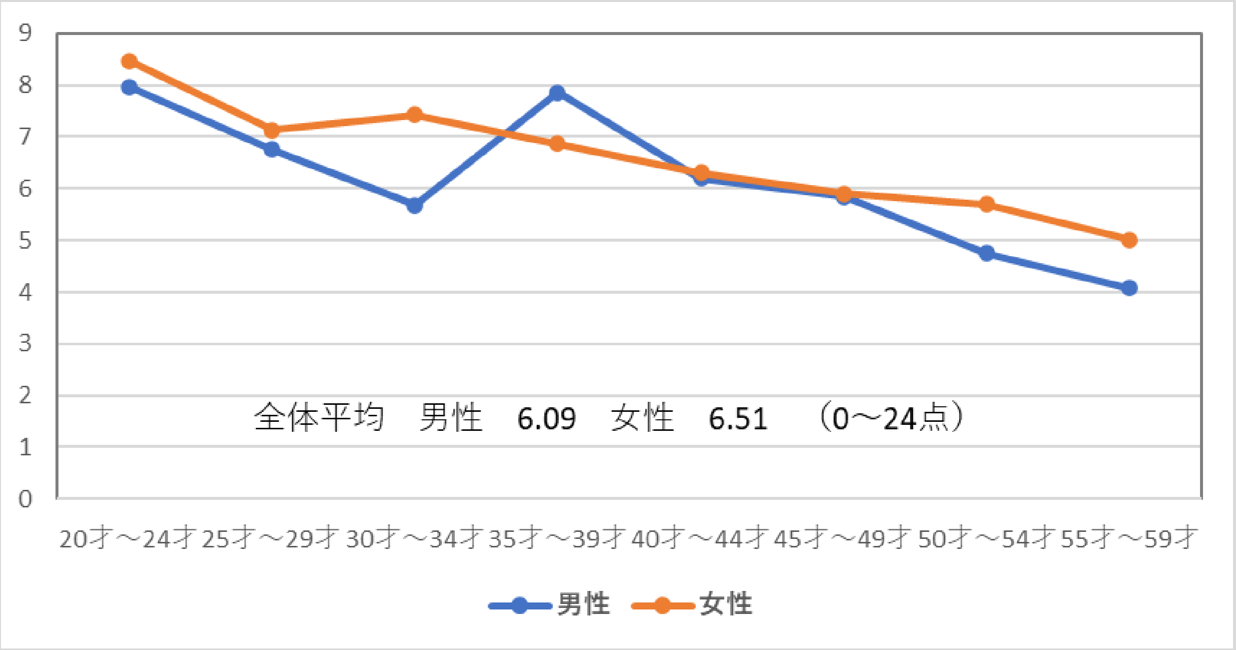
※グラフが2段になっている場合、
上段　男性
下段　女性

Q18　あなたが「いのち」や「医療」に関する情報を調べたいとき、何を使いますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。 先に答えた情報源の中で、最も重要なものを1つ選んで番号をおこたえください。

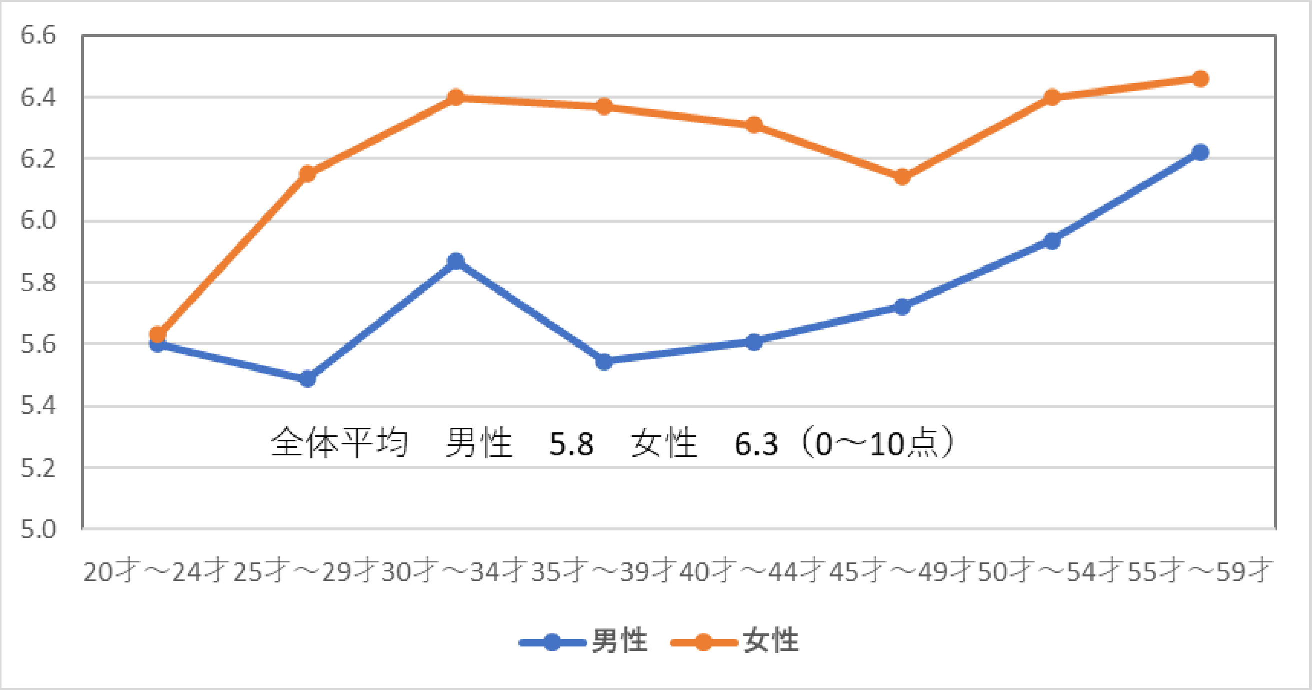




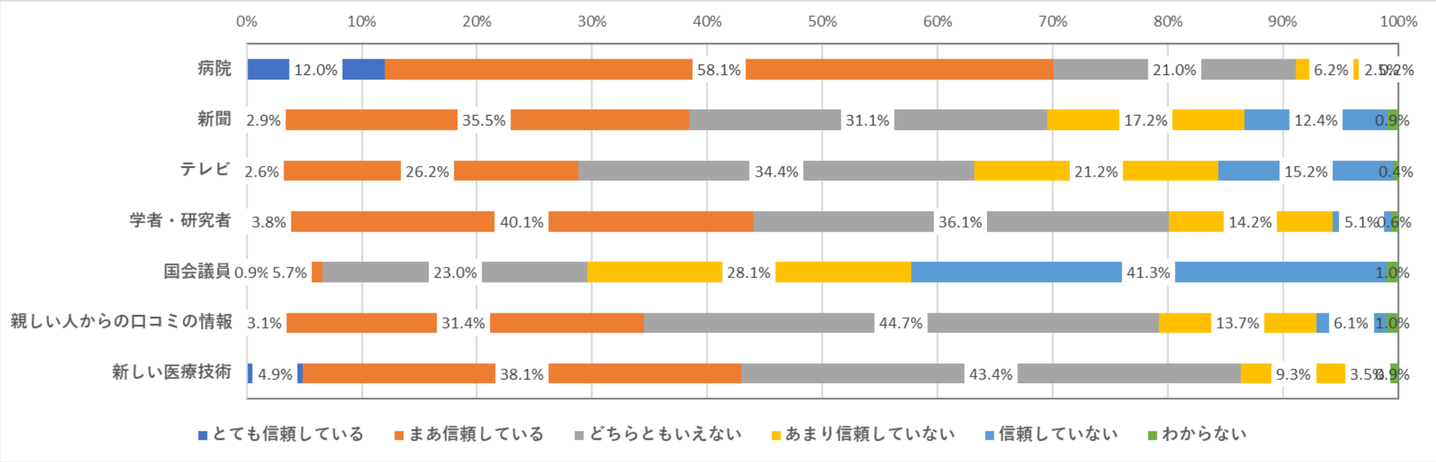
Q19　次の1～6の質問について、過去1ヵ月の間はどのようであったか、６つの項目それぞれのあてはまるものを1つお選びください。

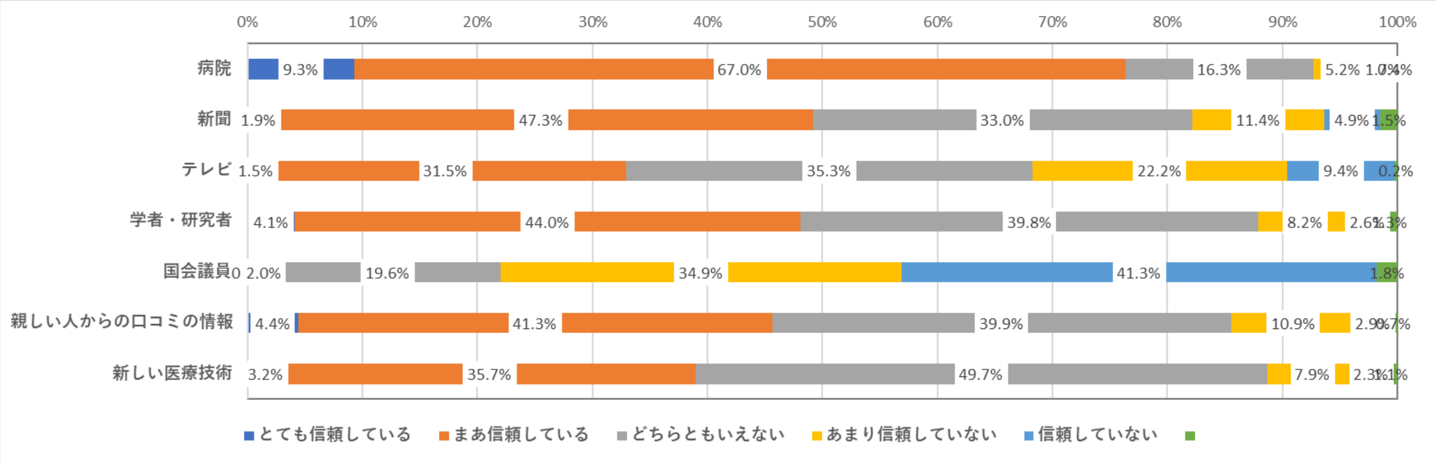


Q20　現在、あなた自身はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸せ」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれかの数字を１つお選びください。

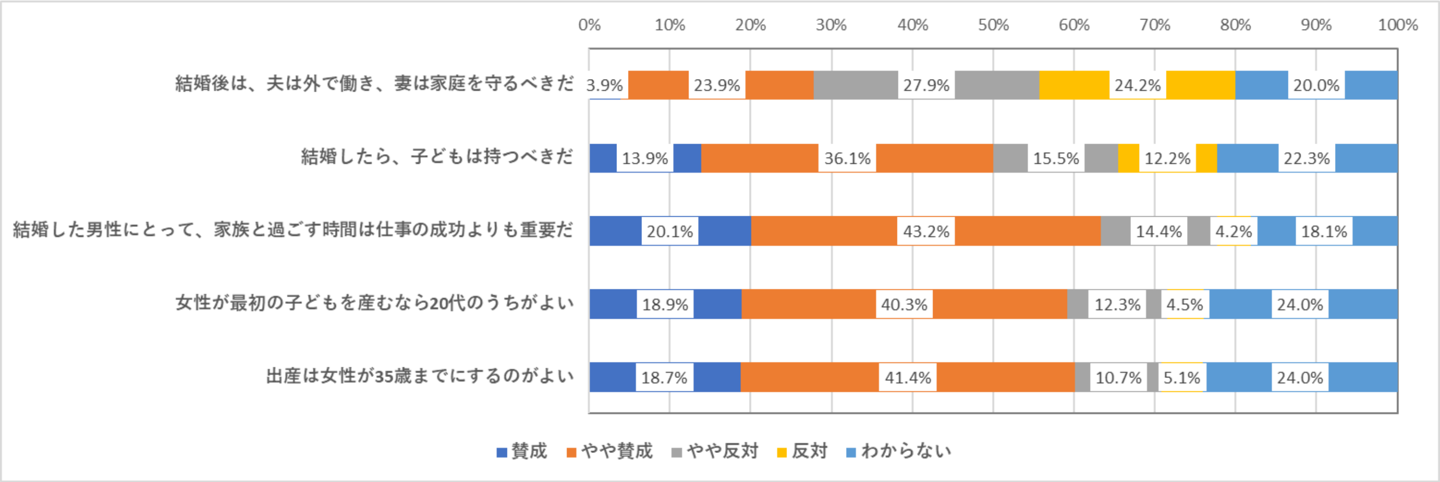


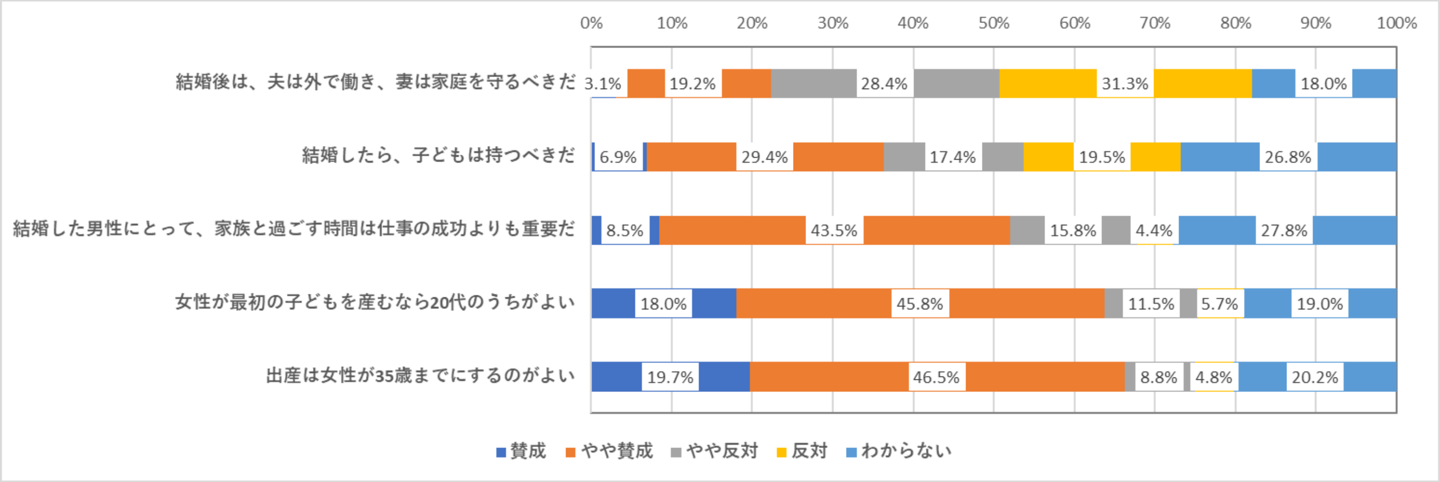
Q21　次にあげる項目について、あなたはどのぐらい信頼していますか。



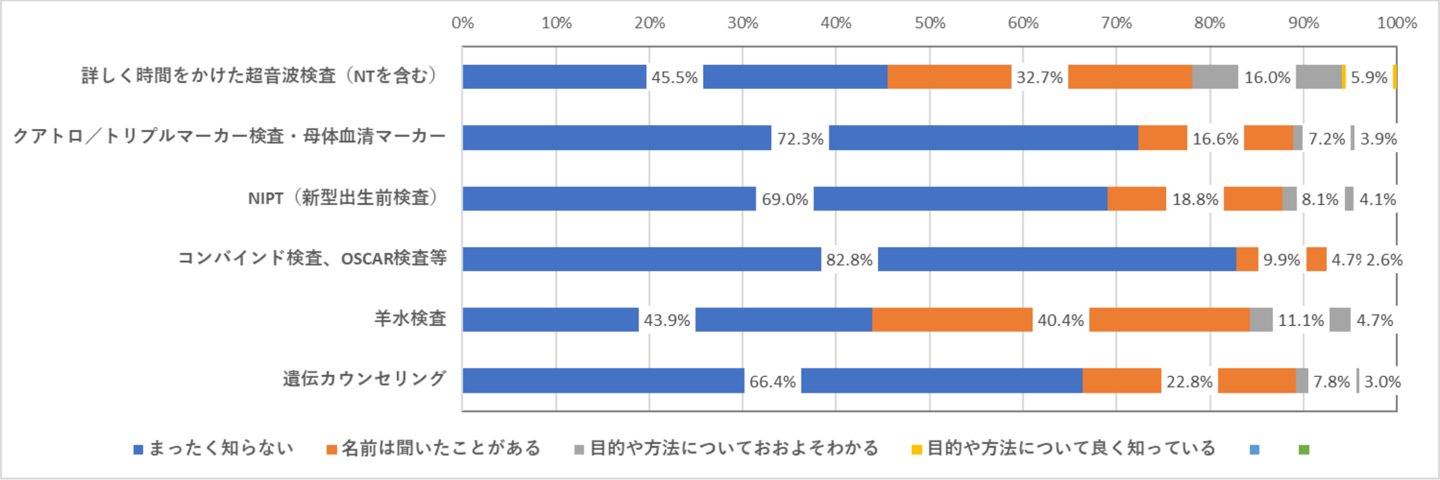


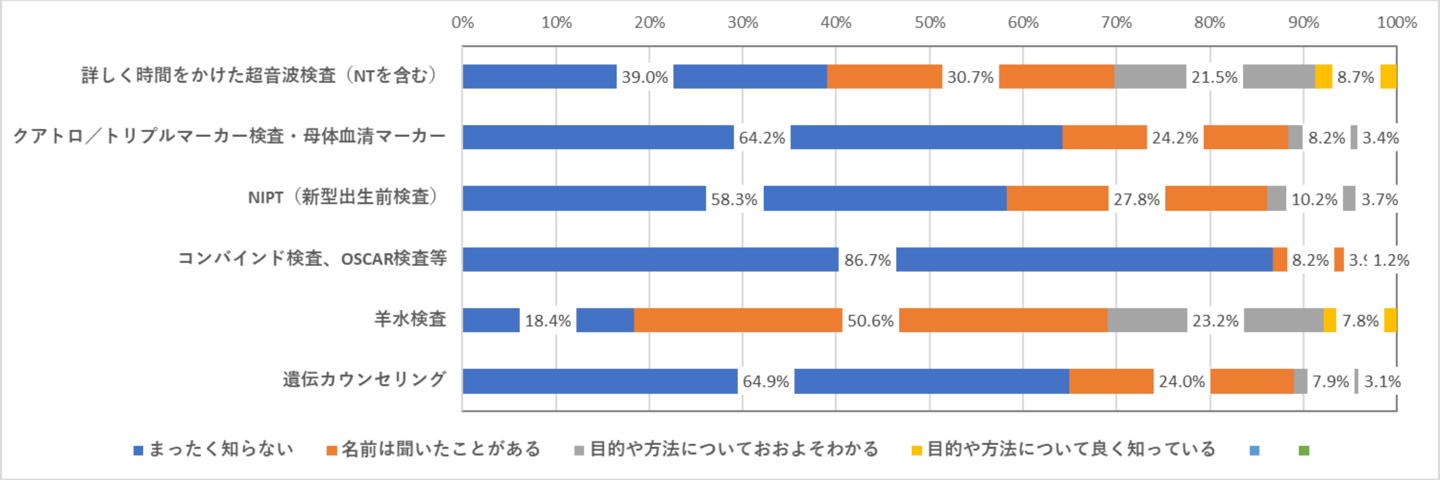
Q22　次のような考え方についてお答えください。



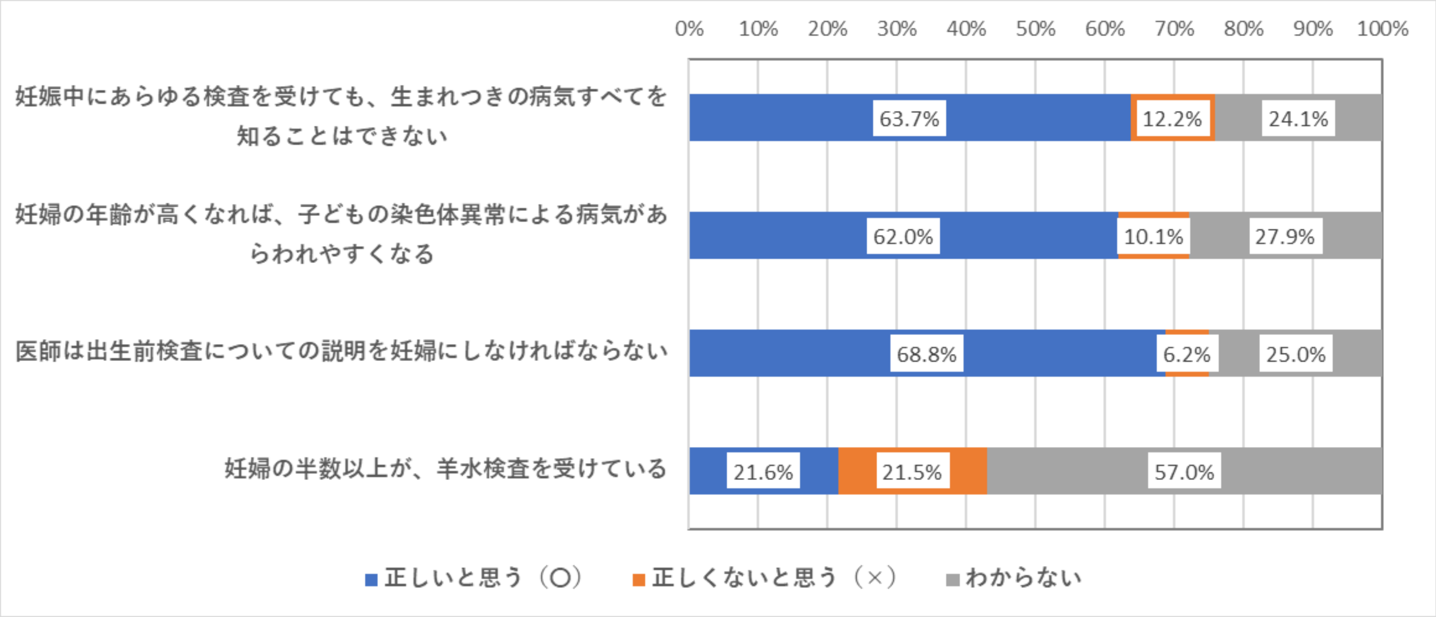


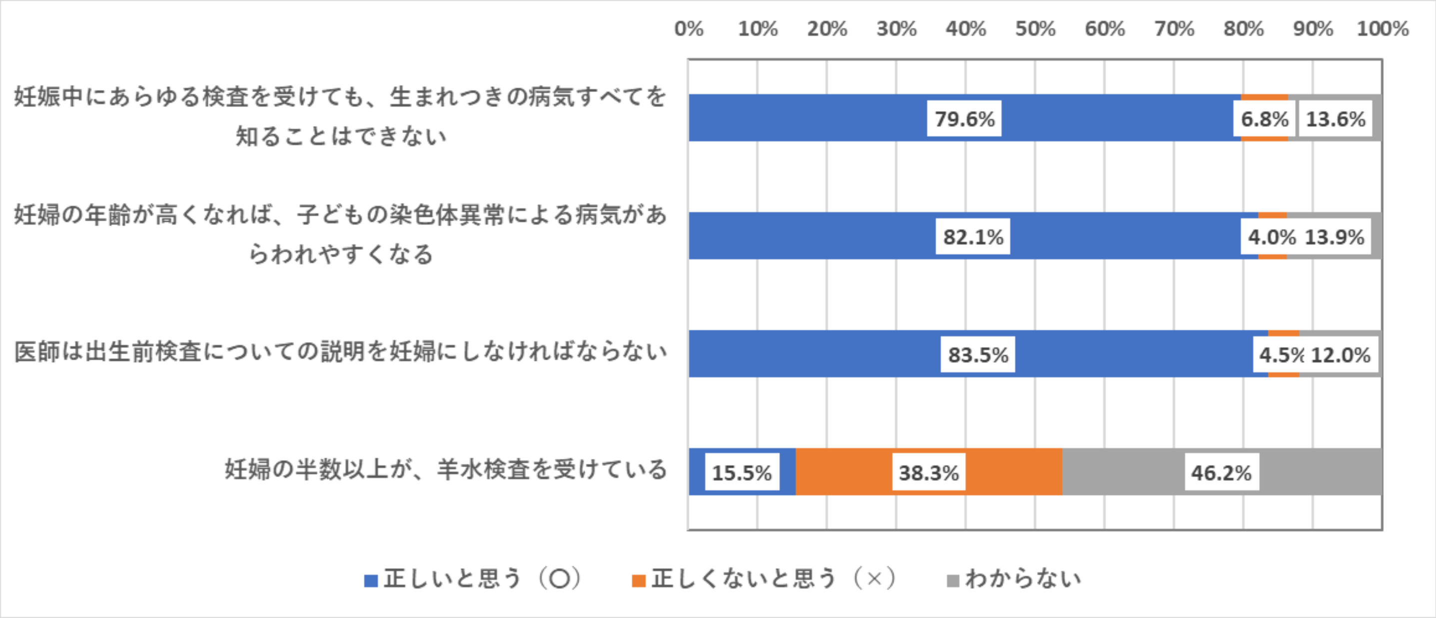
Q23　次の妊娠中に行う検査等について、どれくらい知っていますか。



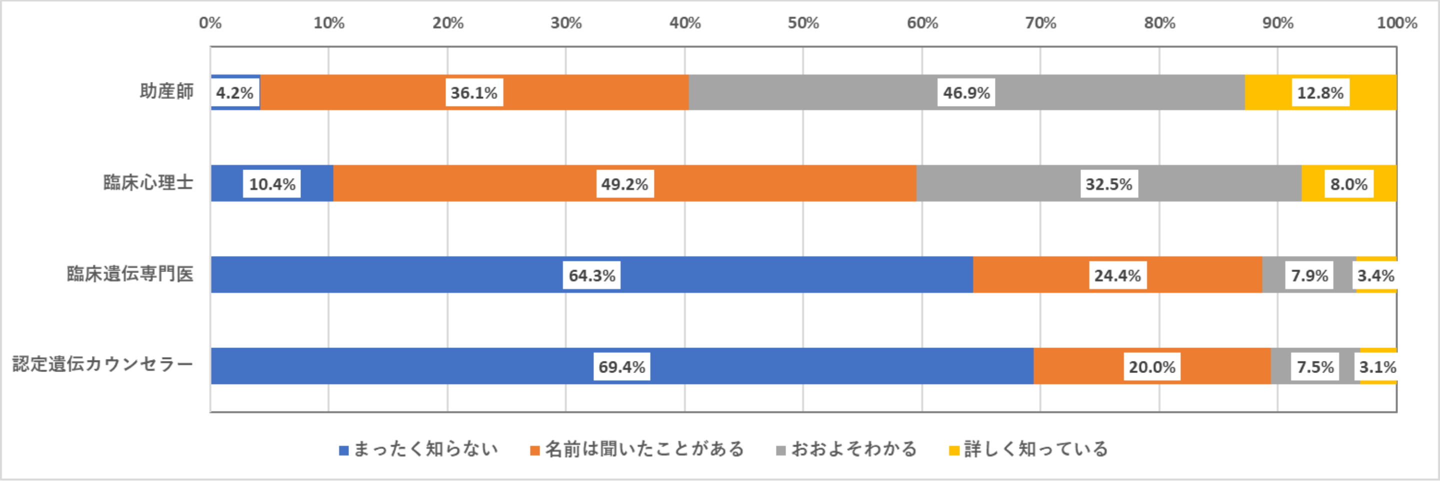


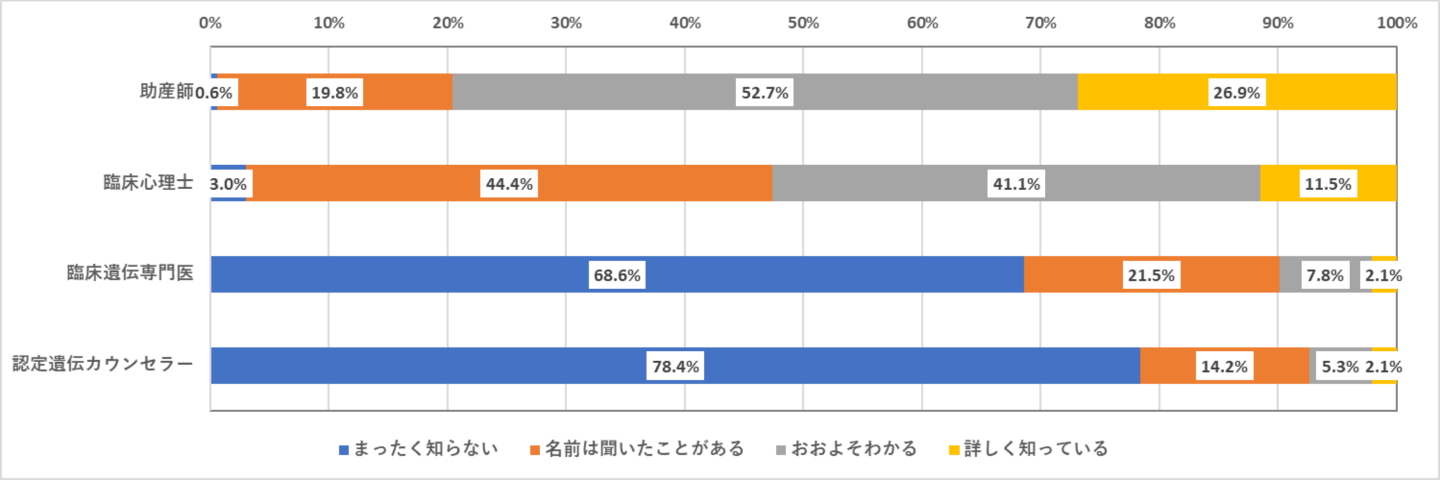
Q24　次の妊娠中に行う検査等について、どれくらい知っていますか。



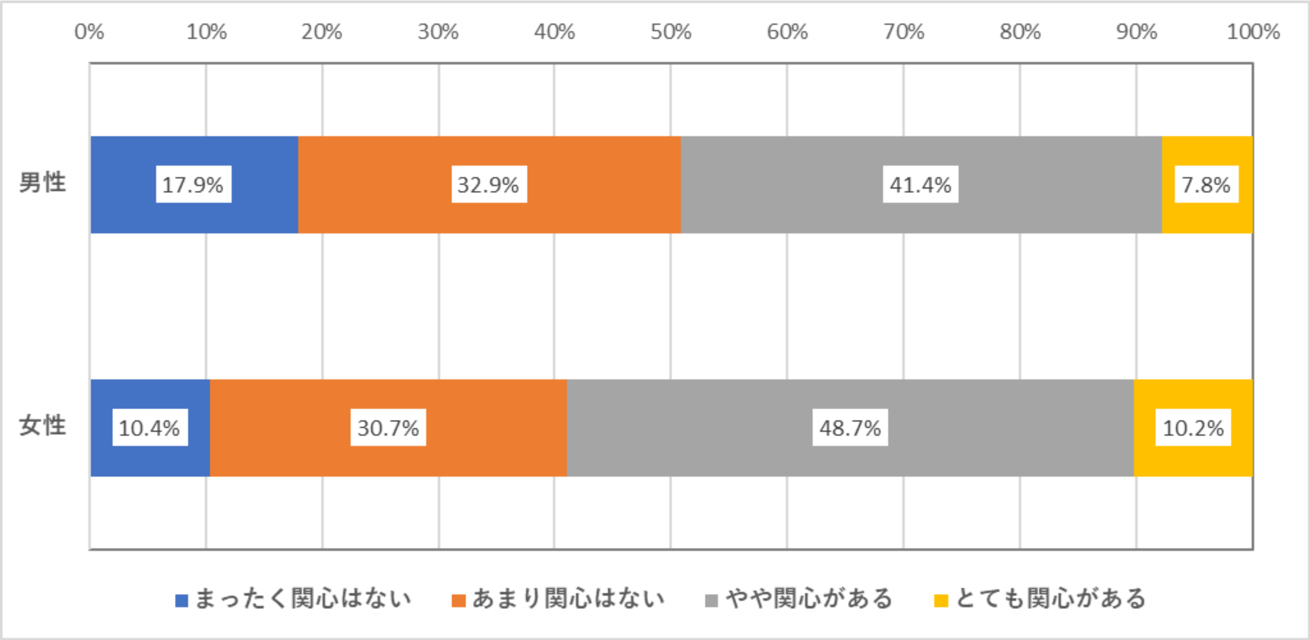


Q25　次の言葉についてどれくらい知っていますか。

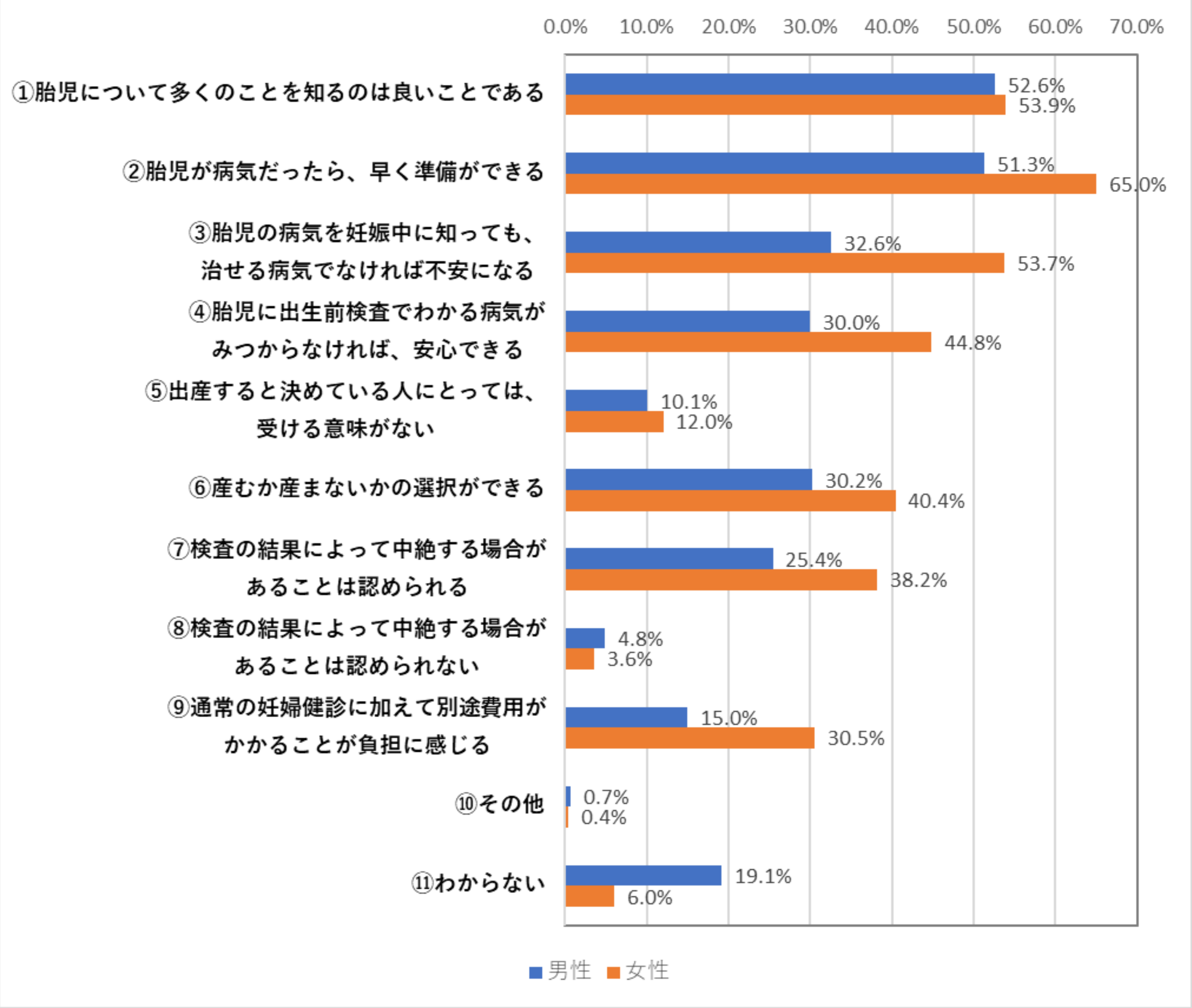




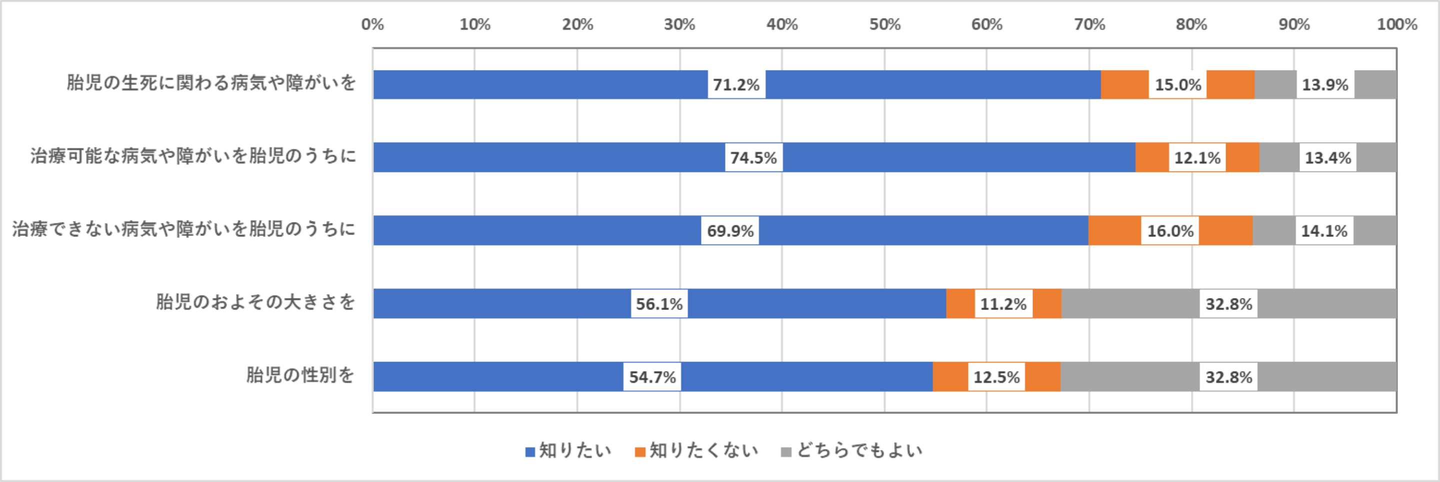
Q26　出生前検査について関心はありますか。

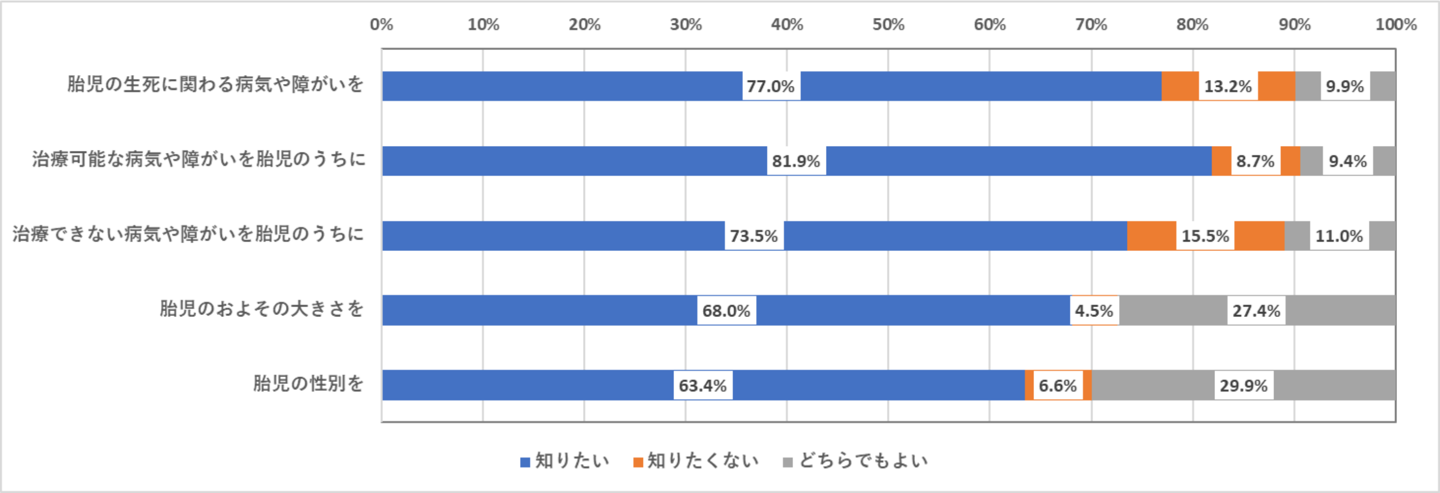


Q27　出生前検査についてあなたの気持ちに近いものを選んでください。（あてはまるものすべて）

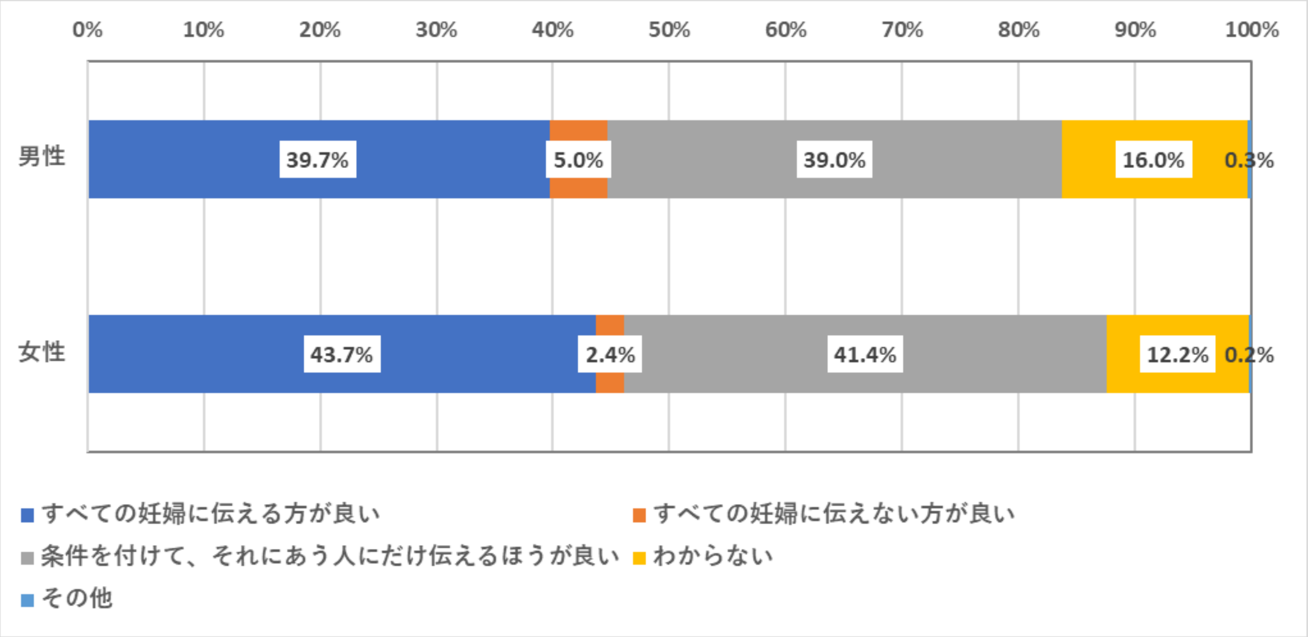


Q28 胎児について次のことを知りたいと思いますか。

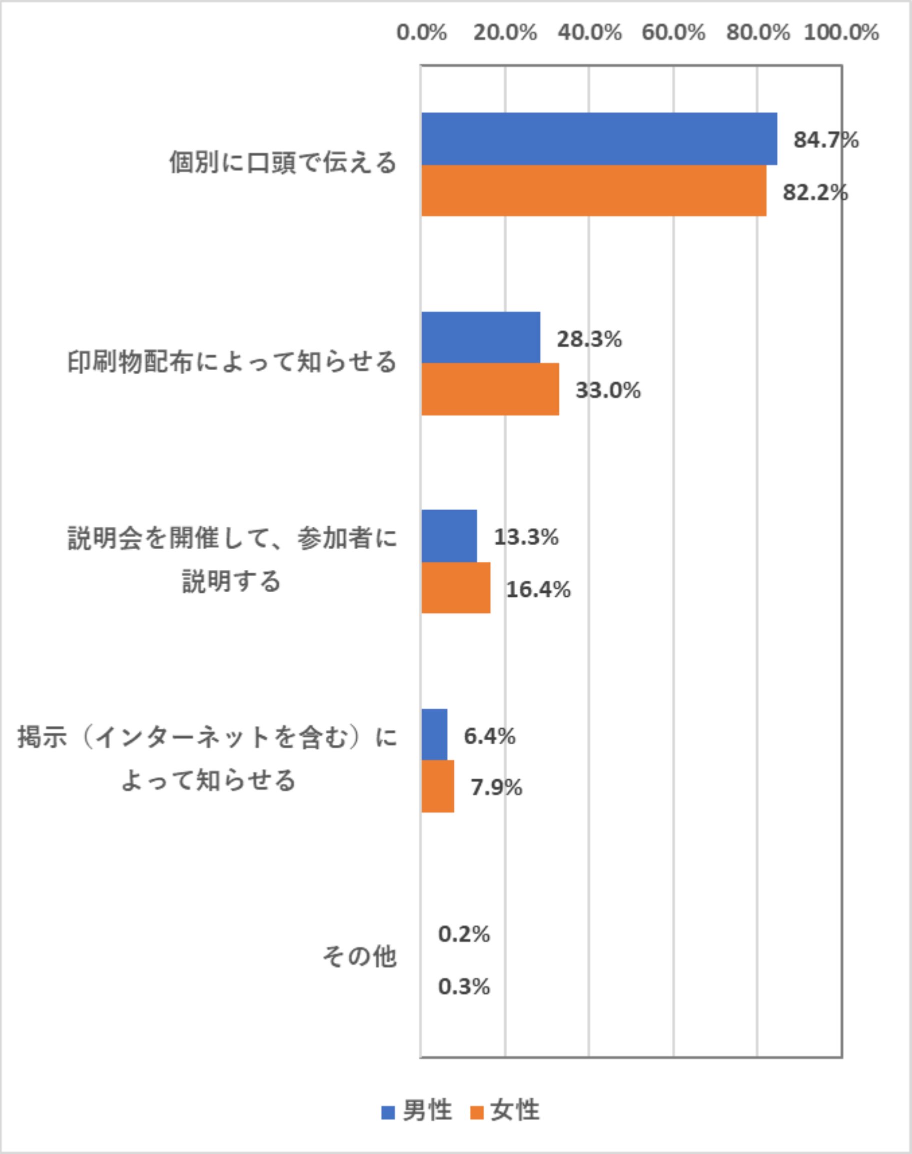




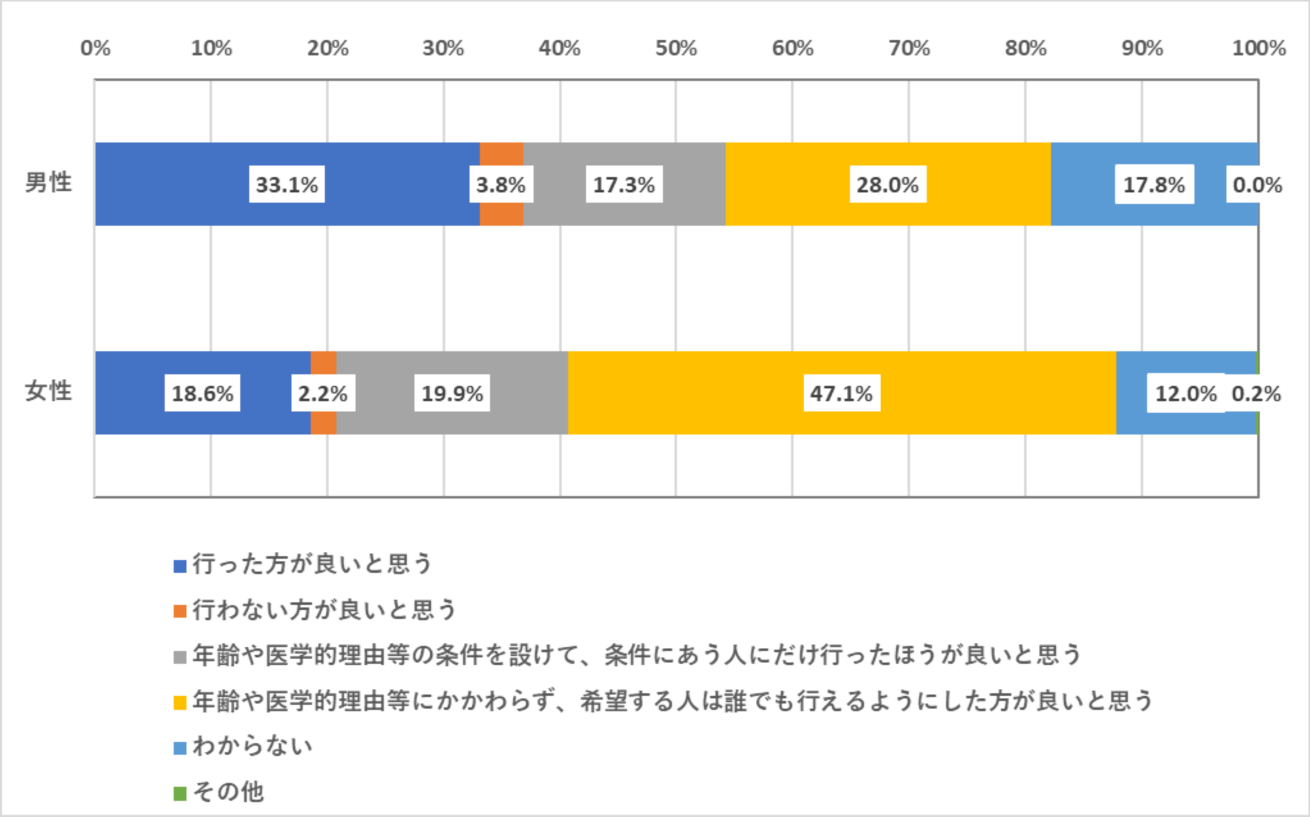
Q29　医療者は出生前検査の説明をすべての妊婦に伝えるのが良いと思いますか。



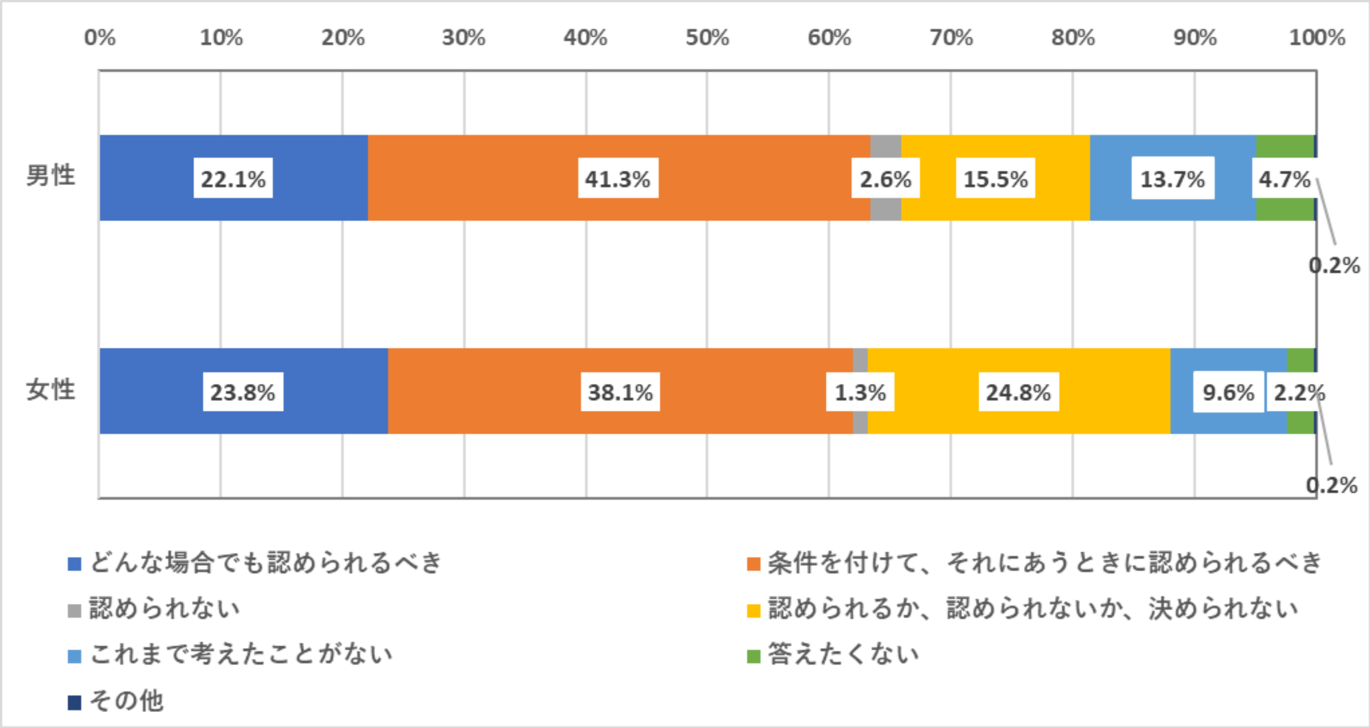
Q30　医療者は出生前検査の説明をどのような方法で妊婦に伝えるのが良いと思いますか。（あてはまるものすべて）



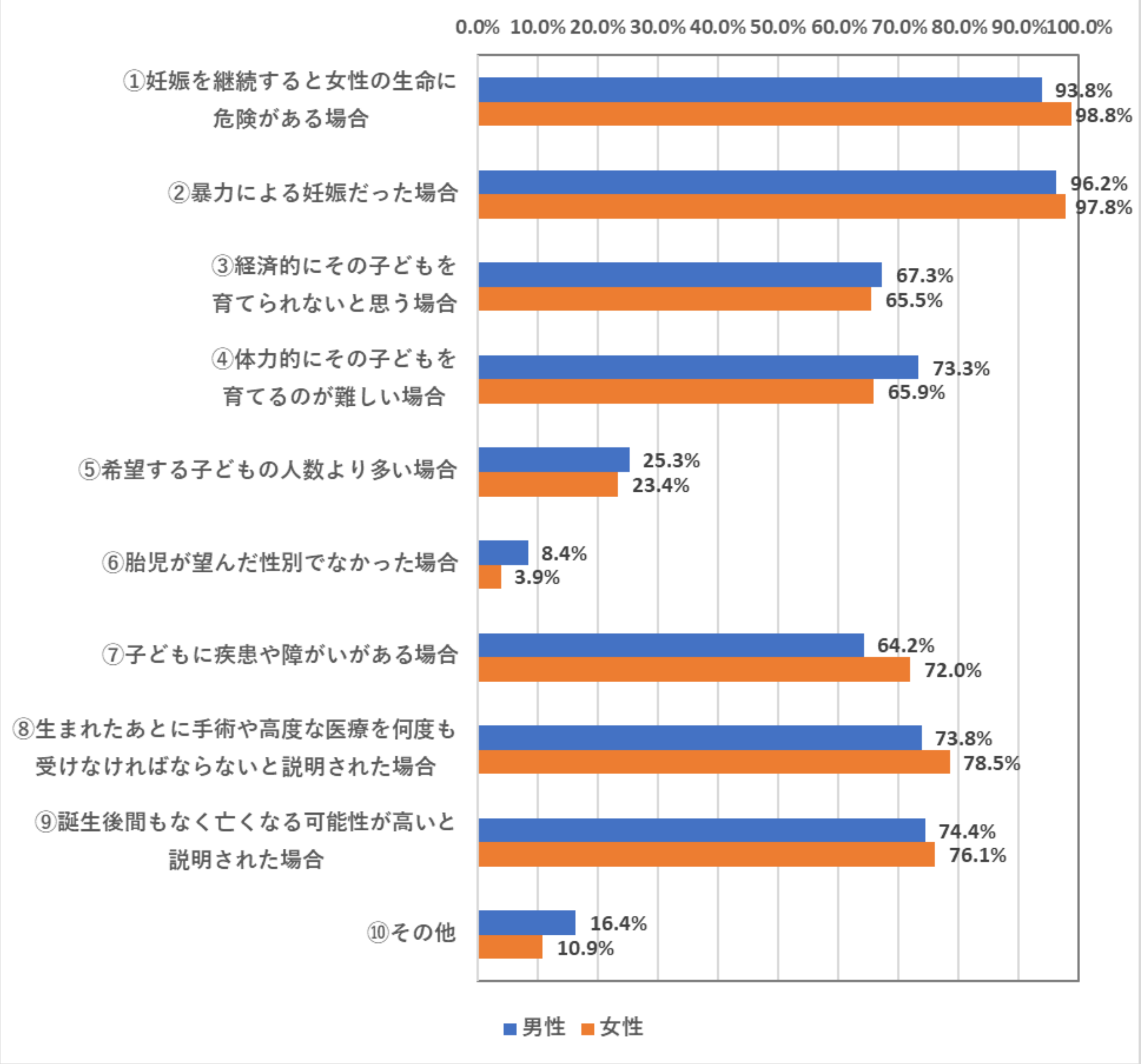
Q31　出生前検査はすべての妊婦に対して行った方が良い検査だと思いますか。



Q32　人工妊娠中絶について、あなたの考えは以下のどれに一番近いですか。



Q33　人工妊娠中絶が認められる条件について、それぞれお答えください。



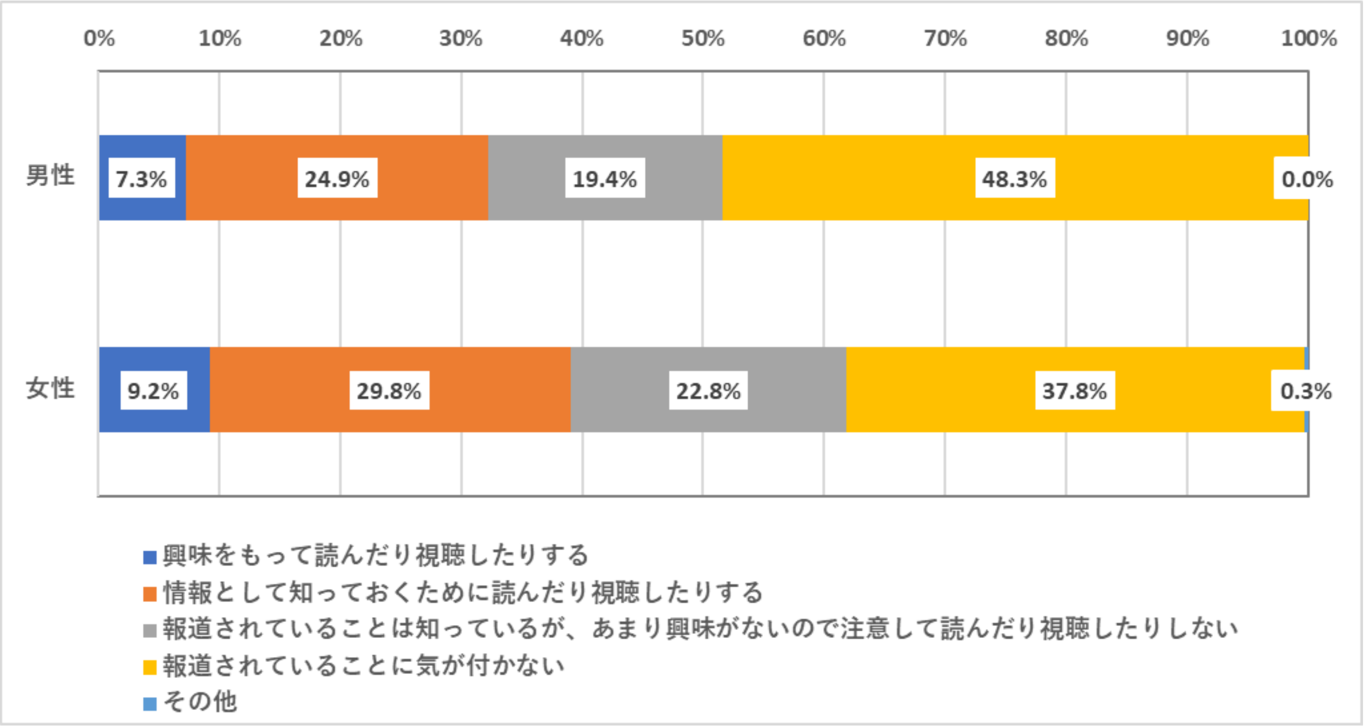
Q34　人工妊娠中絶が認められないと考えるのはなぜですか。その理由をおしえてください。（具体的に）　※回答の一部、抜粋

- なんとなく嫌だから
- 勝手過ぎる 命の重さが軽く考えられている
- 女性の身体への負担が大きい
- 良くない気がする
- 子どもに罪はないから
- 命をたつことだから
- 勝手すぎる。 殺人はしてはいけないのに、中絶はしていいのか。生命には違いない。

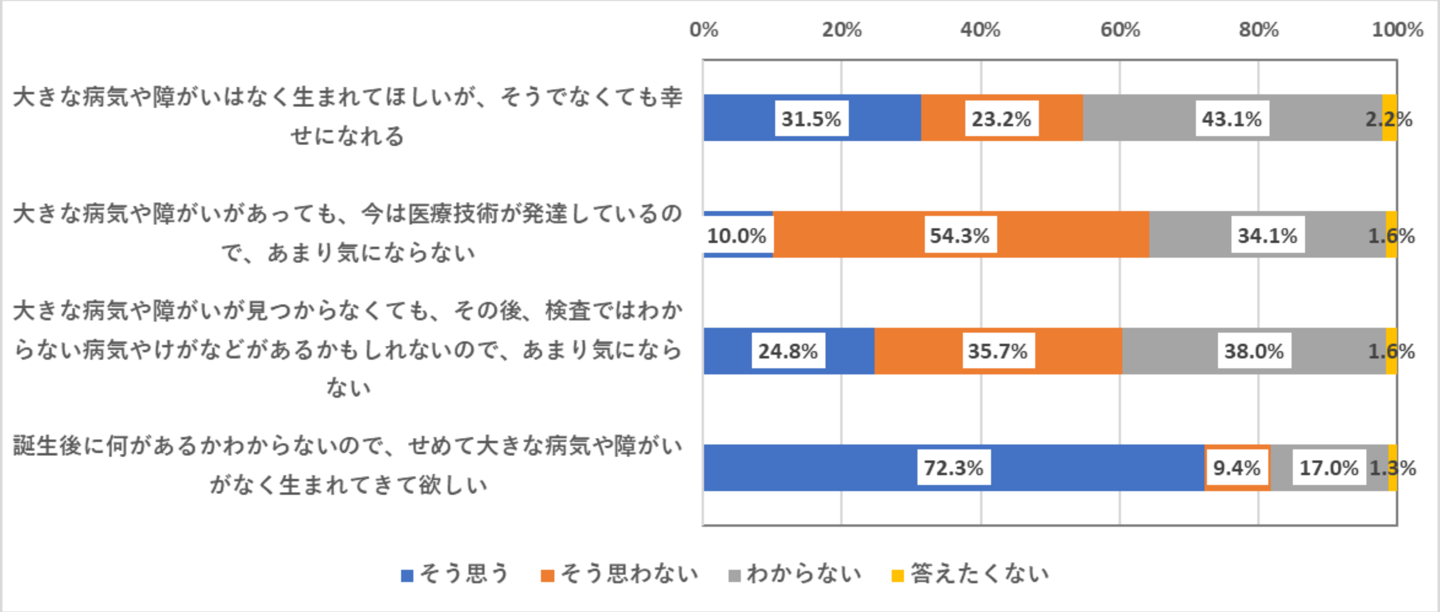
Q35　決められないのはなぜですか。その理由をおしえてください。（具体的に）
※回答の一部抜粋

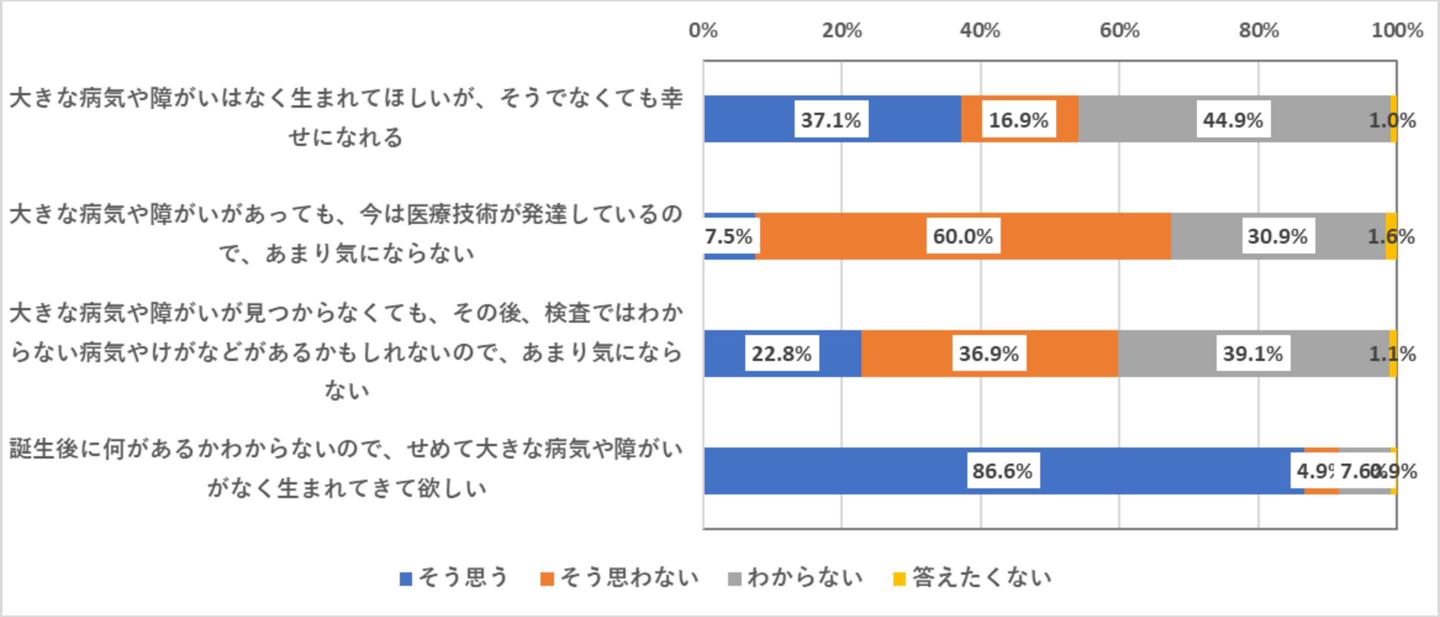
- それぞれの事情
- 簡単には決められない問題だから
- 望まない妊娠もあるので状況によるし、個人の選択によるもの
- 命に対する考え方は人それぞれなので、その人の正解が正解だと思うから
- 望まない妊娠があるし、出産してから経済的など育てられないと虐待につながると思う。なので私的には決められない
- 大切な一つの命ということでは変わらないが育てるのは親なわけで、認める認めないを他人がいうことではない。
- 必ずしも望んだ上での妊娠なのかがわからないから。望んだものであっても、あまりにも若いうちの妊娠出産はその後も長く続く人生を考えるとどちらが良いのか簡単に答えられない。
- 基本的には中絶は反対だが例えば女性がレイプなどで妊娠してしまった場合などは仕方ないと思う
- 妊婦さんを第一に考えるべきだけれども、周囲の環境や個人の経歴などによって判断するべきよりどころが違うから
- 出産した場合、苦労が多くなる可能性が高いと分かってても人を殺すことになるから。

Q36　最近、新型出生前検査（NIPT）と呼ばれる検査方法について新聞・雑誌・インターネット・テレビなどで報道されることが増えています。これらの記事を目にしたときのあなたの行動で一番近いものを選んでください。

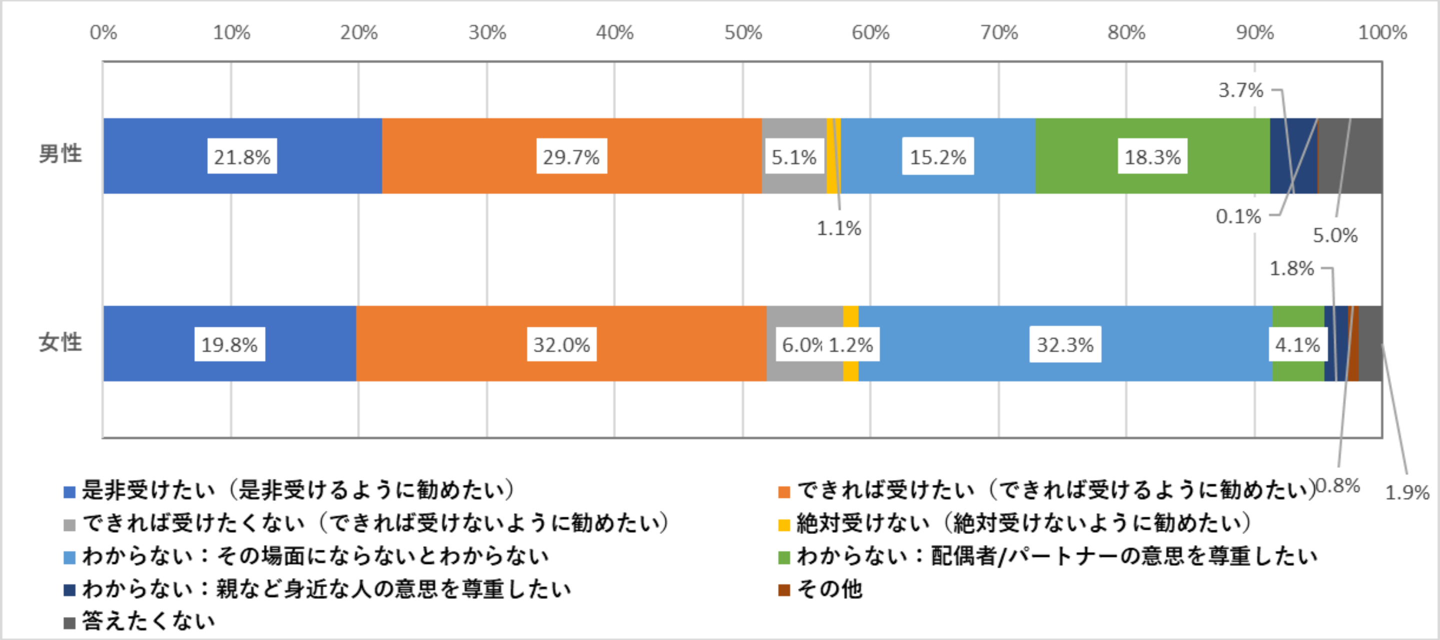


Q37　子どもが生まれてくる時に願うことについて、
次のような考えをあなたはどう思いますか。

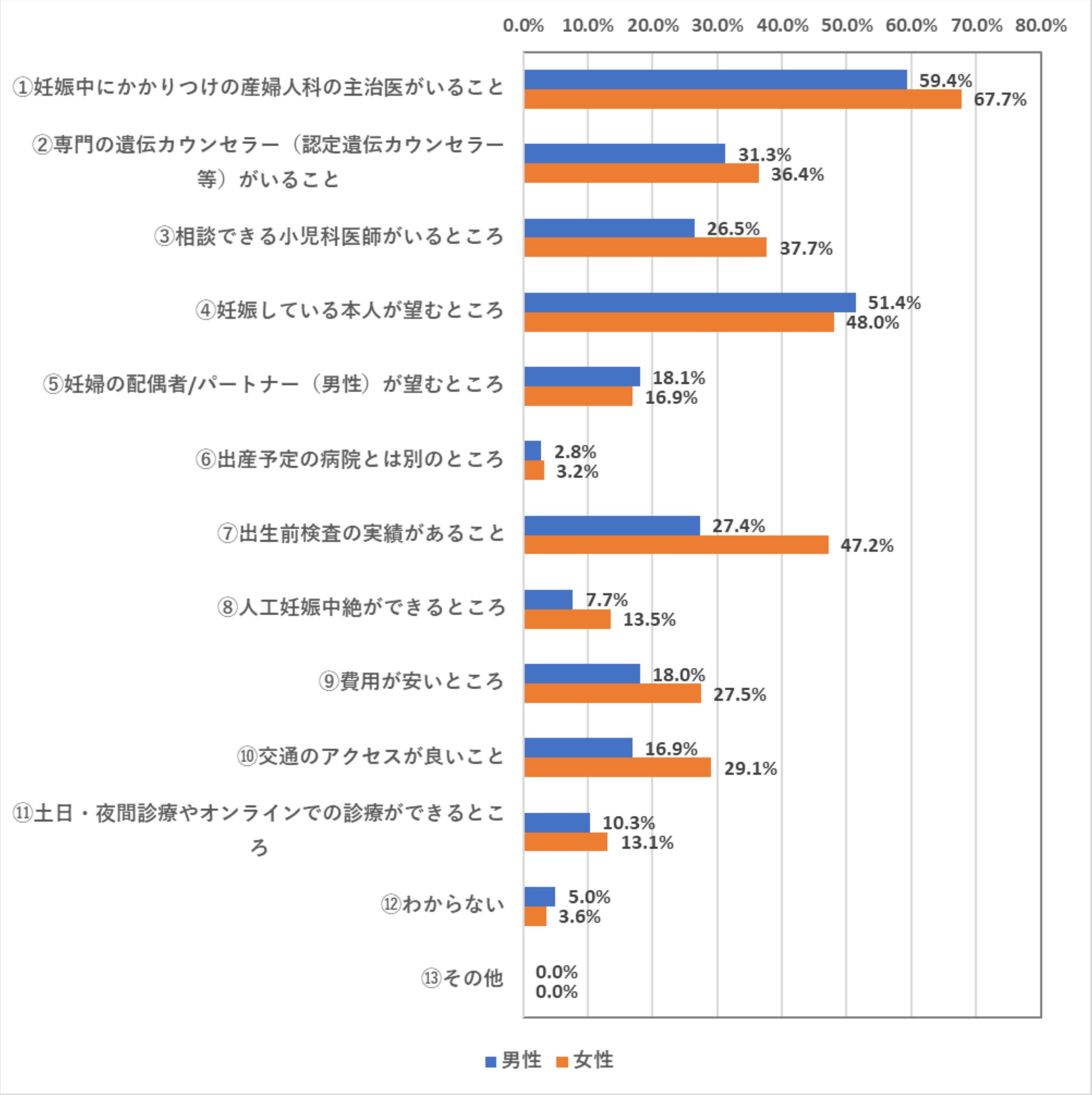




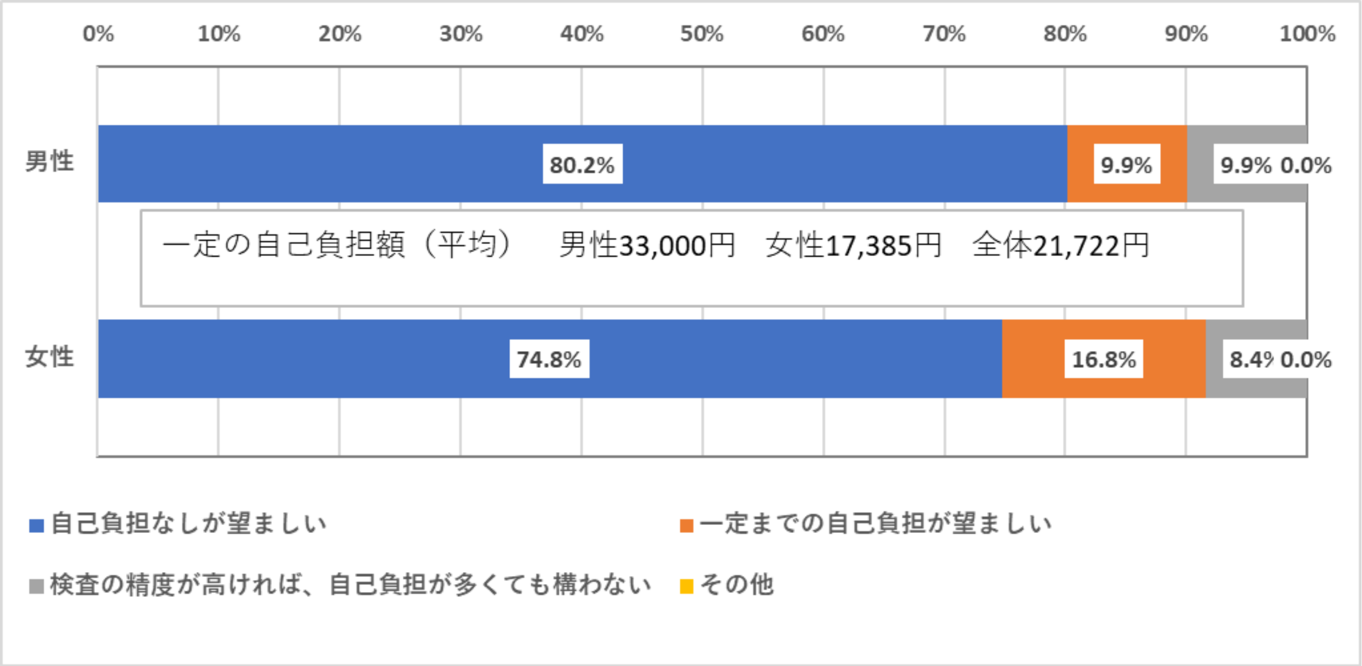
Q38　もしもこれから妊娠するとしたら（あるいは配偶者/パートナーが妊娠するとしたら）、出生前検査を受けたいと思いますか。
（現在妊娠中の方は、今後のことを想像してお答えください。）



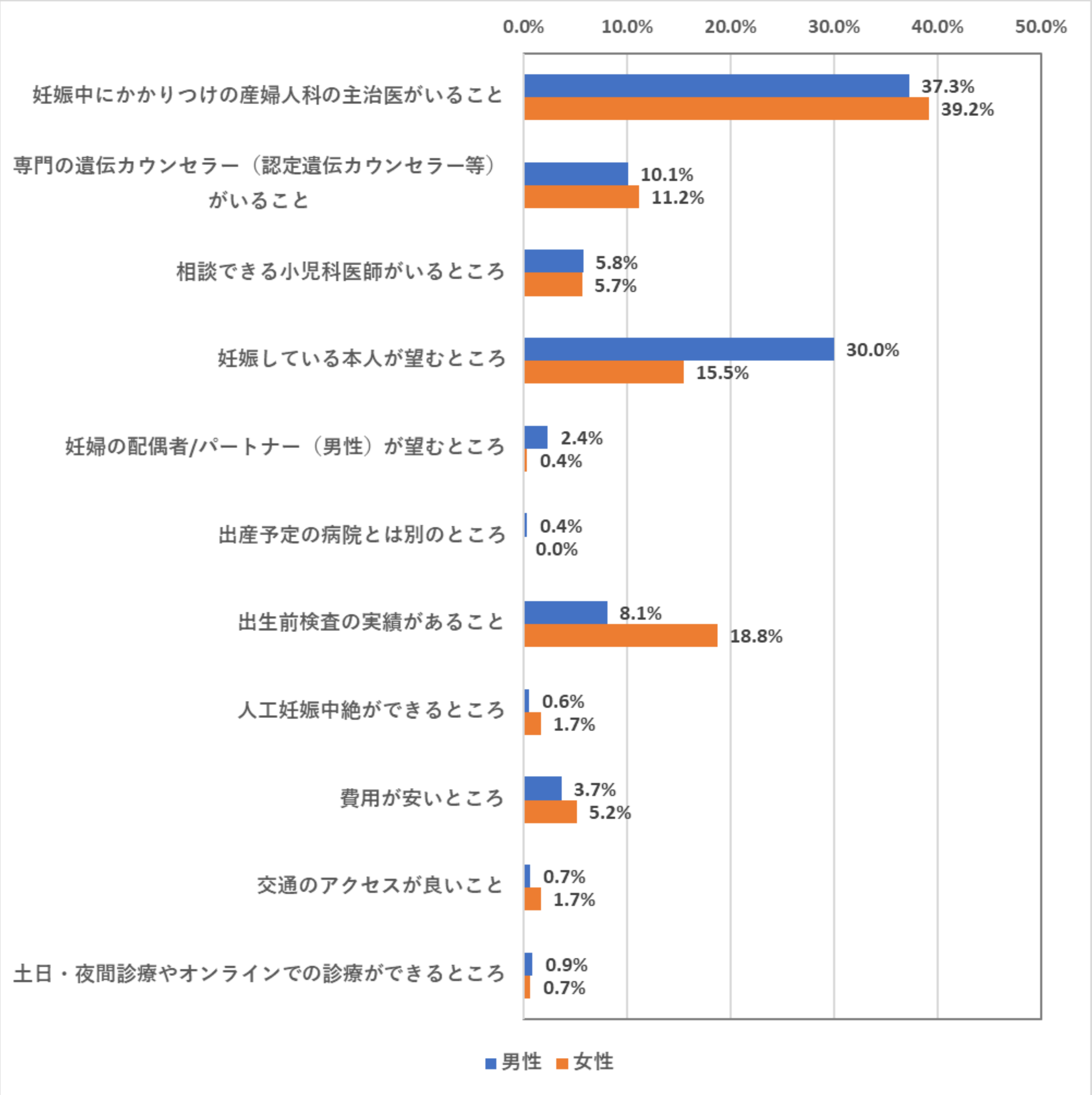
Q39　出生前検査を受ける場所を選ぶとき重視するのはどの点ですか。
（あてはまるものすべて）



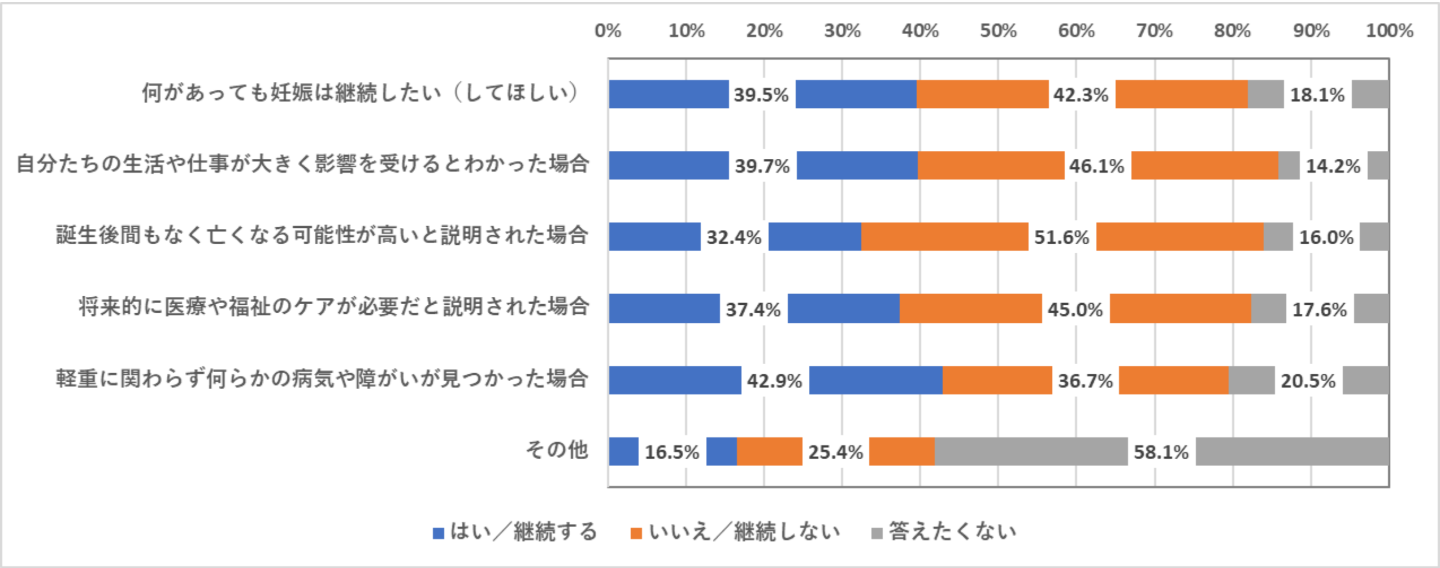
Q40　出生前検査の自己負担についてどのように
お考えですか。

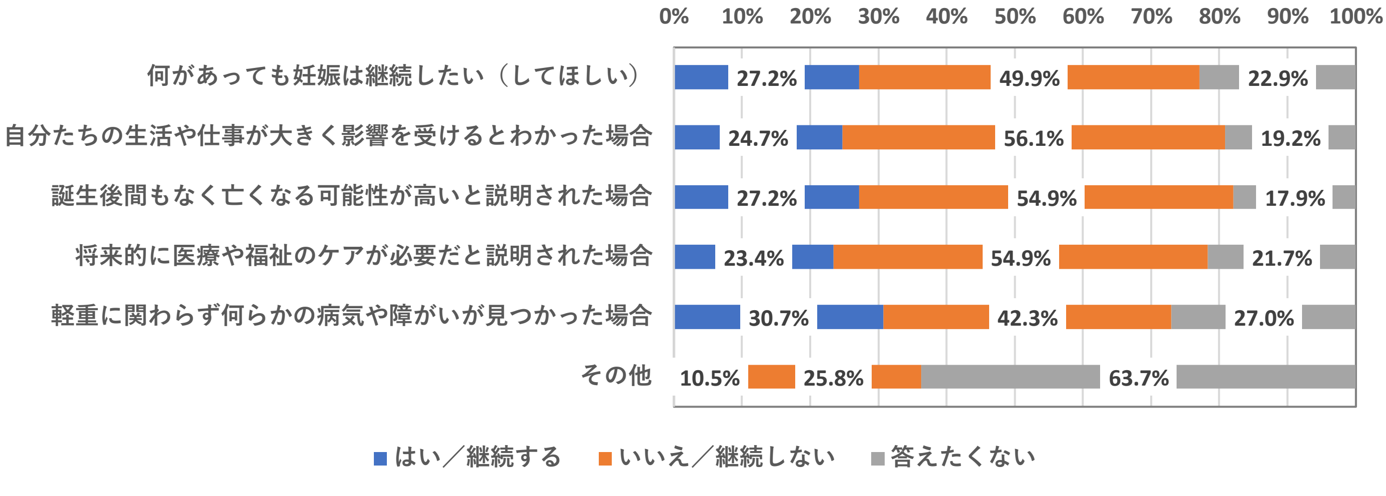


Q41　出生前検査を受ける場所を選ぶとき、最も重視する点は、どの点ですか。Q39で選択したものの中から一番重視する点を選んでください。

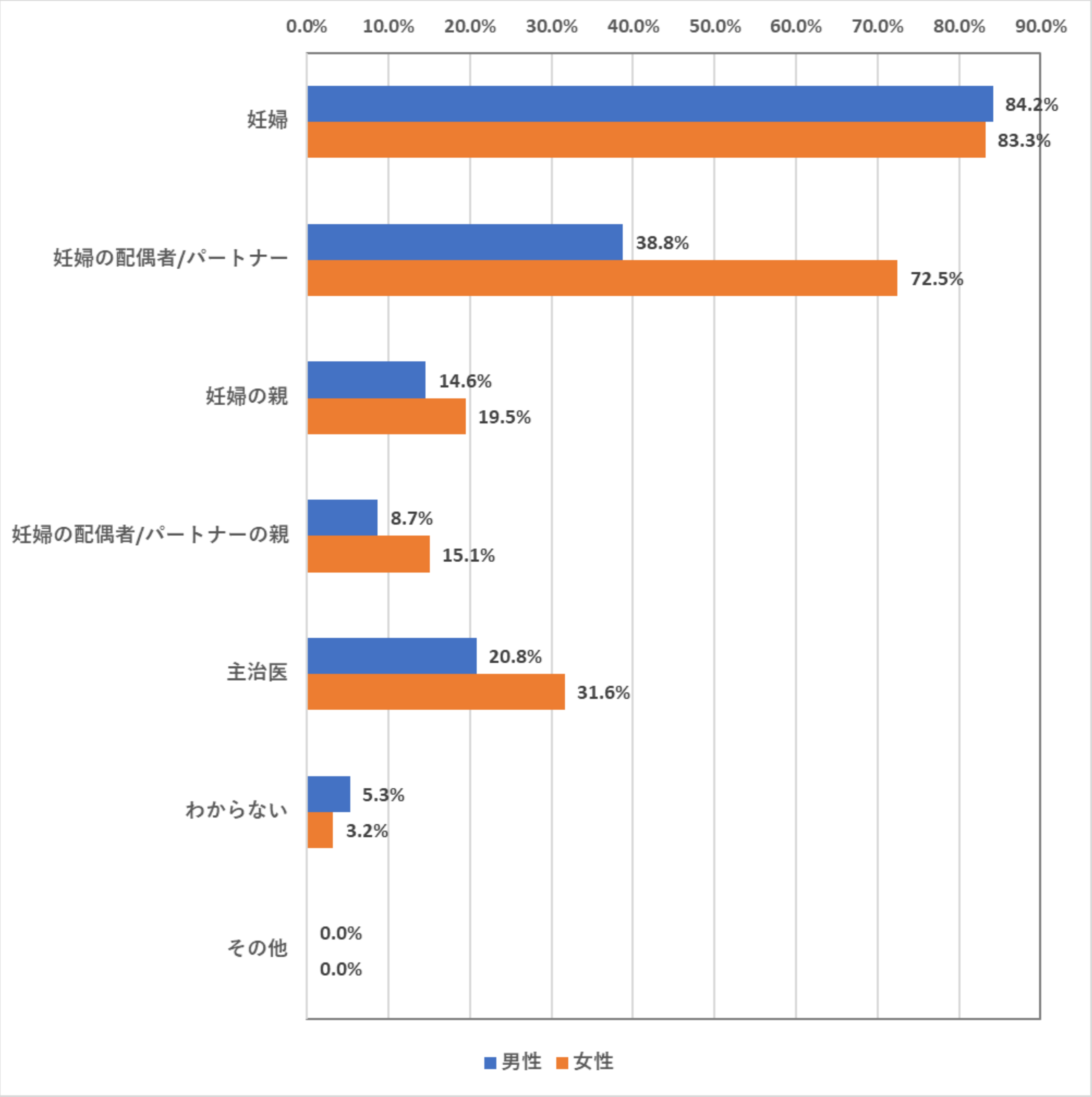


Q42　もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続しますか。

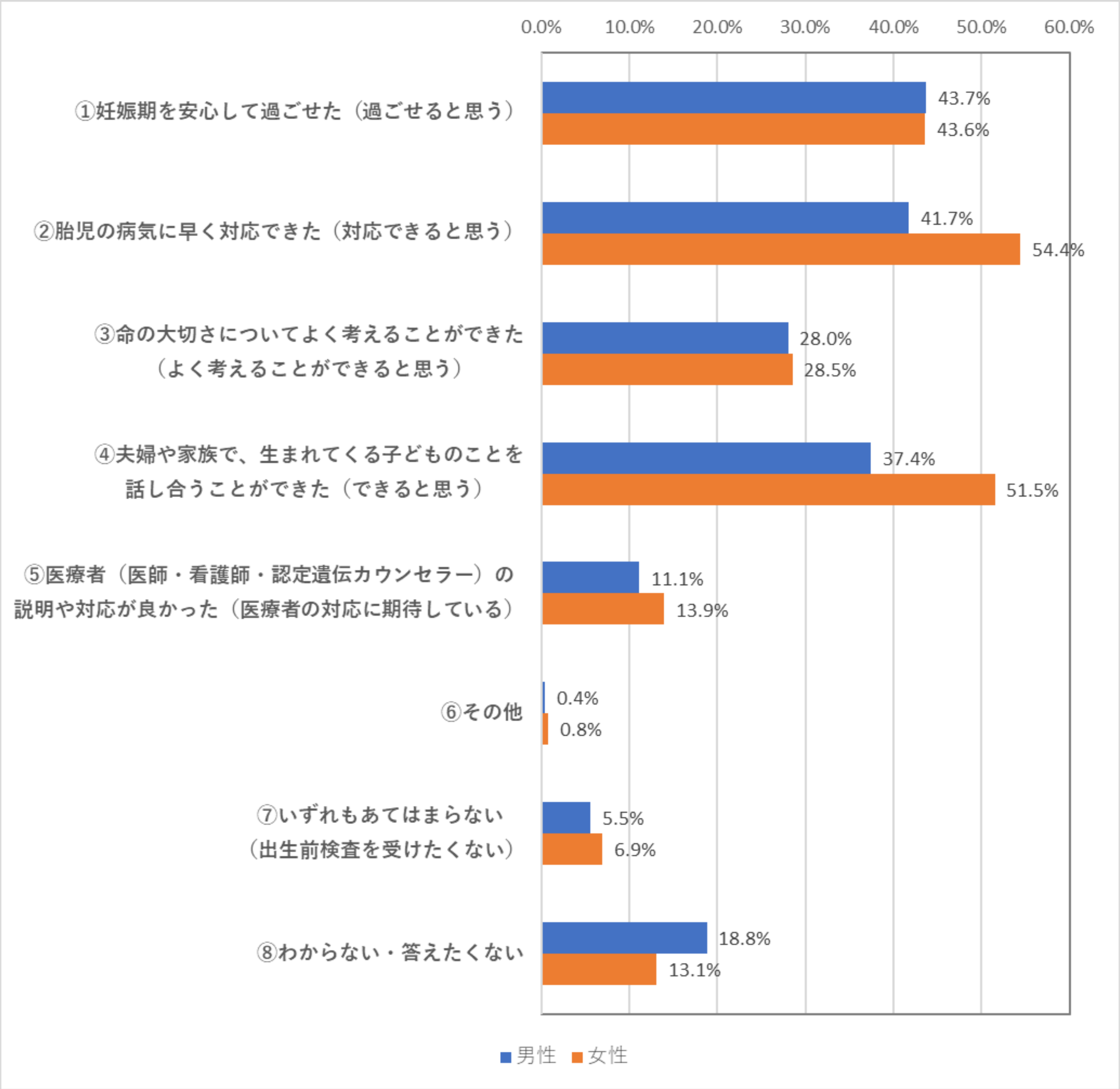




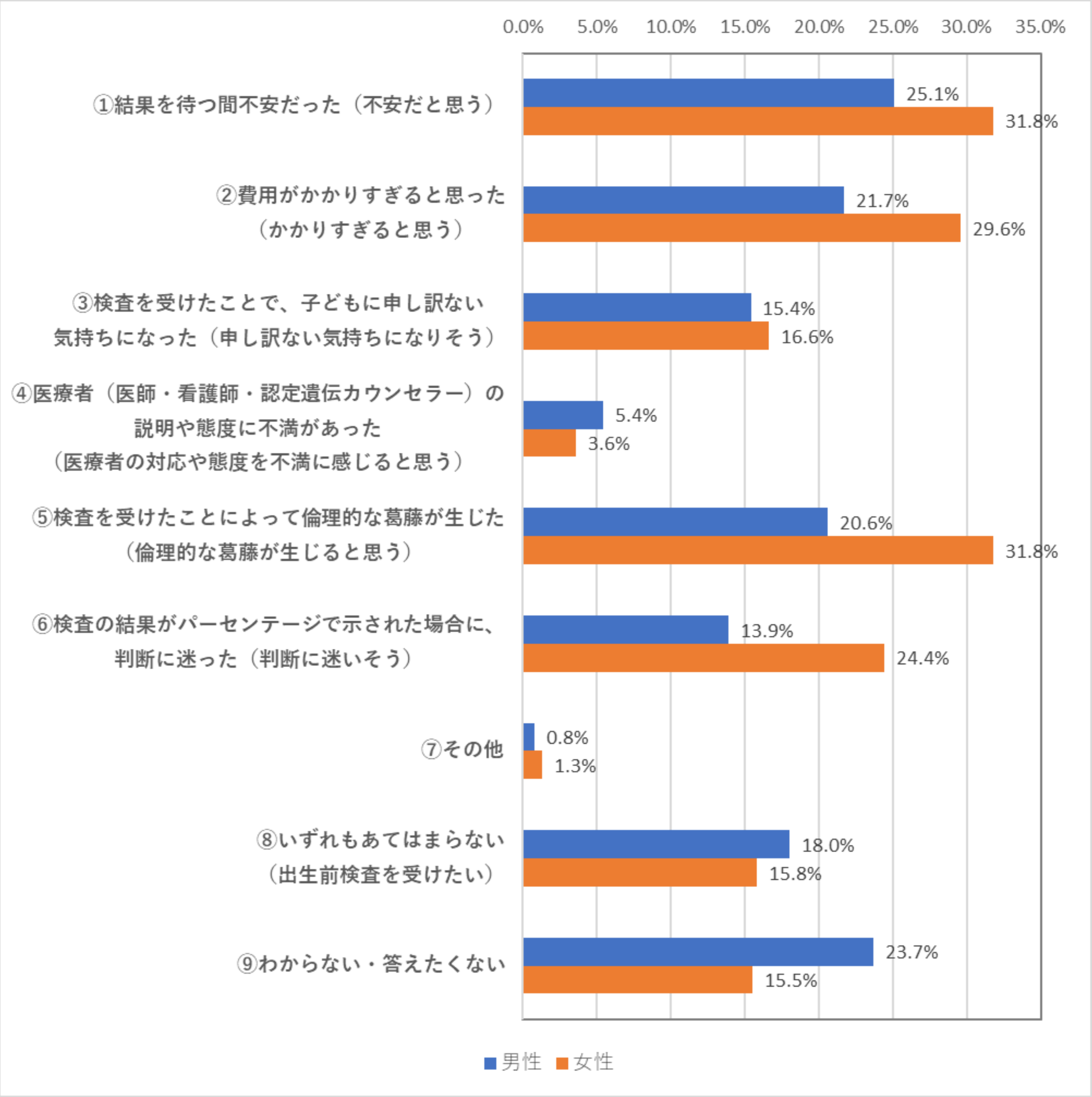
Q43　もし検査で最終的に胎児に何らかの病気や障がいがある、と診断された場合、妊娠を継続するかしないかを決めるために、誰の意見を重視しますか。
（あてはまるものすべて）



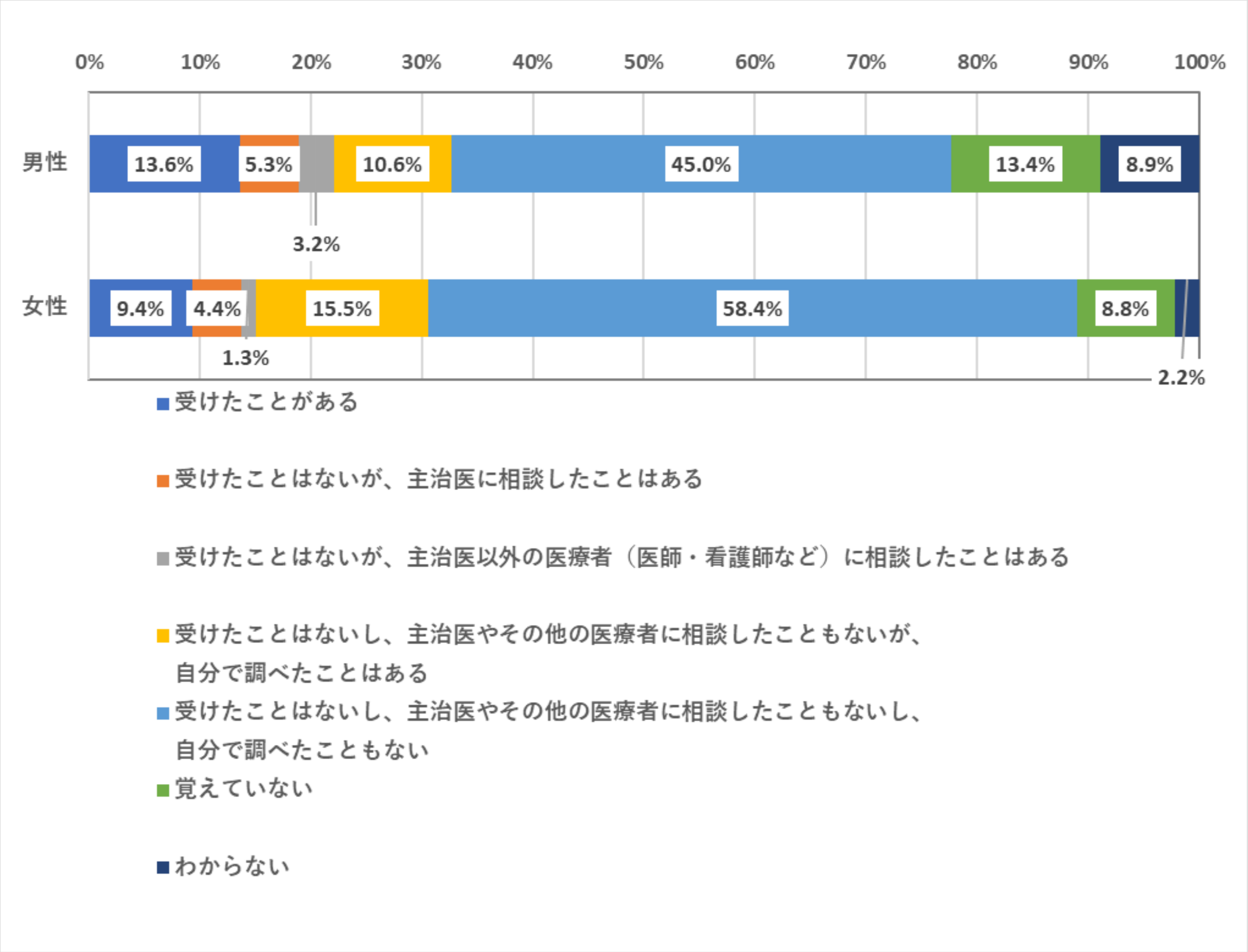
Q44　出生前検査を受けたい（受けさせたい）
理由を教えてください。
（あてはまるものすべて）



Q45　出生前検査を受けたくない（受けさせたくない）理由を教えてください。
（あてはまるものすべて）



Q46 出生前検査を受けたことがありますか（男性の場合は配偶者/パートナーの経験としてお答えください）。
※出生前検査とは、詳しく時間をかけた超音波検査（NTを含む）、NIPT、母体血清マーカー（クアトロ／トリプルマーカー検査）、コンバインド検査、OSCAR検査等（超音波と母体血清マーカーの組み合わせ検査）、絨毛検査、羊水検査などのことです。



研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書　籍　名	出版社名	出版地	出版年	ページ
菅野摂子	生命倫理と母子保健	垣内国光，岩田美香，板倉香子，新藤こずえ	子ども家庭福祉―子ども・家族・社会をどうとらえるか	生活書院	東京	2020	86-96

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tatsuko Hirose, Nahoko Shirato, Mikiko Izumi, Keiko Miyagami, Akihiko Sekizawa	Postpartum questionnaire survey of women who tested negative in a non-invasive prenatal testing: examining negative emotions towards the test	J Hum Genet.	Dec 3.	doi: 10.1038/s10038-020-00879-6.	2020
廣瀬 達子，白土 なほ子，宮上 景子，和泉 美希子，四元 淳子，関沢 明彦	NIPT:Non-invasive prenatal testing)に関する遺伝カウンセリング前後での妊婦とパートナーの心理的ストレスの変化についての検討	女性心身医学	25(2)	129-135	2020
Yotsumoto J, Sekizawa A, Inoue S, Suzumori N, Samura O, Yamada T, Miura K, Masuzaki H, Sawai H, Murotsuki J, Hamanoue H, Kamei Y, Endo T, Fukushima A, Katagiri Y, Takeshita N, Ogawa M, Nishizawa H, Okamoto Y, Tairaku S, Kaji T, Maeda K, Matsubara K, Ogawa M, Osada H, Ohba T, Kawano Y, Sasaki A, Sago H.	Qualitative investigation of the factors that generate ambivalent feelings in women who give birth after receiving negative results from non-invasive prenatal testing.	BMC Pregnancy and Childbirth	20	112	2020
Chia-Ling, Wu, Jung-Ok, Ha, and Azumi, Tsuge	Data Reporting as Care Infrastructure: Assembling ART Registries in Japan, Taiwan, and South Korea, East Asian Science, Technology and Society	An International Journal	14(1)	35-59	2020
柘植あづみ	法制度からみた出生前診断，着床前診断	周産期医	50(1)	45-48	2020
Samura O	Update on noninvasive prenatal testing: A review based on current worldwide research	J Obstet Gynaecol Res.	Aug;46(8)	1246-1254	2020
Samura O, Okamoto A	Causes of aberrant non-invasive prenatal testing for aneuploidy: A systematic review.	Taiwan J Obstet Gynecol.	Jan;59(1)	16-20	2020

Tsuchiya M, Yamada T, Akaishi R, Hamanoue H, Hirasawa A, Hyodo M, Imoto I, Kosho T, Kurosawa K, Murakami H, Nakatani K, Nomura F, Sasaki A, Shimizu K, Tamai M, Umemura H, Watanabe A, Yoshida A, Yoshihashi H, Yotsumoto J, Kosugi S	Attitudes toward and current status of disclosure of secondary findings from next-generation sequencing: a nation-wide survey of clinical genetics professionals in Japan.	J Hum Genet.	65(12)	1045-1053	2020
Suzumori N, Sekizawa A, Takeda E, Samura O, Sasaki A, Akaishi R, et al.	Retrospective details of false-positive and false-negative results in noninvasive prenatal testing for fetal trisomy 21, 18 and 13.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol	256	75-81	2021
Suzumori N, Takeda E, Ebara T, Kumagai K, Sawada Y, Sugiura-Ogasawara M.	Study of relationship between mode of conception and non-specific psychological distress in women undergoing noninvasive prenatal testing.	J Reprod Infertil	21	189-193	2020
Suzumori N.	Discussion of the advances in non-invasive prenatal genetic testing and open issues in Japan.	J Obstet Gynecol Res	46	1470	2020
Suzumori N, Ebara T, Matsuki T, Yamada Y, Kato S, Omori T, et al.	Effects of long working hours and shift work during pregnancy on obstetric and perinatal outcomes: a large prospective cohort study - Japan Environment and Children's Study.	Birth	47	67-79	2020
鈴森 伸宏	やさしくわかる産科婦人科検査マスターブック(第1章)周産期分野 羊水検査	産科と婦人科	87 (Suppl.)	51 -54	2020
鈴森 伸宏	生殖補助医療をめぐる生命倫理 着床前・出生前診断の倫理	日本産科婦人科学会雑誌	72 (12)	1699 -1703	2020
鈴森 伸宏	男性不妊症診療に必要な遺伝カウンセリング	泌尿器科	12 (5)	596 -600	2020
吉原 紘行; 北折 珠央; 鈴森 伸宏; 佐藤 剛; 杉浦 真弓	不育症患者における潜在性甲状腺機能低下症に対するレボチロキシンの有効性の検討	日本生殖医学会雑誌	65 (4)	310 -310	2020
鈴森 伸宏	[必携]専攻医と指導医のための産科診療到達目標 診療技術編 出生前診断の知識 母体血清マーカー	周産期医学	50 (8)	1181 -1182	2020

鈴森 伸宏	いま求められる周産期生命倫理の知識　生殖医療　着床前診断	周産期医学	50 (6)	939 -942	2020
荒川 玲子； 高島 響子； 池田 真理子； 徳富 智明； 河村 理恵； 佐々木 規子； 山本 佳世乃； 中谷 中； 鈴森 伸宏； 古庄 知己	出生前羊水染色体検査におけるロバートソン転座の症例報告をめぐって 医療倫理の四原則の対立状況とゲノム情報の伝達プロセスの観点からの考察	日本遺伝カウンセリング学会誌	40 (4)	211 -213	2020
Kawasaki H, Yamada T*, Takahashi Y, Nakayama T, Wada T, Kosugi S,	The Neonatal Research Network of Japan. The short-term mortality and morbidity of very low birth weight infants with trisomy 18 or trisomy 13 in Japan.	J Hum Genet.	Sep 17.	doi: 10.1038/s10038-020-00825-6. Epub ahead of print.	2020
加藤ももこ，柴田有花，山田崇弘	妊娠初期における出生前染色体検査時の対応	ペリネイタルケア	39	32-35	2020
清野仁美，湖海正尋，松永寿人	妊産婦にみられる今日的不安と対応（特集　現代社会における不安の病理と対応）	精神科治療学	35(12)	1311-1316	2020
清野仁美， 湖海正尋，松永寿人	周産期リエゾンにおける精神療法（特集　周産期メンタルヘルスにおける心理社会的支援）	精神科治療学	35(10)	1095-1100	2020
清野仁美， 湖海正尋，松永寿人	統合失調症と妊娠・出産（特集 妊娠・出産と精神科臨床アップデート）	臨床精神医学	49(7)	883-888	2020
清野仁美， 田中宏幸， 湖海正尋，松永寿人	リプロダクティブ・ヘルス/ライツにおける倫理的課題に精神科医はどう関わるか（特集 医療における臨床倫理コンサルテーション）	精神科治療学	35(3)	285-290	2020
清野仁美， 湖海正尋，松永寿人	妊産婦，女性に特有な身体愁訴と向精神薬治療	臨床精神薬理	23(10)	1009-1015	2020
清野仁美	【医学的・社会的ハイリスク妊婦のケアと管理】精神疾患の既往がある妊婦とのかかわり方　妊娠前から産後まで	臨床助産ケアスキルの強化，	12(1)	7-11	2020

研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況　　なし

健康危険情報　　なし

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・講師

（氏名・フリガナ）　白土なほ子・シラトナホコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □(無の場合はその理由:　　)
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □(無の場合は委託先機関:　　)
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □(無の場合はその理由:　　)
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・教授

（氏名・フリガナ）　関沢明彦・セキザワアキヒコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 3 年 2 月 26 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名国立研究開発法人国立成育医療研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 五十嵐 隆 印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1．研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)

2．研究課題名 出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究(20DA1010)

3．研究者名 (所属部局・職名) 臨床検査部 統括部長

(氏名・フリガナ) 奥山 虎之 (オクヤマ トラユキ)

4．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	□	■	□		□

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■ 未受講 □

6．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■ 無 □(無の場合はその理由:)
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■ 無 □(無の場合は委託先機関:)
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■ 無 □(無の場合はその理由:)
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □ 無 ■ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 3 年 3 月 31 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立研究開発法人国立成育医療研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 五十嵐 隆

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1．研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）

2．研究課題名 出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

3．研究者名 (所属部局・職名) 周産期・母性診療センター ・ 副院長 周産期・母性診療センター長

(氏名・フリガナ) 左合 治彦 ・ サゴウ ハルヒコ

4．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	■	□	■	昭和大学	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	□	■	□		□

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■ 未受講 □

6．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■ 無 □(無の場合はその理由：)
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■ 無 □(無の場合は委託先機関：)
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■ 無 □(無の場合はその理由：)
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 ■ 無 □（有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2021年3月18日

厚生労働大臣 殿

機関名　明治学院大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　村田　玲音

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

2．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

3．研究者名　（所属部局・職名）社会学部・教授

（氏名・フリガナ）柘植　あづみ　・ツゲ　アヅミ

4．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

6．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 □　無 ☑（無の場合はその理由：利益相反にあたる研究実績がないため）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 □　無 ☑（無の場合は委託先機関：昭和大学医学研究科　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有□　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2021年 2月 9日

厚生労働大臣　殿

機関名　兵庫医科大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　野口 光一　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　医学部・教授

（氏名・フリガナ）　澤井 英明・サワイ ヒデアキ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2021年3月18日

厚生労働大臣 殿

機関名　明治学院大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　村田　玲音

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）社会学部付属研究所・研究員

（氏名・フリガナ）菅野　摂子　・スガノ　セツコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 □　無 ☑（無の場合はその理由：利益相反にあたる研究実績がないため）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 □　無 ☑（無の場合は委託先機関：昭和大学医学研究科）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有□　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2021年　2月　12日

厚生労働大臣　　殿

機関名　東京慈恵会医科大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　松藤　千弥

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　医学部　産婦人科教室　教授

（氏名・フリガナ）　佐村 修（サムラ　オサム）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　　）

（留意事項）・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　2月　10日

厚生労働大臣 殿

機関名　東京都立小児総合医療センター

所属研究機関長　職　名　　院長

氏　名　　廣部　誠一

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

2．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

3．研究者名　（所属部局・職名）　遺伝診療部　臨床遺伝センター　臨床遺伝科　・医長

（氏名・フリガナ）　吉橋　博史　・　ヨシハシヒロシ

4．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

6．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2021年　2月　12日

厚生労働大臣 殿

機関名　名古屋市立大学

所属研究機関長　職　名　理事長・学長

氏　名　郡　健二郎

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

2．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

3．研究者名　（所属部局・職名）　産科婦人科・病院教授

（氏名・フリガナ）　鈴森伸宏・スズモリノブヒロ

4．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

6．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有□　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和　3年　　4月　　12日

厚生労働大臣 殿

機関名　国立大学法人　京都大学

所属研究機関長　職　名　医学研究科長

氏　名　岩井　一宏　　　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　京都大学医学部附属病院・特定准教授

（氏名・フリガナ）　山田崇弘・ヤマダタカヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有□　無 ☑（有の場合はその内容：　　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和３年　３月３１日

厚生労働大臣 殿

機関名　京都大学

所属研究機関長　職　名　医学研究科長

氏　名　岩井　一宏　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　医学研究科・教授

（氏名・フリガナ）　山田　重人・ヤマダシゲヒト

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有□　無 ☑（有の場合はその内容：　　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和　3年　4月　30日

厚生労働大臣 殿

機関名　慶應義塾大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　長谷山　彰　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　慶應義塾大学経済学部　特任准教授

（氏名・フリガナ）　田中　慶子・タナカ　ケイコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和３年　２月　１７日

厚生労働大臣 殿

機関名

所属研究機関長　職　名　兵庫医科大学

氏　名　学長　野口　光一

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　精神科神経科・講師

（氏名・フリガナ）　清野　仁美・セイノ　ヒトミ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・認定遺伝カウンセラー

（氏名・フリガナ）　和泉美希子・イズミミキコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・講師

（氏名・フリガナ）　坂本美和・サカモトミワ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・助教

（氏名・フリガナ）　宮上景子・ミヤガミケイコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有	該当性の有無 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1） 審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □(無の場合はその理由：　)
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □(無の場合は委託先機関：　)
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □(無の場合はその理由：　)
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　)

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・認定遺伝カウンセラー

（氏名・フリガナ）　廣瀬達子・ヒロセタツコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　　　）

（留意事項）・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

2．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

3．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・助教

（氏名・フリガナ）　池本　舞・イケモトマイ

4．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　　未受講 □

6．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和3年　3月　31日

厚生労働大臣 殿

機関名　学校法人昭和大学

所属研究機関長　職　名　理事長

氏　名　小口　勝司　　　　印

次の職員の令和２年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和２年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））

２．研究課題名　出生前検査に関する妊産婦等の意識調査や支援体制構築のための研究

３．研究者名　（所属部局・職名）　産婦人科・助教

（氏名・フリガナ）　水谷あかね・ミズタニアカネ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（※3）	☑	□	☑	昭和大学医学研究科	□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。